

(ロ)杉角物、白太少なき桤目及び柰目を最上
 桤目は紅色鮮麗にして光澤あり木理整直通直
 年輪同一にして狭きを佳、柰板は幅廣く、年
 輪緻密、柰目錯綜して奇紋あるを貴ぶ、白柰
 あるは愛知、福井、吉野等の産にして其雅致
 あるは貴し、桤目板は秋田産良質、柰板は屋
 久杉最上、其紋理盤回状を爲し赭色緻密なる
 は貴し、之れに亞ぐは春日杉、遠州葉來杉、
 濃州白山杉、勞州御山杉、越中立山杉、土州
 魚梁瀬杉等皆良材、(モクザイ参照)、(二)黒部
 杉、神代杉、クロベスギ、シンダイスキを見よ
スコップ シヨベルを見よ。
スサ 粉 種品 柔軟にして固塊及び骨なく、
 容易にはこれるを佳、上等濱粉とは下駄鼻緒

製造所の截落にして最優良、中等濱粉とは多
 くは古漁網より製したるもの、並濱粉とは船
 船用古網索又はマニラロープ屑、截落等より
 製したるものにしてマニラ麻を用ゐたるが故
 に骨多く、油を喰ひて赤味あり、且つ中等品
 に比すればふやけて居る氣味あり、シヨーセ
 キとは南京米麻袋屑より製したるものにして
 下等品、白髪とは毛屑にして劣等、油粉とし
 て油を含めるものを撰別せるもあり、屋根漆
 喰用、上塗用には中等以上を用ふを要す、此
 外薬を刻みたる劣等品もあり。
スズ 錫 (Tin) 品 銀白色なるは良品、黄又
 は他の雜色を帯ぶるに従ひ品位下る、不純物
 の主なるものは鉛にして、一乃至二グラムに

之れより多量の硝酸を加へ、少しく熱して白
 色粉末となるを待ち皿に移し湯煎に掛けて過
 剰の硝酸を蒸發せしめたる上更に湯を注ぎ、
 暫く靜置したる後濾過し、其得たる液に稀硫
 酸を加へ白色の濁濁又は沈澱を生ずるものは
 鉛を含むもの、香港より輸入するものは中興、
 海峽殖民地より來るものは不順、協振なる商
 標あり、中興は常に他よりも劣る。

スズハク 錫箔 ハクを見よ。

スナ 砂 (Sand) 品 (一)鑄物用、耐火性强き
 を可、矽石は最良品なるも量不足なるが故に
 矽石丸、礬土又は陶土を六乃至七含有するも
 のを先づ良品、多孔質にして細粒なるを可、
 細かき程鑄肌は平滑なり、多少粘力あるを要

す、然らざれば破壊すべく、又餘り過多なれ
 ば鑄肌を研ぐ妨となる、(二)モルタル用、角立
 ちたるは可、圓きは不可、川砂は山砂よりも
 劣る、清淨にして泥土、塵埃を含まず、硬き
 を上とす、水分を吸收するもの、及び鹽味あ
 るものは不可、此點に於て海砂は下等。

スルメ 鰻 (Dried Cuttle fish) 種 胴長七寸

乃至一尺、菱形の長き鰭あるは劍先鰻(一番
 鰻)、劍先鰻の皮を磨きて光澤を附したるは磨
 鰻、胴長五乃至六寸(稀には八・九寸)、鰭短小
 幅廣きは普通鰻(ヤリイカ、二番鰻)、頭部に孔
 あるは隱岐製にして支那にては尾吼鰻といふ
 甲を去らざるは甲付鰻、中央の軟骨を去り肉
 を横より引き延ばし、圓く阿多福面に似せた

るは阿多福(四番錫)、表面に白粉を浮ぶるは鹹水製、刻みたるは刻錫、品 乾燥の如何は
 最要條件なり、俗に烏鳶と稱する烏賊の口を
 少しく上げて其下を見れば容易に判定し得、
 又表面に白粉を浮ぶるは鹹水製にして、歩留
 り良好なる故製造家は之れを採用するものあ
 るも、乾燥は常に不充分にして腐敗し易く特
 に圍ひ物としては不可、夏錫は九月上旬頃出
 盛るものにして、此頃は二百十日、二百二十
 日といふ厄日を控ふる爲め乾燥不充分なるも
 の多し、十二月以後漁獲せられたるものは後
 取れと稱し、寒天に入るが故に乾燥不足なる
 もの多し、觸りて粘り氣強きは乾燥不足か蒸
 れたる不良品、又濕氣を隠蔽する爲め石灰を

塗りたるものは化粧物と呼び劣等品總じて二
 番錫は福山附近産は乾燥不充分なる多し、黄
 色を帯び艶あり、鼈甲色なるは佳良、赤味を
 有するは香味共に劣り、表面に白粉を吹き出
 し、汚點を有するは共に不可、形は大なるほ
 ど貴く小葉物ほど廉價、又足不足イホ落ちた
 るもの贅の痕ある物等は不可、劍先錫の肉鱗
 を離轉し、又は二番錫の體肉を削りたるもの
 は共に劣等、支那人は形尖りたるを貴び、丸
 形之れに亞ぎ、偏廣なるを嫌ふ、肉厚き、味
 美なるを佳、概して磨錫劍先錫は最良、二番
 錫之れに亞ぎ、阿多福錫を下等とす、然し東京
 附近にては阿多福を歓迎す、結束の良否も品
 位に關係す、隠岐水産組合規定によれば錫は

品位良好にして、製造法、整束法、及び荷造法
 よろしきものを甲とし、大小の二種に區別す、
 (春夏は一枚四匁未満を小とし、四匁以上を大
 とす、秋は六匁五分以上を大とし、未滿を小
 とす、冬は七匁五分以上を大とし、未滿を小と
 す)、製造及結束法宜しきも稍々色澤を變じ又
 稍々大小あるものを乙とす、品位良好ならず
 して大小あり且つ缺損あるものを雜品とす。
 スレート 石板 (Slates) 品 色彩により黒ス
 レート、鼠スレートあり、總じて濃青黒色な
 るは淡青色のものよりも吸水量少なく優良、
 石質均一、石目は石板の長さに平行して能く
 通り、屈曲なきは佳良、板面に斑紋屈曲の多
 少あるは有害なきは横斑紋は不可、爪を立て

容易に毀損せざるは良質、指頭を觸れて堅
 硬粗糙に感ずるは良質、平滑にして膏ぎりて
 感ずるは不可、敲きて堅音を發するは佳、板
 に面して呼吸し微かに粘土臭あるは良質、粘
 土臭高きは不可、水を吸ふこと少なきほど可、
 二四時間水に浸たして其前後の重量を秤量比
 較せば吸水量を知るを得べし、又幅一二セン
 チメートル、長さ二六センチメートル位の片
 となして深さ一センチメートル位の水の中に縦
 に立て、一晝夜放置して水を吸ひ上げしめ、
 其高さが數ミリメートルを超過せざるものは
 優良品、半分よりも僅かに超過するものは普
 通品、之れ以上は劣等品、鹽酸に投じ泡沫を
 發するものは石灰石を含み、亞硫酸瓦斯を發

して硫黄を生ずるものは硫化物を存在するものにして共に風雨の爲めに腐蝕せらるゝ不良品、攝氏二五〇度乃至三〇〇度の高熱中に五乃至六時間投じたる後水中に浸して變化なきは熱に對する力強きもの、水中に數日間放置したる後水及び食鹽の起寒劑中に入れて何等の變化なきは寒に對する力強きもの、下野粕尾村、陸前雄勝持、土佐川口村下の加江村附近伊豫森山村、惣川村産等は何れも良質なるもの多し、其他越後、甲斐、肥後、羽後、陸奥地方産は概して次品。

セ

セイドー 青銅 (Bronze) 品 普通は銅八乃至一〇と錫の一の割合、赤味多きほど佳、近來は銅、錫、亞鉛の合金なるもの多し、本邦銅貨も亦然り。

セキザイ 石材 (Stones) 種 本邦石材外觀鑑

識、

(一) 断面緻密、石理不明瞭なるもの、

(イ) 硬度一・乃至一・〇以下、息を吹きかぐれば土臭あるは粘土、稍々硬く、不規則なる片狀に剝ぐるものは頁岩、(ロ) 硬度三位、比重二・六乃至三・八、種々なる色彩を爲し條

痕白く酢に浸せば劇しく泡を發するは石灰岩、遅々として泡を發するは苦土石灰岩、(ハ) 硬度三・〇乃至四・〇、比重二・五乃至二・七、雜色の斑紋あり條痕白色、薄片透明、觸感滑かにして酢に浸すも發泡せざるは蛇紋岩、(ニ) 硬度六位、比重二・六乃至二・八、灰、綠紫又は雜色を帯び條痕白色なるは古凝灰岩、(ホ) 硬度七位、比重二・五乃至二・九、白、赤、褐、淡綠色、断面介殼狀なるは硅岩、角岩、黒濃綠色或は一部黄色又は褐色なるは安山岩、

(二) 断面結晶狀なるもの、

(イ) 小刀にて容易に傷くもの、酢に浸し著しく發泡するものは石灰岩、少しく發泡する

は苦土石灰岩、(ロ) 小刀にて傷け難きもの、桃紅色、灰白色、青綠色、岩面粗糙、石英、長石、雲母より成り胡麻鹽狀なるは花崗岩、岩面粗、濃綠色又は黒色、斜長石と角閃石より成るものは閃綠岩、岩面粗糙、斜長石及び輝石より成り黒白の斑紋あるものは斑縞岩、粗粒、白色又は灰色の地に正長石及び石英を散在するは石英粗面岩、少しく粗面、淡灰、濃灰、又は褐色の地に斜長石及び黒色の結晶を散在するものは輝石安山岩、岩面緻密、黒色の地に斜長石及び黄色の橄欖石を散在するは玄武岩、緻密細粒、暗綠又は淡褐色にして主として橄欖石より成るは橄欖石、細小なる斜長石及び輝石の集合

より成り綠色なるは輝綠岩、細粒にして正長石及び石英の大粒を含むは石英斑岩、緻密なる地に斜長石を散在するは玢岩、石英と斜長石なれば石英玢岩、輝石と斜長なれば輝石玢岩、角閃石と斜長石なれば角閃玢岩、

(三) 断口玻璃状を呈するは總て火山岩にして、黑色、褐色、質均一なるは黑曜岩、種々の色彩を帯び、松脂の觀あるは瀝青岩、珫瑯質にして圓き卷輪の粒集より成るは眞珠岩、多孔にして泡の集まりたが如きは浮石又は輕石、

(四) 断口石理剝離し易きもの、息を吹きて土臭あり、板状なるは粘板岩、淡綠又は濃綠色

岩、變岩の石粒角立ちたるは角變岩、灰、淡綠、黄褐又は藍色を帯び火山灰又は火山岩の細片より成り、息を掛くれば土臭あるは凝灰岩、

品 概言し難し、裝飾用材は石理美、工作容易なるを良品、又鐵橋臺の如きは風化抵抗力強大なるを良質とするが如し、今日一般に理想とする所は、石質堅牢なること、耐久性に富むこと、組織均一なること、細工し易きこと、色澤美麗にして褪色し難きこと、龜裂又は空隙なきこと、大材を得べきこと等なり、尙ほ次に詳説せん、断面光澤あるは佳、粘土色なるは劣等、結晶狀に組織せるものは堅牢細粒緻密なるは粗粒なるものよりも脆弱、薄

平滑にして軟かきは綠泥剝岩、光澤あり、雲母と石英より成り容易に剝ぐるは雲母剝岩、容易に薄く剝離し、光輝あり、灰白乃至灰綠なるは千枚岩、紫紅色、緻密の石英質なるは紅籐剝岩、灰青色、藍閃石を有するは藍閃剝岩、黒鉛色を帯び石墨を有するは石墨剝岩、黒鉛色を帯び石墨を有するは石墨剝岩、花崗岩に類し、長石を混するは片麻岩、堅重、濃綠色にして角閃石より成るは角閃剝岩、輝石より成るは輝石剝岩、

(五) 断口破片又は碎骨状をなすもの、岩粒を有するものは砂、砂の稍々大なるは礫、天然の膠着物にて砂粒の凝結せるものは砂岩、豆大乃至人頭大の圓石が混合固結せるは變

片層なるは特に弱し、結晶は尖銳なるほど良質、又組織が粗鬆にしてホロ／＼缺くるものは最も忌む、清潔にして汚點損傷等なきを土、細粒の離散せるものなく、表面平滑なるは良質、重量は同種なれば大なるほど優良、耐久力大なるを可、▲吸水度合少なきものは強し石材を乾燥せしめたる後水に浸して二四時間放置し、次に取出して前後の重量を秤量し差の少なきは吸水量少なし、▲凍霜の害を蒙ること少なきほど強し、石材を水中に浸して充水分を吸収せしめ、之れを起寒劑中に入れ凍結せしめ其重量を秤り、之れを更に乾燥せしめたる後、其重量を秤量し其差を凍結によりて失はれたる石材の重量とす、又硫酸曹達

欠

セキ

の濃液を沸騰せしめ、之れに石材を浸たし、暫時放置したる後取り出し、空氣中に三乃至四時間乾燥すべし、然るときは硫酸曹達は石材の目の中に結晶するが故に石材の外面特に尖りたる部分より自ら剝落すべし、此前後の重量を秤りて、其差により被害の程度を知るべし、又アラード氏の法によれば硫酸曹達の濃液中に石材を數日間浸して空氣中に放置するときは、溶液は石材の小孔即ち目の中に浸み込みて結晶し膨脹をなし石材の小孔を破壊すべし、此時取出して乾燥し、試験前後の重量を比較して被害の程度を知る、▲焙煙、瓦斯等の被害少なきほど強大なり、都市に用ゐらるゝものは特に此力大なるを要す、石材を硫

セキ

一七二

酸と鹽酸の1%を含有する水中に浸して數日間放置するとき若し溷濁を生ずれば、炭酸石灰、炭酸苦土の存在するものにして、溷濁の甚しきものほど被害大なり、又石材の表面に一滴の鹽酸又は酢を注ぎて發泡するものも亦此被害あるもの、抗挫力強大なるを良材、石材を約四分の一乃至四吋角の片となし、鋼鐵板の間に挟み重量を加へて其片が挫壞せらるゝまで重量を追加して其重量を認むべし、堅硬なるものは破壊するまで少しも異狀なきも脆弱なるものは其實際の破壊重量の半分をも受けざるに既に龜裂を生ずべし、但し挟む板の種類によりて差あり、實驗によれば鋼板、木板、鉛板と柔皮との比は一〇〇、八九、六五、

欠

沸化せしめたる後更に水を加へ團子を作りて静水中に置きて檢るに直に溶解して水を濁らすは普通石灰、溶解せざるは水硬石灰、普通石灰に水を注ぐとき音と熱とを發して次第に潰れ遂に粉末となるは生石灰、粉末狀を爲し之れに水を注ぐも變化なきは沸化灰、又は風化灰、品 (一) 普通石灰、(イ) 生石灰、水を注げば直に沸化を始め大なる音を熱とを發して漸次に粉末となり、容積が二倍乃至三倍半に達するものは最優良品にし富又は肥石灰、沸化作用甚だ遅緩にして、速きも數分間、遅きは一時間位を要し、發熱音響共に少なく、容積の増加亦極めて少量なるは無用の夾雜物を六乃至七割も含有する劣等品にして貧又は瘠石

セツ

灰、生石灰は硬く固まりて沸化速く、増量大にして不純物は分析の結果一割以上ならざるを優良、色合は原料の種類により異なるも概して眞白なるは純良品、黄色乃至褐色なるは鐵分を含む下等品、(ロ) 沸化及風化灰、少しも粒を混在せざるを良品、風化灰固結力少なきほど良品、然らざるものは後日破紋龜裂を生ずる虞あり、土佐灰は富石灰を二・三年間雨露を受けざる様に大氣中に擴げて充分風化せしめたるものなれば固結力極めて少なく優良、豐後灰及高山灰は劣れり、野州粉灰は最下等品、(二) 水硬石灰、分析の結果炭酸石灰以下の夾雜物多きほど良品、優等品は少なくとも二〇%、

セツ

普通品は一七乃至二四%、下等品は一〇乃至二〇%、水を注ぐも音響發熱共に少なく、水化の速度靜かにして遅きほど良品、水中に浸して硬化せしむるに十二日間以上を要するは劣等品、一週間位なるは普通品、二日乃至四日間なれば優良品。

セツケン (Soap) 品 舌にて舐め刺戟の弱きを良質、重量輕きは佳、古く能く枯れたるものは軽くして優良、小片をアルコール又は蒸餾水に溶解して全部溶解すれば良品、之れに昇汞水を加へて振盪し褐色又は黄色を呈すれば游離アルカリ多き不良品、數日間放置して表面に白粉を生ずるものは食鹽多き劣等品、水分一六乃至二〇%以下なるを要す。

セメント (Cement) 品 色澤、必要なる條件に非ず、唯同じ種類に付きては灼熱程度を知る一助となるべし、緑灰色又は灰色は良品、青灰色は次品、褐色又は鶯色を次とし、黄色又は淺黄色は劣等、青灰色なるは石灰の過剰せるもの、褐色なるは粘土過剰せるもの、黄色なるは焼の不足なる證、粉末の程度、細かきほど良品、粗粒なるはセメントとしては力強もモルタルを作れば細粒より遙かに劣る實驗上一吋の百分の一より大なる粉末は効力なしと云ふ、細粒の程度を知るには三五番、三七番、四〇番線を以て夫々一平方吋に付き二五〇〇孔、五四七六孔、及び一〇、〇〇〇孔

を有する三個の鋼篩を作り、順次に之れを通過せしめ、其殘滓を秤量すべし、即ち二五〇〇孔を通過するものは百分の一吋よりも小一〇〇〇孔を通過するものは二百分の一吋よりも小なることを知るべし、細末に過ぐるは燒不足又は多量の粘土を含有する劣等品なることあり注意すべし、(之等は色合と斑點の存在とによりて判別せらるゝこと多し)、重量、輕きを佳、實際に於て重量を測定することは詰め方の如何によりて異なるが故に頗る困難なり普通行はるゝ法は、(イ)枳を下に置き其上に四五度の角度に斜に板を保ち、之れよりセメントを流し落し、枳に充滿したるとき其過剰を定規にて拂ひ落して重量を測定す、(ロ)三尺位

の高さに篩を斜面に保ち自然にセメントが枳に詰まるを待ちて其重量を秤る、(ハ)以上の方は市場にある樽物に一々行ふは不可能なるが故に次の方法による可とす、セメント一樽は凡そ三八〇ポンドとなすが故に其容積より重量を算出し實際の重量と比較すべし即ち細粒にして優良なるものは一樽四、五立方尺以上、劣等品は僅かに四立方尺を越ゆるのみにして普通一立方尺八〇ポンド内外なるを良質とせり、硬化即ち凝結、▲硬化時間、種類によりて遅速あり、一般に硬化遅きほど力強し、(水中用は速かなるを良品)、硬化時間を測定するには砂とセメントにてモルタルを作り、扁平なる函中に入れ、時々爪にて其面を

傷け、全く傷かざるに至れば硬化を終了したるものにして其間の時間を硬化時間とす、尙ほ詳密に試験せんとせば、ウキカー氏、とマイヤー氏の標準針器と稠度計とを用ゆるを要す即ち攝氏一八度の温度にセメント四〇〇グラムを稠度六耗を指すまで水を加減して糊状を作り、標準針器一平方耗の針を其表面に突き立て貫入を試み針頭の重量を三〇〇グラムとし指針が一耗を指すときに硬化が始まりたりとし、其針が全く貫入せざるときに至りて硬化終りたりとす、而して硬化を糊體製造後三〇分より早く始めず、一時間より遅からず、又三時間より早く終了せず十二時間より遅く終らざるを良品、▲硬化せる力、孔四〇〇の

篩を通したる後更に九〇〇孔篩にて通し殘留物を除きたる砂三とセメント一と水一〇%の割合にてモルタルを作り、型に敲き詰め型に従ひて切り均らしたるもの一〇個を作り、函の内に陰乾となし、一晝夜の後水に浸し、其中五個を一週間後取り出して試験し、残り五個を四週間後取り出して試験すべし、然るに一週間後に一平方時に付き九五ポンド、四週間後に一四〇ポンドの力に耐へざるは劣等品▲硬化中形積の變化、變化あるは不可、七五グラムのセメントと二五乃至三〇%の水にて糊體を作り厚さ凡そ三分の縁薄き圓板二個を硝子板上に作りて、一晝夜陰乾となし硬化終りたれば之れを水中に二七日間浸漬したる後

検め縁に些も異状なきは良品、抗壓力、普通には試験せず、餘程嚴密なる検査を要するときに特別の機械によりて鑑定す、大約次に述ぶる強力即ち引つ張る力の約八乃至一〇倍と見れば可、強力、此力の大小は品位優劣の分るゝ要點なり、總體のセメントより二〇乃至二五樽を一組とし一組より少しづゝ取り出して試験に供する標本(ブリケット)を作るべし、其形種々あり、



(I)は獨逸型にして中央断面五平方センチメ

ートル、(II)は英國型にして中央断面一平方時、何れにてもセメントを二〇乃至二五%の水と混じ練り固め型に詰めたるべし、其詰め方は各個必ず均一の力を要すべきが故に頗る困難なる操作なり、手にて作るときは鐵鎚にて軽く打ち込み表面に水分の浮び出づる位を度とす、ペエメ氏の鐵鎚器を用ふるを便とす、即ち附屬せる二キログラムの鎚にて一五〇回敲き棒より溢出するモルタルの過剩を削り去り、其上面を少しく平滑にすべし、此標本を日乾に於て一組により各十個宛作り、二四時間陰乾となしたる後水中に浸し、一週間目に其各半數を更に四週間目に殘半數を取り出して強力試験器にて上下に引き切れるまで引かし

セメ
め其力を測定す、元來セメントは標本製造後時日を経れば益々強力を増すものなれば必要なる場合には一・四週間、三ヶ月、一ヶ年、二ヶ年目等何回にも別ちて試験することあるも、普通は一・四週兩回にて足る、又試験器は種々あるも一般に用ひらるゝは砲彈の重さにてブリケットを切る構造を有する複挺セメント試験器(Double Lever Cement Testing Machine)膨脹性龜裂、此龜裂を生ずるは不良品、試験法に乾燥法、ハインツェル、及びラトマイヤ一氏珠試験法、ミハエリス氏煮沸法、マリレ一氏熱湯法、フリユツシグ氏壓搾法等あるも乾燥法は最可、即ちセメントを約三八グラムと水二五乃至三〇%にて混練し、硝子板上

セメ
に移し炭より軽く敲きて周邊に展延せしめ中央に於て約厚さ三分徑三寸位の饅頭形を作り濕りたる布片にて覆ふか又は函中に静置して直接光線又は風に晒れて急劇に收縮龜裂を生ぜざらしめ二四時間を経て水中に浸し二七日間放置したる後取り出して乾燥せしめ、静かに硝子板を離し更に能く乾燥したる後再び上面を水に濕さざるやう水中に入るゝとき若し膨脹して上下を貫通せる龜裂を生ずるものは直に浸水するが故に容易に判識し得べし、但し此際裏裏貫通せず輪狀を爲して中央に龜裂をなすか又は細狀の龜裂を生じたるものは共に他の原因によるものなれば誤るべからず、成分は理想とせる獨逸逸星印を標準とし之れ

に近きを良しとせり、

● 硅酸 二二・八五〇 第二酸化鐵 二・七六〇
● 礬土 五・五一一 アルカリ 〇・九二三
● 石灰 六四・四〇九 硫酸石灰 二・八六五
● 苦土 一・三〇五

▲ 石灰及び硅酸は必要成分、苦土は有害にしてフェーシヤ氏によれば百分の三を超過すべからずと、之れ多量なるは膨脹性龜裂を生ずる虞あり、石灰は有要なるも多量なれば高度の引く力に耐ふるも水中には使用するを得ず、礬土多量なれば急に硬化して硬化力乏しく海水中に用ふるときは海水の硫酸及び鹽酸の爲めに溶解せらるゝが故に八%以上は不可、二酸化鐵は必要ならず、海水用セメントは、

セメ
▲ 礬土八以上含有するは不可、▲ 不溶解性分三%以上含有するは不可、之れを測定するにはセメント一グラムに水一五立方厘を加へて能く混和し更に強硫酸一〇立方厘を注ぎて熱し分解せしめて水にて稀釋し、之れを濾過し不溶解を白金皿に採りて炭酸曹達の飽和溶液約五〇立方厘と共に一〇分間位煮沸して殘留物を乾燥せしめて秤量す、セメントは濕氣を受くるときは樽内にて固結して効力を失ふものなり、樽を靜かに左右に振り動かす時中にゴトン／＼と音を發すれば風化せる不良品以上の検査は餘程精密を要する際に悉く行ふも普通には強力試験位にて可、又明治三八年二月十日農商務省令を以てセメント検査法を

制定せり参照すべし、市場の評によれば一般用途に對し淺野、愛知、小野田セメントは優良、特に鐵筋混漚土には之等に限り、最も細粒なるは磐城セメントにして品質も佳良、粗なるは日本セメントにして品質北海道セメントに似、三重、櫻、鈴木セメント等は相伯中し、助川セメントは凝結遅しといふ。

セルジ セル地 品 織面を以て判す、細き毛糸にて織りたる薄手物は優良、經に梳毛絲、緯に紡毛を用ひたるは稍々劣る。(ケオリモノ、オリモノ参照)

セルロイド (Celluloid) 品 無色乃至微黄色透明にして、光澤に富み弾力強きは純粹に近きもの、輸入品の中米國品は質硬く品質優良

なるも高價なると細工し難き爲め餘り歡迎せられず、獨逸品は品質稍々劣るも軟かくして細工し易き爲め需要多く、英國は獨逸品よりも高價なる故輸入少なし。

セン 品 木理通直にして、節なき柱日取りを佳。(モクザイ参照)

センセキ 燭石 銀白色にして軽く、能く爆散し、粉末が稜角を有するは良品、福岡縣田川、鞍手、嘉穂三郡産は優良。

センス オ、ギに同じ。

センダン 梅檀 品 木理素直、輕軟、材色桐に似たるを良材。(モクザイ参照)

センダイヒラ 仙臺平 品 織面を主として判定し目方を以て斟酌す、目方は一反二丈六尺

にて一二〇乃至一八〇位。(オリモノ、キマオリモノ参照)

セントイトリヨ 船底塗料 品 塗りたる面平滑にして、乾燥速かなるを良品、少なくとも一日二回を塗り得るものなるを要す、塗面が弾力に富み他物との衝突にて容易に剝落せざるを要す、成分中に介殼植物類の養生を防ぎ且つ其胚種の生活力を殺すに充分なる毒物を含み其表面は常に洗ひ去られて新表面を現はし絶えず毒物を射出するものを良品、鐵板の錆を防止する成分あるを要す、軍艦と商船とにより及び海洋の種類によりて撰擇標準を異にせざるべからず。

セントツ 銑鐵(鑄鐵) (Pig-Iron) 種 断面結

晶粗粒、所々に黒斑點混在し全面黒鉛色なるは鼠銑 (Gray Pig-Iron)、折れ口の結晶粒細かく、白くして光輝あるは白銑 (White Pig-Iron)、釜石一號銑は最も混鼠色、粒最大、二號之れに亞ぎ共に鼠銑、三、四、五號は白銑、五號は粒最も細密、和銑は大概白色にして、氷狀の結晶を爲すは氷目銑、多くの氣孔ありて恰も蜂巢狀なるは蜂巢目銑、銀白色に近く肌緻密なるは木炭吹、然らざるは多くはコークス吹、品折れ口の結晶粗粒狀、灰色なるほど質柔軟、溶解點低し、土上物、器械類の鑄造に可、折れ口の結晶細密、白色なるに従ひ質脆く且つ堅硬、鍊鐵及び鋼の製造用に可、水道鐵管其他壓力に耐ふる鑄造物の原料用には

緻密にして粘着力強きを佳良、コークス吹き
よりも木炭吹優良、ガットセリ銑鐵は最優良
品。

センリヨ 染料 (Dye-stuffs) 品 實際染め
て試験すると分析法によりて成分及び純否を
判定するの外なし。

ソ

ソクリヨセイゾヨキケ 測量及製圖用器具
類 (Surveying and Drawing Instruments)
品 脚類はクルミ、トネリコ製を最上、ケン
ポーナシ製を中等、サクラ製を並品とし、サ
クラの中にてホンザクラは硬く保ち長くハザ
クラ之れに次ぎシウリは最も弱し、箱類は塗
り上り美にして狂ひ個所なきを要す、伊豆島
ツゲ製は最良品、ポールは軽くして粘氣ある
を要す、槍特に絲絛物は最上等品、北海産ト
ヒ、エゾマツ製は之れに次ぐ、モミ製は劣る
も磐城モミは槍製に匹敵すと云ふ、製圖板は

槍特に絲絛製を最上、ホーノキ製は可なるも
木目の處少しく硬くして針を刺し難き缺點あ
り又オレゴンパイン、カツラ製は劣等品、尺
度定規類は大形ものは槍製を最上、ホーノキ
製之れに亞ぎ、小形及び精密なる目盛物はツ
ゲを最上サクラを並品、金物は鍍、疵なきを
要す。

ゾーゲ 象牙 (Ivory) 種 尺餘なるは牝象牙
六・七尺に達するは牡象牙、亞弗利加産は大
形多く印度産は一個三十斤を越ゆるもの少な
し、印度産は鼠色乃至純白色、亞弗利加産は
純白ならず、品 純白にし緻密、中心に懸な
き大形を優良品。

ゾーヒ 象皮 カハ丸見よ。

ソーマン 索麵 品 雪白にして細きほど佳、
蒼灰黒色を帯び乾燥不充分なるは劣等。

ソヨゴ 品 白色精緻、皮を剥ぎて雅致あるを
良材。(モクザイ参照)



タイカレンガ 耐火煉瓦 (Fire Brick, White Brick)

レンガ鑑定法を適用すべし、手觸り恰も脂肪に觸るゝ感あるは良品、耐火強大なるを優等品、之れを検査するには、實際煉瓦を高熱の火中に没して溶解するや否やを試みるを安全なる法とし、普通セーゲル氏の三角錐を用ひて耐火度を測定す、即ち標本三角錐と略ぼ同形同大のものに煉瓦を缺きて種々なる番號を有する三角錐と共に順次にデピル氏爐中に入れ、精良なるコークスを以て吹子にて送風しつゝ熱し、其煉瓦が溶化すると

き同様に溶解する標本三角錐の番號を見出さざれば、普通二七番以上たるを要す、吸水量少なきを良品、炭火にて充分乾燥せしめたるものを秤量したる上、更に水に浸し、水を充分吸収せしめて其重量を秤り、之より吸水量を識るべし、複雑なる火爐を築造するものには伸縮せざるものを要す、煉瓦の表面にゴス又はベニガラの如き不燃性の繪具にて縦横二條の線を引き、其長さを測り置き、次に爐中に投じ數時間熱灼したる後取り出して冷却し、其線の長さを測り伸縮の有無及び程度を知るべし、伸縮は煉瓦の種類により差異あり、硃石煉瓦は時として全長の八分の一以上に上ることあり、成分によりて判定すれば(イ)普通耐

火煉瓦は硅酸礬土量多きを良品、然し此割合は硅酸の量少なく礬土量多きほど耐火性強く

酸化鐵の存在は非常に耐火性を助け、石灰、曹達、加里、苦土等を百分の三以上含むものは不良品、硫化鐵存在せるものは一層耐火性を弱む、硅素五二乃至八〇%、礬土一八乃至三五%なるは良品、(ロ)硃石煉瓦は硅酸量多く夾雜物少なきを良品、(ハ)石灰、苦土、又は苦灰煉瓦は其主成分多く夾雜物少なきを良品、普通の場所には粘土製可、高熱爐用には硃石煉瓦可、又石灰煉瓦は耐火性最も大なるも水に遇へば直に崩壊す、缺點あり、電氣を使用する爐には可、苦土煉瓦は耐火力石灰煉瓦之に次ぎ苦土と石灰とを混在するものは中庸を得て

價も廉。

タイコ 太鼓 ガクキを見よ。

ダイツ 大豆 (Beans) 品 (一) 醬油醸造用、黄

白色にして光澤あり、粒充滿して長からず且小粒を佳良、小粒なるは蛋白質多く之れを以て醸造するときは醪の量多く品質良好、下總野田にては臍の赤きもの即ち赤莢種を賞用す、牛莊大豆は蛋白質、脂油共に乏しく、纖維に富みて質粗なる下等品なるも價格低廉なる故一般に用ふ、(二) 溜り醬油醸造用、大粒を佳、盆大豆奥大豆等賞用せらる、味噌の重量を大ならしむる爲め盆大豆、奥大豆又は牛莊大豆を混和するもの多し、(三) 味噌製造用、可成大粒を佳、(四) 豆腐製造用、黄白色小粒を可良、

近時鐵峯大豆を使用するもの夥し、(五)滿州大豆の鑑別、綠豆、外皮青く内部黄色なるは黄綠豆、内外共に青色なるは青綠豆、黄豆、豆の臍に白き筋あるは白眉又は白斑黄色にして圓きは黄金又は金圓、臍に黒筋あるは黒臍又は黒腹、黑豆、外皮黒く内青きは黒豆又は小烏豆、稍小さく内黄色なるは小黒豆又は小烏豆、扁平にして内黄色なるは扁黒豆又は扁烏豆、各豆の品位は白眉を最良とす。

ダイツガス 大豆粕 (Bean Cakes) 種 四六斤則ち七貫四百匁玉は牛莊、芝罘より來る青黄、白豆製又は奉天產黑豆粕 (牛莊物とは遼河流域、奉天、開原、鐵峯、通江口、遼陽等產品の牛莊及び大連港より輸出せられたるも

の、總稱)、芝罘物は縮り悪く脆し、五〇斤即ち八貫目玉はハルビン及び青嶋より來るものにして、黑豆を混じたるはハルビン産、四十斤即ち六貫四〇〇匁玉は多く浦鹽港より來り、八斤、一八斤、二七斤玉等は多くは鎮江、漢口、上海附近より來るもの、品 成分には大差なきも黑豆を混在するもの、縮り悪くして破碎し易きものは下等品、形整正完全壓搾充分にして濕氣なきを良品、完全なる形を有するものと、半欠品とは市價に大差あり、色澤鮮明にして黄色にして他種又は不純物を含まざるを良品、芝罘物は縮りなき爲め牛莊物に比して劣り、北滿及び浦鹽廻りは黑豆を混するもの多し。

ダイリセキ

大理石 (Marble) 品 質緻密な

るは佳良、粗造なるは磨くも光澤を發せず、又組織の内部が透視せらるゝ感あるものは磨きて光澤を發するも上つ光りと稱し、久しく大氣に曝せば光澤を失ふべし、純白又は色彩斑紋の美なるは優良、割れ目、損傷少なく、大板ものほど高價、各地產品の重なるものを擧ぐれば、(イ)青森縣産、階上村大理石と稱す、中粒にして略寒水石に等しく鼠色と白色との二種あり、白色の方緻密にして優る、(ロ)岩手縣産、陸中大川目村大理石、白色と鼠との二種あり白色のもの稍々緻密にして寒水石と略ぼ同じ、兩種とも最良質には非ず、白色の方には稍々大材あり、(ハ)磐城産、白色に稍々灰

色を帯び往々濃灰色の線條あり質概して軟粗加工し易く粗造の彫刻室内川建築裝飾材料に適するも上ツ光りなり、比較的細粒なるは白龍産、菅ヶ谷産は粗粒なるも常陸寒水石に比し光澤優良、(ニ)常陸産、眞弓山赤澤、數澤、北澤産等は總じて雪白色の結晶質にして白寒水と稱し、中には緑色の帶狀又は淡桃色にして美觀を呈するものもあるも質粗粒、光澤美ならず、諏訪山及び助川大峯山附近産は灰色にして鼠寒水石と稱し美ならざるも前者より緻密良質、其外近來種々なる色彩斑紋を有するものを産す、(ホ)遠江産、色相餘り佳良ならざるも硬質緻密なるが故に磨けば光澤佳、(ヘ)美濃産、赤坂大理石と稱し古來より有名なり、

色彩、斑紋、石質等により次の如く撰別す、
▲淡灰色、稍粒状、質不均一、フリズナの化石を有するは鼠、▲白色又は灰色、多量のフリズナ、珊瑚海百合の化石を含み、黒き細線が無數に縦横せる斑紋あるは霞、▲霞に似てフリズナの化石が一部部に集合せるものは白鯨、▲割れ目の結晶が紅色なるは紅縞、▲淡灰色、堅緻、フリズナ化石を無數に含有し之れを磨くときは紡錘状の殻内構造を明かに現はすは鯨、フリズナが大形なれば大鯨、小形なれば小鯨、黒色なれば黒鯨、▲緻密漆黒色なるは黒、花紋状の模様を爲すは花紋、▲雪白色にして無數の割れ目あるは白又は螢石、▲黑白相半ばして變岩状を爲すは豆斑、▲黒

タイ

に似て珊瑚の化石を含み花の蕊状を爲すは花斑、▲蠟石色と紫黒色の脈條にて虎斑を爲すは虎斑、▲雜色混淆頗る美觀なるは更紗、▲總じて美濃産は質緻密光澤美しきが故に裝飾用細工物に最可、建築用としては大版物を得るは更紗、花斑、鯨、霞の五種に過ぎず、他は割目多し、(ト)若狭産、大谷大理石と呼び淡灰色又は白色の地に黒縞あるを鼠又は白縞と稱し、質緻密、寒水石よりも石質均一、山疵少なく赤褐色の斑紋あり、白と稱するものは少しく粗粒にして中粒なく、白霞、鼠霞は粗粒にして最下等なり、總じて若狭産は大材を得ることにて比なきも、石質は長門大理石及び寒水石よりも稍々劣る、(チ)阿波産、礫石

タイ

と呼び純白と青色とあり、白特に下田村産優良、(リ)土佐産、白色、綠色斑紋、灰色斑紋の三種あり、白色を最良、綠色斑紋之れに亞ぎ、白色は磨けば美しき光澤を發し、長門秋吉産白色大理石に劣らず、綠又は灰色斑紋は割れ目多く且、礎質物を含む故磨くには特種の材料を要する欠點あり質劣れり、(ヌ)長門産秋吉大理石として天下に名あり、中にて雪白粗糙なるは下部産出にして質寒水石に類し、良材に非ず、質稍々緻密、淡灰色又は帶黒灰色なるは中部産出にして前者よりも優良、其淡灰色中に白色の細線と化石とにて斑紋状を呈するは杜鵑色大理石と稱し、黒地に灰白色の脈と化石とにて斑紋を爲すは薄雲大理石と

タイ

呼び、共に磨けば美麗なる光澤を發し優良品又質最も緻密にして純白色なるか又は灰色の地に赤色の斑紋を交へ頗る美觀なるは上部産出にして最良材、彼の有名なる伊太利カララ産に匹敵す、(ル)肥後産、八代大理石は中粒乃至粗粒結晶質、雪白色なるは白島産にして質稍々佳良なるも秋吉産の白よりも劣る、大島産は寒水石に似て密ならず磨くも光澤美ならず、劣等なるも色彩には赤筋、黒筋、斑紋等あり、松高村の高島産は白色粗悪使用すべからず、(オ)越中産、下立村、瀧の平及び立石丁場産は濃セビヤ色と白色との波紋、又は淡セビヤ色と白色との波紋或は貝殻白色に淡灰色鱗皮状の斑紋等あり、石理恰も木に似て、

タイ

或は如輪李の如きものすらあり、石質は餘り可ならざるも色彩優秀、愛本村、大森佛石、砂場、彌太藏等産は白淡灰色に黒斑、緋又は縞、淡綠色、淡褐色或は淡灰色の斑等を有し石質斑紋色彩共に前三者よりも劣り、常陸寒水石に比して粗粒、肥後八代大理石と伯中す、(ワ)紀伊産、洞川大理石は白、鼠、縞等あり純白緻密なるを最良とするも此地方の白は多くは粗粒にして鼠を帯ぶるに従ひ緻密、大引大理石は粗粒と中粒とあり、白色に少しく鼠色を帯ぶるは粗粒、淡褐色なるは中粒、共に餘、良質に非ず。

タガヤサン 鐵刀木 (Tagayasan) 品 紋理、材色、明瞭、濃艶雅美なるは優良、李目の詰

まりたるは劣等、目廻り重に過ぐるは不可、新渡、中渡、古渡(新木、中渡、古木或は新山、中渡、古渡)の三種あり、新渡は暹羅産にして重量大、光澤なく、木理詰まりて沈み總じて下等材、久しきに亘れば焼けて茶ぼくなるべし、然し古渡よりも硬し、中渡は安南産にして光澤あり、木理明かにして美しく、其鐵色を含むものは最も堅し、古渡は比律賓島産にして最良材。

タキギ 薪 (Firewood) 品 クヌギ製最良、カシ、ナラ、ブナ製之れに亞ぎ他は中以下、總じて年數若きものほど優良、クヌギは東京附近にては常陸産優良(細物六本を一束とせり、他地方産は太し)。

薪材の燃力を測定するには次の三法あり、

(一) 元素分析の成績による法、

1. 成分が單に炭素及水素よりなるもの

$$\text{發熱量} = \frac{8080 \times \text{炭素量} + 34462 \times \text{水素量}}{100}$$

2. 成分が水素炭素酸素よりなるもの

$$\text{發熱量} = \frac{8080 \times \text{炭素量} + 34462 \times \text{水素量} - \frac{\text{酸素量}}{8} \times (\text{水素量} - \frac{\text{酸素量}}{8})}{100}$$

なる公式より算定し得べし、然れども實際の發熱量とは符合せず何んとなれば炭素水素は大部分化合物となりて存在するが故に其分解に燃燒より生ずる熱の一部は消費せらるべく且つ木材が氣體に變化するにも熱

を奪はるゝが故なり、

(二) ベルチエー氏法、木材を酸化鉛と共に粘土製坩堝中に熱して還元し金屬鉛を生ぜしめ鉛の量を測定して炭素量を推算し以て熱量を算出するにあり、然して一二グラムの炭素は四一四グラムの還元鉛を生ずるを以て一グラムの炭素は三四・五グラムの鉛に相當し一グラムの炭素は八〇八〇カロリーの熱量を發するが故に之れより推算して生じたる還元鉛の量に二三四を乗すれば其木材の燃力を知ることを得べし、然し水素も亦酸化鉛を生ずるか故に結局一グラムの鉛は三三三カロリーの相當することとなるべし、此方法は稍々精確なるも得たる數は多

くは實際よりも少なきを常とす、

(三) 熱量計を用ふる法、鹽酸加里と硝石との混和劑を以て燃燒せしむるトムプソン氏熱量計、酸素の氣流を用ふるフイツシャー氏熱量計、及び高壓酸素中にて行ふマールマ氏熱量計等あり共に一定量の木材を燃燒せしめて一定量の水を温め温度の上昇を檢する法にして不精密なれども簡便なり、何れの方法によるも不完全たるを免れず實際に於ては數回繰返して試驗するを要す、又材種によりて燃力の強弱を示せば、

(一) 燃力最強なるもの

カラマツ、ウバメガシ、シラカシ、イヌノキ、ツバキ、ヤマバーシの心

材、

(二) 強きもの

カヘテ、ナラ、ブナノキ、シデ、

(三) 中庸なるもの

マツ、ツガ、クリノキ、カバ類、

(四) 弱きもの

ヤマナラシ、ヤナギ、ニレ類、クス類、

(五) 燃力最も弱きもの

カラエフザン、サワグルミ、チャン、チンキリ、(諸戸林學士木材の性質抄録) 尙ほ獨逸學者ハルチヒ氏が各種木材の一ポンドを燃燒して得たる平均燃力を示せば次の如し但し一二〇乃至一六〇年生のブナノキの幹材の燃力を一とす、

一〇〇年生のトネリコ
二五年生のブナ丸太
一二〇年生の脂氣多きマツ
アカチヤ
一〇〇年生のシデ幹材
五〇乃至八〇年生ブナ割材
一〇八年生のカヘテ幹材
一〇〇年生のシラカンバ同
一二〇年生のミヅナラ同

一、四四
一、一〇
一、〇九
一、〇五
一、〇五
一、〇四
一、〇三
〇、九六
〇、九四

七〇年生のカラマツ幹材
一〇〇年生のニレ同
一〇〇年生のトーヒ同
一〇〇年生のボダイジュ同
一二〇年生のモミ同
クリノキ材
四〇年生のハンノキ同
四〇年生のヤマナラシ同
二八年生のヤナギ幹材

〇、八二
〇、七九
〇、七六
〇、六九
〇、六七
〇、六五
〇、五九
〇、五八
〇、四八

タケ 竹 (Bamboo) 種 長さ六、七丈周圍一

尺五六寸厚さ五、六分節間長きは苦竹、節間短かく節に白き粉あるは淡竹、淡竹は節低くして籐跡の方高く且つ肉少なく竹紙厚きも苦

竹は全く之れに反す、又孟宗竹の節と籐跡とは略一致す、細くして籐竹の如きは女竹、元枝の一本なるは男、二本なるは女竹、品表面白く見ゆるは白ハセと稱し良品、翠色滿る

が如きは水分多く堅質ならず、正内素直にして彎曲及び本末の差少なく肌清美なるは良質淡苦竹とも關東産は一般に伸長小にして締りも弾力も少く畿内産は之れに反し優良、産地によりて品質に大差あり、(イ)濃青色にして肉軟かく弾力なく皮の部分のみ非常に堅く節黒く乾燥したるものの皮肌は黒味あるは沃地に産したるものにして家山物と呼び劣等、(ロ)青味淡く質硬く弾力あるは深山産にして本山物と云ひ良質、(ハ)前兩者中間にあるを市場にては中山物と稱す、皮肌赤きは日光に激しく曝らされたるものにて質脆し、下部六尺位に油氣なく内にスの入りたるは一〇年位の老竹にして質弾力なく劣等、元枝の一本なるは男、

二本なるは女竹、用途によりて品位を定むれば、(イ)籬量用度等には柔軟性、弾力性大にして伸縮の度小なるもの、(ロ)簾、扇骨、籠、箆、傘骨、弓、竹尺、箸、楊枝等には皮目堅緻、内節強きもの、(ハ)棹、樋、梯子、尺八其他家具材料等には幹長く軽く、内節空間直徑大、表皮光澤あり堅韌なるを良品、團扇川、木目細く汚斑なく、強くして割り易く、節高く、芽大なるを良品、最上品は大名竹(房州及び豊後産女竹を最上)、二等品はニガタケ、(房州總州伊豆産佳良)、下等品は箱根産女竹を普通用ふ、弓竹にはマダケを可、孟宗竹製は蟲着き易し、舟竿茶筌等にはハチク可、籬類は質硬くして軽きを可、豊後竹最良、擊劍用竹胴に

は孟宗竹可、ハチクは堅くして蟲を生ぜず斑竹は支那斑竹優良。

タタミオモテ 疊表 (Matsing for floor) 品原

料藪質の良否(イ参照)と織込數によりて定む目詰まりて重量大なるほど上品、青色活けるが如きを優良、一本の藪にて織りたるを引通しと呼び上品、二本を用ひ中央に藪先を交へたるを早島表(關東)、中繼又は中鬚(關西)と稱し次品、三本を以てせるは小鬚といひ劣等品、備後表を本場物と稱し外觀頗る雅美質硬くして、弾力あり最優等品、備後表にても尾の道産は少しく餘色ありて青味の變色早く稍や劣る、備前表は備後産に比して質稍や柔軟、他地方の産は何れも中等品以下。

タネガミ 蠶卵紙 (Card of Silk-worm Eggs)

種類 種類の鑑定は専門家に依頼すべし 品 各種固有の色澤を有し鮮麗にして大小不同なく、産付正しくして附着力強きを良品。

タバコ 烟草 (Tobacco) 品 黄褐色、光澤あり

るは佳、暗黄色又は綠褐色なるは下等、概して濃色ならざるを良質とし、土葉は灰褐色、中葉は黄褐色、本葉は濃褐色、天葉は褐色、色澤叢あり、又は斑点あるは醗酵の度合に不均一を來す恐れあり、味は辛烈なるよりも緩和なるを良質、辛烈なるはニコチン含有量大なるもの、香氣は味に次ぎて必要條件、芳香を有するは佳良、概して褐色なるは香氣高く綠色なるは忌むべき臭氣あり、燃燒容易、火

の保存永くして速かに燃盡さざるを良品、乾燥充分なるものは此性質に富む、燃焼して灰となるは良質、炭となるは不可、成分葉脈纖維緻密蛋白質、樹脂及び鹽素の含有量少なく加里多量なるは良品、煙の量多きは佳、灰の色白きは佳、黒褐色なるは不可、乾燥充分にして燄の發生せざるを要す、葉巻の材料には彈力あり葉脈細きを佳、キューバ産最上、マニラ、スマトラ産之れに亞ぐ、紙巻には土耳其希臘産最良、米國品之れに亞ぐ、喫嚙用には米國品最良、刻煙草には米、瓜、土、希の産何れも佳良。

ターペンチヌ テンメンユに同じ。

タマグス 玉楠 品 紋理美しく堅重なるを佳

マホガニー、桑、クルミ、楠等の代用品なり。(モクザイ参照)

タマツキドーク 玉突道具 品 槌は用材と裝飾によりて品位を定む、コシン (Cushion) は硬軟中庸を得たるを可、硬きに過ぐるは彈力なく最も不可、羅紗は地合薄くして密且つ毛羽立ち低くして重量大きを優良、球は罅裂及び粗鬆なる心なき優良なる象牙製可、キュー(突棒)は眞直にして少しも狂ひなき一本木製(ノベキュー)を最良とすれども如斯もの稀なるが故に唐木又は黒柿と良質なるカキ、ナシ等を二段又は三段に繼ぎ合して製したるを上品。

タムマー (Dammer) 種、品 石筍様の塊又は

小片にして無色透明なるか又は輕石様の外觀ありて破碎し易く、其破碎面は光輝ありてパール様の芳香を有すは普通品、(印度、馬來、及び南洋諸島産)、嚼みて粘着する白色體となるは古きもの、汚褐色の熔滓状を爲せるはシンガポール邊より輸出せらるゝ和蘭ダムマー、無色透明にして芳香あるを優良。

タモ 品 北海道産は赤味を帯びて粘力あり鈍の利き悪しといふ。(モクザイ参照)

タラ 乾鱈 (Dried Cod-fish) 種 開きて乾燥したるは開鱈、然らざるは棒鱈、品 鼈甲色なるは良品、黄色にして綿の如きはシミダラと呼び劣等、所々が凍結したるは半シミダラと稱し不可、形状整ひたるは可、開鱈は圓形

なるを貴ぶ、汚物を附着せず、互に相打てば硬き音を發するを優良、鱸(スケトウ)を混すべからず、鱸は眞直に酷似するも、肉落ち、體形長く、尾に至り急にこけ、口邊も鱸も共に黒きが故に一見判別し得べし、開鱈は釧路産最良、棒鱈は樺太を本場とす、樺太政廳にては検査票を附して品位の等級を證明せり、赤票は壹等品、青票は二等品、淡茶票は三等品、淡黄色票は等外品、三等品は半シミもの等外品はシミタラ。

タール (Tar) 種 咖啡様の褐色乃至漆黒色又は濃褐色、比重〇・八五乃至〇・九三、水に浮遊するはコールタール (Coal Tar) 黒褐色油様濃稠の液、比重一・〇二乃至一・〇四、水より

重く、テレメン様の臭気あるは木タール、品概して木タールの方優等にして、防腐力、耐久性共に大、金属防錆用としては両者を混合したるもの可。

タル 樽 オケを見よ。

タルマル 樽丸 オレを見よ。

タンケージ (Tankage) 品 稀硫酸及び苛性曹達の溶液と共に煮沸して不溶解物を残すほど下等品(多少の土砂は差支なし)少量の水と共に試験管中にて能く振盪したる上清澄になるまで静置し、之れにロクワードエックスのアルコール溶液を注ぎて赤紫色に變ずるものは木灰、石灰等を混するもの。

タンス、ナガモチ 箆筒長持類 品 總桐製を

最良、安物は前面のみ桐を用ふ(マヘギリ)、孔環の部分凹みて淺き溝を爲し板面硬きは洗ひ出し仕上にして上等物、嫌な光澤あるは蠟磨仕上にして並品、東京市場に於ては川越總桐物は他地方製に比して常に高價なり、川越にては優良なる桐のみを選択して總桐物を製するが故なり、黒條を有するは支那桐を用ひたるもの(キリ参照)、疵を隠したるもの、皮肌を残すもの等は後日虫害を受くる原因となるが故に能く検査すべし、金物の良否をも検むべし。

タンチャ 磚茶 (Brick Tea) 品 黒色を帯びて光澤あるは佳、茶褐色なるは劣等、四邊が充分に締りたるを可、手にて擦り直に碎くる

は不可、横厚みの四面に粗粉を用ひたるは可、四邊に細粉を用ひ、内部よりも外邊に多量に用ひたるは可、塵埃、糞等を混在せず、濕氣を含まざるを良品。

ダンツ 緞通類 (Carpets) 品 編込絲即ち房絲は經緯ともに絲數多きほど上等品、麻緞通の上等品は麻絲四本を合せ下等品は袋解絲、一本、緯絲一本を合せ用ひ、綿緞通の上等物は二六乃至二〇手のもの四〇本より三〇本を用ひ、下等品は南京絲五本より十二本を用ふ羊毛製の上等品は羊毛絲六本乃至一〇本を合せ、絹絲緞通最優良品は緯絲六尺の間に六〇〇本打込み、編絲には絹縫絲八本を用ふ、編込絲は麻緞通にありては上等物は紡績麻絲又

は印度麻絲を用ひ、下等物には古麻を解きたる絲を用ふ、綿緞通にありては綿紡績又は手紡絲を用ひたるは上等品、紡績落綿又は南京古綿を打ち返したるを用ひたるは下等品、段數多きほど上等品、普通四本五本織は三二〇段、六本織は三五〇段。

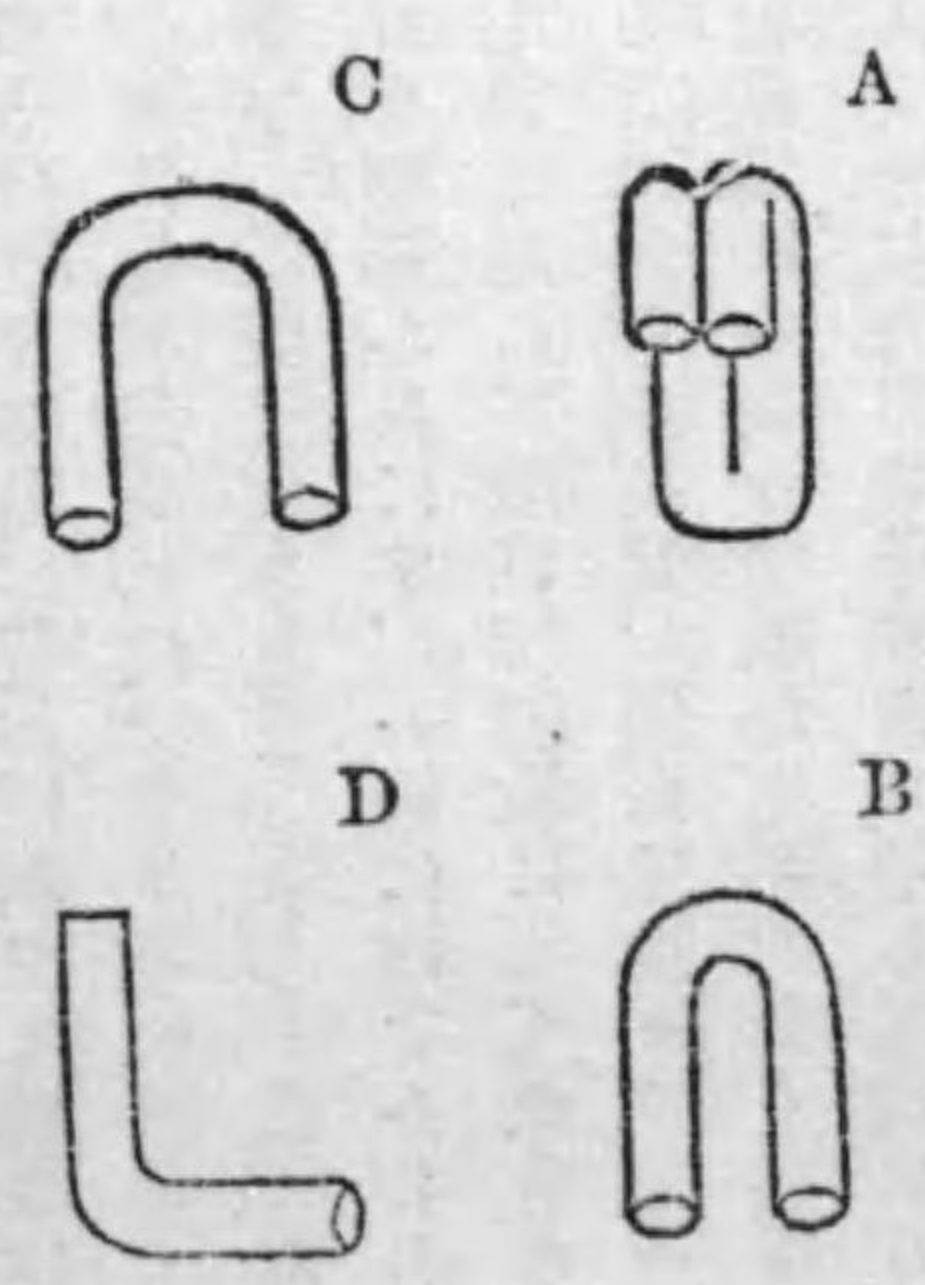
タンテツ 鍛鐵 (Wrought Iron) 品 用途によりて標準を異にす、一般に通ずるものは、熱し易く鎚にて敲けば柔軟にして火花を散らすこと少なきを良質、鎚にて徐々に敲き碎き鉛白色絹様の長き纖維を生じ、全く破碎せらるゝときは互に巻き絡まり恰も凝結するが如き狀を呈するは良質、ブツ／＼切斷せらるゝは燒不足なる劣等品、折れ口にて鑑定すると

は最も普通行はるゝ方法にして、鐵材の一面に鑿目を入れ之れと反對の方向に激動を與へざるやう餘かに曲げ折りて其折れ口の色が青色又は灰白色にして絹様の光澤あり全面が微細なる纖維狀を爲すものほど良質、質硬く折れ口無色にしてキラ／＼とし組成分子が粗大なるか又は黒色を帯びて粗鬆なるは共に不可、▲棒鐵の端に龜裂あるは劣等品にして熱に遇へば脆し、彼の良質の稱あるローモールの如きは折れ口緻密、灰白色を呈し、光澤あり美麗なり、又並鐵及びB鐵の如きは纖維狀黒灰色粗構なり、折り曲げて角に龜裂を生ぜず柔軟なるを優良、即ち含有炭素の量少なきほど可、長さ約二尺に切り(丸棒ならば其儘、角

タン

物なれば、豫め四隅に鑿を掛けて圓形となし(A)の如く中央より二つに折り曲げ又更に之れを二つに折り曲げ屈曲角に少しも龜裂を生ぜざるを優等とす、次に(B)の如く直径又は幅に等しき内徑にて一八〇度に折り曲げ、其屈曲部に龜裂を生ぜざるを次品、(C)の如く

タン



直径又は幅の二倍に等しき内徑にて一八〇度に折り曲げ其屈曲部に龜裂なきを三等品、又(D)の如く九〇度に折り曲げ其曲り角に龜裂を生ぜざる位なるを劣等とす、又工字鐵、溝鐵、丁鐵矩鐵等は熱して中央より屈げ其間の距離が厚さの約二倍となるまで龜裂を生ぜざるを良品環頭桿の如きは頭部に鍛接を行ひたるものあるが故に切斷せずして其まゝ行ふを可、絞紙は冷狀にて(E)の如く直径と同じ間

タン



品、次に櫻紅色に熱して(F)の如く相接するまで屈曲して龜裂を生ぜざるは最優良品、又汽車の煙突の如きは長さ三〇時に切斷し其内部に松脂又は砂を充たして屈曲して、兩端相接するも龜裂を生ぜざるは良品、又板物は幅半吋位の短冊形に截りて櫻紅色に熱し華氏八〇度の水中に投じたる後(G)の如く屈折して龜裂を生ぜざるは最良質、材料を赤熱して中央に目打にて孔を穿ち、其孔を段々大きくなし、遂に其材料の直径又は幅に等しくなしたるとき孔の周邊に龜裂を生ぜざるは良質、此際孔の周邊が平滑にして鐵の分子が外方に展延せらる

タン



るものは良品、周圍に罅裂を生ずるは不可、
 鏈にて敲き、周邊に龜裂を生ぜずして展延せ
 らるゝは良品、角又は丸鐵は其幅又は直径
 の約二倍の長さに切りて櫻紅色に熱したる上
 金敷の上に縦に立て其長さの約三分の一にな
 るまで徐々に鏈にて敲き延ばして周邊に龜裂
 を生ぜざるは良品、板金、平鐵等は赤く熱し
 て薄く敲き延ばし、周邊に龜裂を生ぜざるは
 良品、展延の割合は少なくとも原長の一二%
 以上ならざるべからず、寸の傘は寸の如く胴
 の直径の二倍半に達するまで打ち延ばして試
 験すべし、組織に整なく一様にして鐵滓等の
 不純物を混在せざるを可、之れを檢查するに
 は鐵材を平に削りて鐵仕上げを爲し、更に細

目又は油目鏝にて充分丁寧に磨き上げ、之れ
 に稀鹽酸又は稀硫酸或は硝酸等の酸類溶液中
 に浸し、暫く放置したる後清水にて表面を能
 く洗滌して検め、若し腐蝕せられて凹みたる
 部分を生じたるものなれば其材料は組織が一
 様ならずして其部分が著しく粗なるか或は鐵
 滓を混在する劣等品と知るべし、鍛接力の強
 きを良しとす、二個の鐵材を鍛接したる後材
 力試験機にて其接合箇所を屈折して附着の良
 否を檢むべし、若し此機械なきときは前述せ
 る腐蝕試験を行ふべし、鍛接不充分なれば直
 に腐蝕せらるゝ、土木建築材料にありては抗壓
 力、抗張力等を夫々特別の機械によりて檢査
 するの要あり、序丁鐵は鋼の材料として最も

タン

タン

有効品、スキッツルは柔軟良品、新スキッツル
 は鋼に近きものにして唯焼きを入れる、能はざ
 るもの、ローモールは柔軟最優良品、B鐵は
 鍛鍊の度最も少なく夾雜物多き劣等品、BB鐵
 はB鐵を再鍊せるもの、B鐵又は3B鐵はB鐵
 を再鍊せるものにして組織均一夾雜物なき良
 品、並鐵は組織荒き劣等品、和鐵と洋鐵とを
 比較すれば和鐵の方が優良なるも操作に手数を
 要し、仕上り高價となる缺點あり、之れ在來

の和鐵は道具用となすには再三再四鍛鍊を施
 こして鐵滓分を驅除し、品質を均一ならしむ
 る要あるが故なり。
タンニンガイ 単仁材 品 單仁酸の多きほど
 良品なり、試験品をエーテルと酒精の混和液
 に浸し數時間の後濾過して得たる液を更に蒸
 發乾涸せしめ析出したる物に過鹽化鐵を注ぎ
 黒變する度合によりて判定す、普通本邦に於
 て使用するもの、主なるものを示せば

名	稱	地	單仁質	非單仁質	名	稱	地	單仁質	非單仁質
柏	皮白	河	一三・六〇	一・七七	柏	皮	栗	九・三	二・七三
同	下野秩父	一〇・三五	〇・七一	同	栗	洲	三三・七九	二・六七	
同	北海道 厚手	五・一〇		同	濠洲		二六・五	二・四八	
同	同	同		同	同		二五・六一	〇・七	
同	同	同		同	同				

タン

タン

タン

同	八王子	一〇・三七	〇・七二	信ノ根皮	四
同	米國加州	一六・八一	一・六〇	同	同

タンバン 丹礬 (Salphate of copper) 品 水

溶液に硫化水素を通じて銅を沈澱せしめたる後之を濾過して得たる液を蒸發乾涸せしめ其の残渣を水にて溶き鹽酸數滴を加へ次にアノモニヤ水を過剰に注加するとき若し茶褐色の沈澱を生ずれば鐵分を有する不純品、前法によりて得たる液を濾過して再び蒸發乾涸し其残渣を水にて溶き之れに鹽酸數滴を加へ炭酸曹達を注加し若し白色の沈澱を生ずれば亞鉛を含有する不純品、遞信省使用書摘要は、(一)丹礬量は一〇〇分中九八・五以上のもの、(二)不純物として鐵分は一〇〇分中〇・〇八以下

タン

二・三〇	一・〇四	バルメット	米	國	一三・二九	二・四五
七・三九	〇・八六	柏皮	エキス	同	二五・四四	二・三三

(〇・〇八の鐵分は〇・四〇の硫酸鐵に相當す) 其他の不純物は痕跡。

一一〇

チ

チーク (Teak) 品 堅硬緻密、材色美なるを

良材、印度緬甸州モルメーン港輸出品は最良品、緬甸州蘭貢港及び暹羅より輸出せらるゝは次品、瓜哇産は最下等材。

チクザイ 竹材 タケを見よ。

チチフジマ 秩父織 品 織面によりて判す、

一疋の原料一七〇匁乃至二三〇匁位を普通品 (オリモノ、参照)

チチフギヌ 秩父絹 品 目方を標準とし一反

の原料一二〇匁乃至一六〇匁位を普通品、(オリモノ、キヌオリモノ参照)

チー

チヤ 茶 (Tea) 綠茶(紅茶はコーチャ、烏龍茶

はウーロンチャ、磚茶はタンチャにあり)、

種 何番茶なりやを鑑別することは頗る困難にして製造後日数を餘り多く經ざるものは稍々判別し得べきも越年したるものは専門家と雖も見分け難し、湯にて煎出し水色黄味を帯びて淡きは一番茶にして、二番茶三番茶四番茶と順次に黄味を減じて赤味を加へ濃厚となるべく、香氣は一番茶最も高く、味は一番茶は甘澁味を程良く備ふるも、二番茶は甘味を失ひ苦味を有し、三番茶は澁味のみとなり、四番茶は俗に馬鹿茶と呼び味少しもなし、以上によりて大略推斷すべし、品 品位の鑑定も亦頗る難事に屬す、須らく多年實地の功を

チヤ

一一一

積むべきなり、今大要を示せば、色澤、普通濃青色にして光輝高く潤ひあるほど良品とす然し注意すべきことあり、製造したるまゝの品と更に之れをガラと稱する罐に入れて少しく熱を與へつゝ廻轉して、互に揉み擦りたるものとは色澤に非常なる差あり、爲めに劣等茶を却て優良品と誤認することあれば必ず色澤にのみ重きを置くべからず必ず次に述ぶる水色香氣味等の鑑定を綜合して判断すべし、又色澤を巧に良好なるものに擬したるものあるも之等は水色香氣味を檢むれば直に判別し得べし、撻り方、撻れ不足、團子等なく充分撻れたるは良品、形状、緊縮して大小長短に整なく一様に揃ひたるは良品、大さは寧ろ小

なるを好み、外國向は内地向長さの三倍位を可、粉末を混するもの、茶葉に敵あるは共に不可、乾燥充分なるを要す、優良品は握り又は噛めば判然すべく、粉茶は指頭に摘みて細末となるを可、特別に製せられたる白色磁製の鑑定茶碗(俗に拜見茶碗)に約七分位を入れ熱湯を一杯に注ぎ約五分間放置したる後茶滓を除去して、(イ)香氣が高くして燻臭なきは良品、(ロ)口に甘味ありて澁味を有するは優良品、(ハ)水色を見るに淡く黄味を帯びて稍青味あり、澄みて力あるは優良品、濃厚にして赤味あり、潤れるは下等品、茨城縣千葉縣等の産にして水色の良好なるものあり、一見優良品の如きも冷却するを待ち

チヤ

チヤ

二二二

て檢むれば先きに淡黄色を帯びたりと認めたるものは遂に變じて赤色となるに至るを以て下等品たるを知る、他にも此例あり注意すべし、(ニ)茶滓を檢め、茶葉の完全なるもの多きほど良品、葉が粗厚なるは劣等品、茶滓にも香氣ありて綠色高きは良品、枯葉、塵埃等を混するは劣等、熟練せるものは茶滓によりて産地、混合茶の性質等を鑑識す、(ホ)之れを數回行ひて尙ほ茶に力あるは優良品、外國行は特に此點に注意すべし、静岡縣産は概して茶力強し、名古屋共進會にて審査せる標準は、

貯藏 一〇〇%
玉露のみは形状を一〇〇%、味を二〇〇%とせり、
緑茶の等級は製造期によれば一番茶を最上、三番茶を次品、二番茶四番茶の順序とす、四番茶は馬鹿茶と稱し味無きが故に混合茶として内地向に歡迎せらる、又製品の種類によれば、玉露を最上、煎茶之れに亞ぎ、番茶を最下等、棒茶は産地と製品によりては番茶を淺駕するもの少からず、粉茶は普通同種の完全なるもの、半價、着色茶は海外貿易品として又東京同業組合の手を経て東京市に供給せらるものにて共に禁止せられたり、茶を白紙の間に挟みて揉み其紙を蟲眼鏡に照せば容

形状	二〇〇%	水色	二〇〇%
色澤	一〇〇%	蒸熱	一〇〇%
香氣	二〇〇%	味	一〇〇%

チヤ

チヤ

二二三

易に發見し得べし。

チヤン ビツチを見よ。

チヤン 品 材色木理共に美にして輕さを良材

(モクザイ参照)

チエーン クサリを見よ。

チヨーゴヒリヨ 調合肥料(配合肥料人造

肥料、完全肥料) (Artificial Manure) 品

不正品頗る多きものにして製造品と保證票とに信頼するの外なし、簡易なる鑑定法を示せば、蟲眼鏡にて實質の如何を検し、手にて擦りて土砂の有無を検め、水に溶解せしめて攪拌し浮遊する鋸屑又は糞殼等の存在せるや否やを驗するに在り。

チヨータイ シラベカハに同じ。

チリシヨセキ 智利硝石 (Saltpetre) 品

無色透明にして骸子形の結晶を爲すは良品、水分を含みて潮解せるは效力なし、水に溶解せしめたるものにアリシン〇・二五瓦を強硫酸一〇〇立方センチメートルに溶解したるものを滴下して赤色を呈すれば眞正品、然らざるは不正品、水に溶解せしめて不溶解分を殘留するは不純物を含むもの、又此際白濁を生ずれば石灰を含むもの、清淨なる炭火上に振りかけて完全に燃焼し盡すは眞實、殘留物あるほど下等品。

チヨモ 鳥毛 ウモを見よ。

チリメン 縮緬 (Chirimen) 品 友禪縮緬を除きて他は悉く目方を標準として大略評定、白縮

ツ

ツガ 榿 品 帶黄紫色又は白色にして光澤あり、質柔軟にして緻密なるは良材、遠州千頭山、大和泥川産共に良材。

ツゲ 黄楊樹 品 年輪密、質堅く粘りあり光澤美なるは良材、伊豆七島産と薩摩産とは年輪と強度によつて容易に判別し得、即ち伊豆七島産は質硬くして粘りあり、年輪の幅狭くして緻密なるも薩摩産は質軟かくて脆く、年輪廣くして粗なり、伊豆七島中御藏島産は軟く、三宅島産は硬く、又御藏島産は根及び幹の下部に蟲孔なけれども三宅島産は孔あり、

緬は一反一四〇乃至一八〇、縮緬は目方と織面とを標準とし一反一〇〇乃至一三〇、勿位、絹緬は一反一一〇乃至一三〇、勿位、綿絲に用ひたるは觀光縮緬。(オリモノ、キヌオリモノ、マゼカリモノ参照)

チンコー 沈香 品 精緻にして芳香高きを賣ぶ。(モクザイ参照)

▲薩摩産は三宅島産に似たるも木理更に粗、暹羅産は樹皮ツゲと全く異りて椿に似、質粗且つ中心の附近材色黒味を帯び俗に所謂韶と稱するもの存在し品質劣る、印度産は暹羅産よりも軽く質粗なるも韶少なきと大材多し。

ツツジ 躑躅 品 床柱用には皮目の色澤雅美なるを貴び、挽物には木理通りて美なるを佳。(モクザイ参照)

ツナ 索綱類 (Cordages and Ropes) 品 麻質善長にして褐色を帯び弾力強く麻質一様なるを良品、撚り方緊固にして山に不同なきを良品、特に船舶用としては此条件必要なり、船舶川嶺山用等のロープ類は必ず厳格なる強力試験を経たるものならざるべからず、英國

品、香港品等は信用すべき良品、本邦品中東京製綱會社製品は外國優良品に遜色なし、然し劣等なる手撚綱を信用すべき會社製品の古包に入れて瞞着せる不正品多し注意すべし。(アサ参照)

ツノマタ 角又 品 葉大きくして長く肉厚きを優良、新鮮なるは劣等にして採取後年月を経るほど良質、若きものは青味を帯び砂着きたるもの多く、二ヶ年位を経過すれば鼈甲色となり粘力を生じ鹽分を吹き出して白くなり品質佳良となる、仙臺産は葉大きくして長く肉厚く最優等品、南部産は肉稍々薄く粗大にして次品、北海道は銀杏草と稱し品位南部産に伯中し、伊豆及び房州邊産は概して草葉多

く下等品、煮て叢なく通るは可。

ツバキ 椿 品 白色堅重なるを良材、赤椿よりも白椿優良。(モクザイ参照)

ツバキアブラ 椿油 品 無味無臭、粘り力少なく、淡黄色にして透明なるは純良品、二番絞油は一番絞りよりも褐色著しく又冷壓法によりて絞られたるものは焙焼して製したるものよりも色淡く臭氣輕し、蜂蜜の如き香氣あり掌上に滴らして擦ればさらさらとして直に皮膚に吸収せらるゝものは良品、粘り氣あるは不可、油の上層を檢め若し石油の如き色澤あれば多くは礦物油又は之れを混じたる不正品、時に香料の爲めに石油色を有するものが故に紙捻に油を浸して垂直に保ちて點火

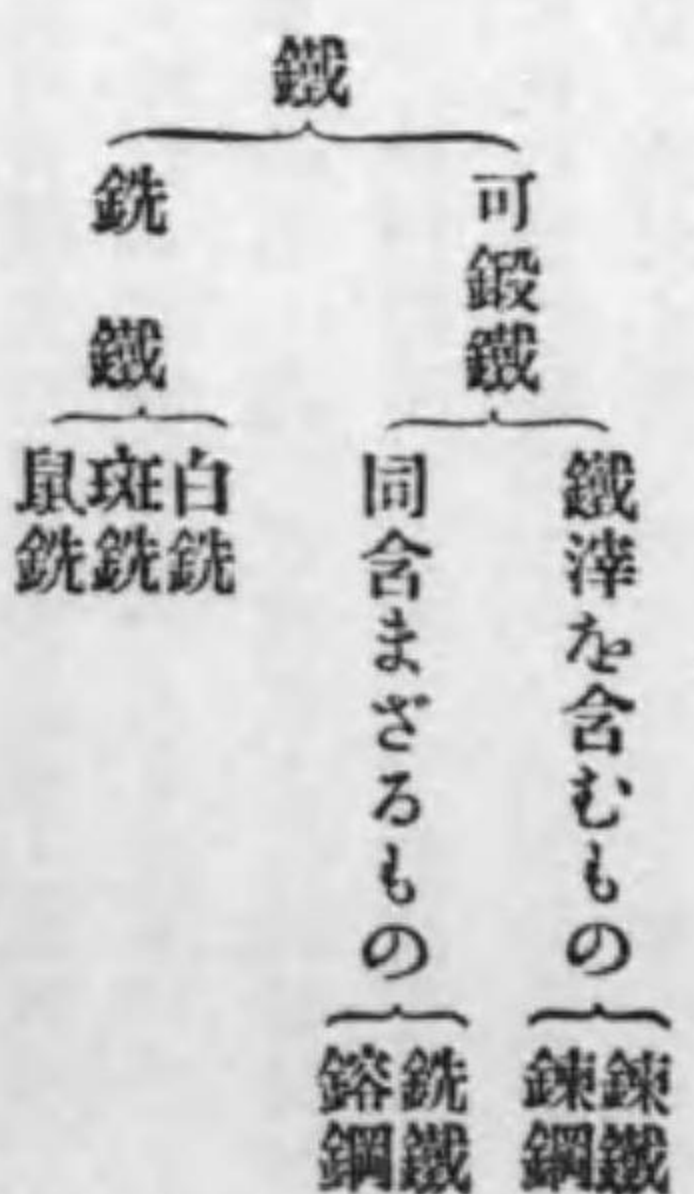
し煤烟が石油の如き臭氣なければ可、嚴寒に際し凝固すれば純正品、容易に凝固せざるは蓖麻子油、胡麻油又は礦物油を混じたる不良品、ムキ實絞はカラミ絞よりも淡色にして、粘り力も少なく、市價も少しく高し。

ツリザラ 釣竿 品 正圓にして輕量節低く、屈曲なく、腰即ち手元強く、梢殺なきを良品、布袋竹製は淡竹製の二倍の力あり其三年子は最良品、肉薄くして皮張善く、手元の節は延び頭の方に行く程段々に込み、頭にて一寸間五節なるは佳、矢竹製は土佐産最良、八王子産も亦可なるも上總地方産は劣等、其二年子は最も強し、内竹製は矢竹製に似たるも節間長く、節隆起して劣れり、鬼怒川産は可なる

も房州産は下等、淡竹製は大阪にて歓迎すれども布袋竹よりも力弱し、黒竹及胡麻竹製は頭に力なく手元には可、

テ

テチガイ シタンを見よ。
テツ 鐵 (Iron) 種



硝酸に浸して變化なければ鍛鐵又は銑鐵、黒き斑點を生ずるは鋼鐵、小口を檢め纖維重なりて層を爲し恰も雲母の如く黒斑點散在する

は鍛鐵、纖維緻密毫も層を爲さず恰も竹の切口に似て黒斑點なきは鋼鐵。(コーテツ、タンテツ、センテツ参照)

テレメンユ (テレペンユ) テレメン油 (Terpen fine Oil) 品 無色透明なるを良品、多少黄綠色を帯ぶるは甚しき下等に非ず、愉快なる芳香あるを佳、紙上に一滴落して乾燥せしめ揮發速かなるを良質、比重大なるほど佳、米國品は優良にして○・八六六を良品、○・八六四以下を劣等品とせり、我國産は○・八五四乃至○・八五六、他の國産は平均○・八五〇乃至○・八六〇位、一定量を秤り時計皿に入れて湯煎し全く揮發せしめたる後殘留物を生ずれば其丈け不純物なり、米國にては○・二瓦を超過

すれば劣等品とせり、フラスコ内に密閉して能く振盪し生じたる氣泡が迅速に消失するを良品。

デンキユ 電球 (Electric Lamps) 種 品 形整正にして曇なきは可、能率高く、壽命長く、燭光強きを優良、然し普通能率の高き球は壽命短かし、品 檢定には夫々特種の裝置を要す、一例を示せば、普通炭素線電球檢査、▲内面の曇りたるか又は炭素纖維が著しく細くなれるは古き球、▲炭素纖維は種々なる形に捲きたるものあるも能率は同様、▲眞空ならざるべからず、半呎スパーク、インダクシヨンコイルの一端をパイプに附け他端を纖維に附けて試験しパイプと纖維間にスパーク

クを發せず且つ暗室に於て黄色の光線を發するが又は光を少しも發せざるを可、▲表示電壓(球に明記せり)の上下一ヴォルトの差に對し燭光變化等しく、ニヴォルトの差に於て壽命に影響なきは良品、▲能率は一燭光に對し

種類	能率	壽命	百燭の費用	時	特長	缺點
普通炭素線球	三・一ワット乃至三・五	八〇〇時間	六錢三厘位		價格低廉	能率低く餘り強く熱すると燭光及能率を下落せしむること、及び電壓變化によりて光力變化劇し、 價落高く且つ永く使用すれば破れ難くなりて僅かの衝動にても切斷す。
タンタラム球	一・六乃至二・〇	八〇〇以上	四錢五厘位		白色に近くして光力光質共に良好、壽命の八〇〇時間にて二〇〇%位減損し、燭光切斷する迄には一且切斷するも尙數時間使用し得べし。	高價、脆弱
タンクス	一・一七乃至一・二五	良品は二、〇〇〇 普通品は一、〇〇〇	二錢二厘五毛位		壽命長く光力白く能率高し	

三・五ワット以下を可、▲二〇〇時間點燈後燭光の減損五%以下、八〇時間後二〇%以下なるを優良、燭光力比較は同一表示電壓球を以てセキユ光力鑑定の理を應用すべし、各種電球比較

カスラム球	オスミウム球	金屬化炭素纖維球	ネルンスト球	水銀蒸氣燈
一・一二位	普通品・六良品・一〇乃至一・五	二・四乃至二・八	二・一乃至二・四	
一、〇〇〇	二、〇〇〇		二八位	一・五〇〇位
二錢二厘五毛位			三錢位	石英管五厘硝子管四厘
能率高く壽命長し	光力良好、能率高く壽命長し	普通炭素線球に比して能率高し	眞空に置の要なく、光力光質共に佳良、且つ高壓に適す	壽命長く光質淡白色に赤味を缺く、工價役所等に最可費用至つて少し
高價なると、溶解度低し	通常五〇ボルト以下の低電壓にのみ用ひらるゝ制限あること、及び纖維が變形し易き爲め垂直の位置に取付けざるべからざること	他の金屬線球より劣る	能率低く、壽命短かく電壓の變化大なる所に適せず	

衛生及び經濟上より言ふときはタンクステンス球最良、タンタラム球之れに亞ぎ、普通炭素球は劣等。

デンキユーセン 電球線 テンセンを見よ。

テングサ 天草 種 長さ四乃至八寸、繊細なる多くの枝を有し紫、紫紅又は黄緑等の色彩あるは普通天草、日向、志摩産にして普通天草よりも枝條更に繊細且つ恰も鬚の如きは

ヒゲモクサ、各地に産し普通天草に比し、質柔軟なるは絹モクサ、紀伊、日向、志摩等の産、長さ三、四寸、質甚だ硬く、暗緑又は暗紫色、葉端左右に分離せるはオニモクサ、各地に産し扁平廣潤硬剛なるはヒラモクサ、ヒラモクサに似て最も短かく、粘力弱きはイソハナ、品 紫紅色は佳、暗色は劣等、晒品は黄色を佳、細織なる毛を有し、枝條長くして數多きほど優良、扁平短小なるは平葉と稱し下等品、柔軟なるは良質、硬きものは軟かきものと混用せざるべからず、又軟かきに過ぐるものは晒製の際歩減り甚しき缺點あり、硬きに過ぐれば糊質少なし、乾燥完全なるべし黒色又は綠色を呈するは不充分にして蒸され

たる不良品、手にて揉み忽ち粉末となるは却て不可、枝條揃ひて雜物を混ぜざるは海中に入りて採取せる良品、雜物多きものは器具にて採集せる次品、土砂雜草等を混するものは海岸に打ち上げられたるを集めたる劣等品、土用前盛夏の頃採取せるものは色澤良好、枝條多く且つ力あり、土用後は秋草と稱し劣る、之れより後れば枝條の力減じ歩留り少なく劣等となる、大阪市場にては稻取洲崎産を最良とし之れを標準とす、白濱産之れに亞ぎ、紀伊東牟婁産は平草の優良品、之れに亞ぐは日向土佐産、南部青森産は稍々劣り、大分宮崎産は青森産より優るも砂石多し、日本海方面の産は短小なるも良質晒上り佳良、北海道産

は南部産よりも劣り、房州産は良質なるも砂石多き爲め南部産と伯中、朝鮮産も亦同じ、伊豆産は佳良にして房州産の晒らしたるものと同格、特に神津島産は房州産の三倍價格を有す。

デンセン 電線 (Electric Wires) 種 手にて

少しく引けば硬く跳ね返るものは硬銅線、色澤稍々暗色を帯べるは硬銅線、銅赤色なるは軟銅線、品 用途仕様書に應じて異なるも線の性質純良、經に不同なく、引疵擦疵途中に繼目等なく、扯斷力強く、捻回数即ち捻り切るゝまでの數多きほど可、(一)裸電線、遞信省電氣工事規定によれば、特別高壓架空電線には切斷面積一平方寸に付六〇〇〇貫目以

上の扯斷力を有する直径一分六厘の圓形の銅線若は之と同等以上の強さを有すること(四八條)、架空電車線には一平方寸に付き七五〇〇貫の扯斷力を有する直径二分四厘の圓形の硬銅線若は之と同等以上の強さを有する電線を使用するを要す、但し危険の虞なき場合には遞信大臣の認可を得て此の制限に依らざることを得(一一〇條)とあり、▲電車線は普通試験の外捻回数を検査せず、線を直角に届け再び直線に戻して少くも四回以上行ひて裂罅を生ぜざるを良質、又同徑の線に六回巻き着け再び戻して裂罅を生ぜざるを可、▲(例)B. S. # 〇〇〇、大阪市役所電車線仕様書太さ一六七・八〇五センチメートル、直径四〇

九・六ミリメートル、電導率九八%以上、扯斷力六、二〇〇ポンド、伸長率一、〇〇〇分の四五以下、一〇〇〇呎の重量、五〇八・五二ポンド、一條の長さ三〇〇〇尺、直徑容恕率千分の一吋以下。

(二)絶縁線、遞信省電氣工事規定によれば

第十九條 電線は使用電流の爲攝氏二十度以上の温度を増すことなく且絶縁物を損せざるものなることを要す

第二十條 絶縁電線は左の四種とす

一 第一種絶縁電線 電線を木綿其の他之と同等以上の物質を以て編組し絶縁性耐水質の塗料を施したるものにして其の被覆物の厚さ二厘五毛以上のもの

又は之と同等以上の効力を有するものとす

二 第二種絶縁電線 電線を木綿其の他之と同等以上の物質を以て編組し絶縁性耐水質の塗料を施し其の被覆物の厚さ五厘以上のもの又は之と同等以上の効力を有するものとす

三 第三種絶縁電線 電線を厚さ三厘五毛以上の護謨又は之に相當する善良なる絶縁物を以て被覆し更に厚さ二厘五毛以上の木綿又は之と同等以上の物質を以て編組し且絶縁性耐水質の塗料を施したるものにして其の絶縁抵抗は二十四時間浸水の後更に鹽水に浸し一分

間充電の後百「ヴォルト」以上の電壓を以て試験し攝氏十五度の温度に於て一里四十萬「オーム」以上のもの又は之と同等以上の効力を有するものとす
四 第四種絶縁電線 電線を厚さ三厘五毛以上の護謨又は之に相當する善良なる絶縁物を以て被覆し更に二厘五毛以上の木綿又は之と同等以上の良質を以て編組し且絶縁性耐水質の塗料を施したるものにして其絶縁抵抗は二十四時間浸水の後更に鹽水に浸し一分間以上充電の後百「ヴォルト」以上の電壓を以て試験し攝氏十五度の温度に於て一里百「メガオーム」以上のもの又は之と同

等以上の効力を有するものとす

第二十一條 電球線は左の三種とす

一 第一種電球線 電線を護謨又は之に相當する善良の絶縁物を以て被覆し且外物に觸るゝも容易に損傷の虞なき外装を施したるものにして凡二十四時間以上水に浸し一分間充電の後百「ヴォルト」以上の電壓を以て兩線間を試験し攝氏十五度の温度に於て一里十五「メガオーム」以上の絶縁抵抗を有するものとす

二 第二種電球線 第一種電球線の上部分を更に強靱なる絶縁性編組被覆物を以て保護したるものとす

三 第三種電球線 第二種電球線の外部に耐水質塗料を施したるもの若は之と同等以上のものとす

編組は毫も濕氣を吸收せざる蠟又はコムパウ
ンドを浸潤せしめ普通華氏零度より一三〇度
位迄の溫度に耐ふるものならざるべからず、
水を吸収し又暫くして乾燥するものは腐れ早
き不良品、編組の試験は耐高溫度は蒸、耐冷溫
度は起寒劑を用ひ、濕氣吸收試験は精密に秤
量し水中に浸すこと二四時間の後再び其重量
を秤りて検むべし、被覆護膜の性質を検査す
ること必要なり、編組を注意して剥取し次に
之れを自己の周圍に捲き付けて二四時以内に
龜裂を生ぜざるを良質とす、又線を小棒に張

力を加へて捲き付け水中に浸し電流を通じて
電流計に感ぜざるものは可撓性大なるもの、
(總じて被覆の良否を検するには此法による)
上製絶縁物の試験は二吋より六吋に伸長し一
分間に二吋四分の一に回復し、次に九吋に伸
長して損傷せず、毎一平方吋に約八〇〇磅の
張力を加ふるまで切斷せざるを良質とす、鍍
錫したるものは一定の強さの鹽酸及硫酸ソー
ユームの溶液中に交番に一定の點まで一定の
時間浸し溶解する有様を注視して判定す、又
一定の太さに一旦捲きくソーユーム溶液中に
浸し検するも可なり、鋼線は普通試験の
外一定の太さの棒に捲き付け豫め準備せるセ
ラチン、水、硫酸及び青酸鐵加里の溶液を以て

被覆すれば鐵の露出せる部分はセラチンの青
色を呈すべし、大略は屈折して顯微鏡又は蟲
眼鏡によりて良否を判定し得、亞鉛鍍鐵線は
丹礬溶液に浸し銅を附着して鐵の露出せる部
分を示すは不良品、被鉛線及び鉛被紙ケーブ
ルの試験は鉛被の厚さ、及び被鉛が適當なる
金屬より成るや否やを化學的に試験すべし。

デンチ 電池 (Electric Batteries) 品 構造單

簡取扱便利、起電力高く、内部抵抗小、成極作
用少なく、均一なる電流を持續し、使用時間
外の消耗なく、且つ價格低廉なるを最良、然
し之れは理想なり實際用途に應じ適當なるを
撰ぶべし、起電力平均して、バイクルメート
一・九乃至二・一ボルト、アンセン一・九、グロ

ープ一・九、レクランシエー一・四七、ダニエル
一・〇七、カルロード、ダニエルより稍々低く
ラ、ンド一・〇、スシー〇・四七、得失、(イ)ダニ
エル電池は起電力一定せる故弱き一定の電流
を連續して使用するものは最良、内部抵抗は
可なり大なる故強電流は得難し、(ロ)カルロー
ドはダニエルよりも起電力低きも起電力一定
なる度は更に可、(ハ)レクランシエーは使用時
間外の消耗極めて少なき故時々一時的に使用
するものに可、(ニ)ラ、ンドは内部抵抗小なる
故割合に強き電流を得、(ホ)バイクルメートは
内部抵抗小にして小時間強き電流を要するも
のに可、(ヘ)アンセン及びグロープは共に内部抵
抗も少なく少時間電流を得るに可なるも、強

硫酸を用ふる故取扱危険と有害なる瓦斯を發するは缺點、電信用としてはダニエル、カルロード、レ克蘭シエー等、電鈴電話用にはレ克蘭シエー、鍍金用にはダニエル、スシ、グロップ、ブンセン、マイクロメートル等、電燈用にはグロップ、ブンセン、マイクロメートル等、醫術用にはスシ、レ克蘭シエー等、電氣測定用としてはダニエル、レ克蘭シエー、マイクロメートル等可、乾電池は取扱便宜を主とするが故に家庭用或は破損の虞ある箇所には可なるも經濟上不利なるものなり。

デンチユー 電柱 (Pole, Electric) 品皮を剥ぎたる丸太の眞直にして成るべく太さ一様、節少なく、腐、病、割裂等の傷なき可、太

さ及び長さは柱の支持する電線の數、種類其他土地の状態によりて異なるも、普通電信、電話用は三丈五尺乃至五丈、太さ末口五寸乃至六寸五分、電燈電力等は二丈乃至六丈、末口五寸乃至七寸五分位、檜は最良、杉之れに亞ぐ。

デンブン 澱粉 (Starch) 種 華氏六五度にて糊化する馬鈴薯製、七五度なるは玉蜀黍製、八〇度なるは米、大麥、ライ麥、小麥製、八五度なるは燕麥製、紫紅色なるは蕨粉、品純白細粒にして水中に廣く放散するを良質。

ト

ト 籐 (Rattan) 種 (イ竹籐(鬼籐)、光澤に富み肉軟かく、細裂し易く、脂肪少なく、暹羅馬來諸島産、(ロ水籐、光澤乏しく肉堅く、裂割するに注意を要し、粘り氣あり、呂宗物と稱し比律賓諸島産、(ハ)沖籐、光澤なく枯籐、梨籐、竹又は水籐中に混在する劣等品、品 淡褐色にして光澤強く、肉軟かく、粘り氣少なく裂け易きを優良、竹籐は最良品にして汚染すること少なく、水籐は汚れ易く大に劣るも保存力は却て強く、沖籐、梨籐は共に劣等。

ト 銅 (Copper) 品 固有の赤血色を有し

光輝強きは優良、成分中に硫黄及び安質母尼を含有するものは脆弱にして砒素を含有するものは電導を妨ぐる不良品、打延ばして龜裂を生ぜず展延大なるほど良質、敲きて音響が清堅なるは良質、電氣を通じ抵抗力少なきほど可、倫敦及紐育市場にては品位を次の如く撰別す、

- 一、精選銅 Best Selected.
 - 一、密煉銅 Tough Pitch.
 - 一、G.M.B Good Merchantile Brand.
 - 一、レーキ銅 Lake Copper.
 - 一、電氣銅 Electrolytic Copper.
- ト** 石 (Whet-stone) 品 石理緻密なるほど優良、但し用途により精粗を異にす、卵

黄色なるを最上とし淺黄色は稍々劣れり、表面を日光に透かしてキラ／＼する細粒分子あるは不可、水に浸して吸水するほど劣等。

トカ ツガに同じ。

トーガラシ 蕃椒 (Cayennepepper) 種 普通 數個房となりたるは八ツ房、鷹の爪形を爲せるは鷹の爪、頭丸く達磨乃至ハート形を爲せるは達磨種、品 色澤良否は輸出の最重要件、黒赤色を最良、紅色之れに亞ぎ、黄紅色を三等品、形状は各種其特色を充分發揮したるを可、鷹の爪は尻の結び方悪しきは種子の漏るることある故思む、八ツ房は多くはソース原料用なるが故に光澤形状等は餘り重きを置かずといふ、形状色澤一様、香氣辛烈にして彈

力あり且つ滑かなるは優良、袋に入れて振りカラ／＼する位乾燥せるを可、鷹の爪は最上八ツ房は三分の二位の價格、鷹の爪にても三河産は品質劣り三鷹と稱して次品、又達磨は往々鷹の爪と誤ることあり注意すべし、價格に非常なる相違あり。

ドカン 土管 (Sewer Pipe) 品 素質堅緻焼き上り充分にして簇なく光澤あるは良質、黒味を帯ぶるは可、淡色にして土色を呈するは焼不定なるか又は原料土質の劣悪なるもの、焼き方に三種あり、(一)外觀燻黒にして破片を見れば内部まで黒味の滲み通りたるは眞焼と稱し耐久力最も強し、(二)外觀黒く且つ割合に光澤あり黒味は單に外のみにして内部には少し

も通らざるは満庵を塗りて焼きたるものなり耐久力前者より稍々劣るも外觀佳なるを以て需要多く市價は常に同格なり、然し嚴格なる官廳にては之れを排斥するものあり、(三)淡きコールタールを刷毛にて塗りたるが如きは唐土塗にして劣等、木片の如きものにて敲き音響が澄みて堅きは無疵なれども響きて濁れるは疵物、但し少しく疵あるも小口より三寸以上中央に寄りて敲くときは音響は爽かなるものなれば往々誤らるゝことあり必ず小口又は小口に接近して敲くべし、形状正しく厚きを上とす 又厚さは小口も中央も同様なるを要す中央薄きものは申薄物と呼び最も忌む、直立せしめて上より覗き中央が膨脹せるが如き

感あるは可なるも凹みたる心地するは不可、又手にて小口を挟みて検むるも可、重量は一般用には別に定めなければども鐵道用には次の規定あり (一本の重量)

特別物	五寸、七、五	一尺、一、二	一、五	二尺
普通物	五、〇	七、五	一、四	〇、二
	五、〇	七、五	一、四	〇、二

土管の一端を洩らざるやうに包みて水を充たし長時間放置したる後水が外部に滲み出さざるは耐水力強き良品、又破片を秤量したる後一晝夜水に浸して取出し再び秤量し重量を増さざるは可、土管は下水に用ひらるゝこと多きが故に酸に耐ふる力強きを可とす、之れは破片を秤量して暫時鹽酸中に煮沸したる後取

り出して再び秤り重量に變化なきを良質、電線布設用土管は形状真直にして内面が平滑ならざるべからず。

トージキ 陶磁器 (Porcelains, Earthen Wares)

品 常用品は堅牢を主眼とし、美術品は精巧緻密、繪畫の意匠等の高雅なるを優等品、一般にいへば形整正、組合せものに不同なく、蓋と身の接合完全にして疵なきを良品、厚手よりも薄手物を多くは優等品、着色に不同なく、肉筆を上物、石版、銅版繪物を下等とし、輸出物は多くは純白を貴ぶ、敲きて金屬音を發するは堅牢なるもの、米國にては水と共に一〇分乃至一五分間煮沸したる上更に氷點に近き冷水中に入れて龜裂、破壊等なきを良

品とし、大杯類は一分間華氏一九二度乃至一九四度の湯中に入れ更に四二度乃至四四度の冷水中に移して試験し龜裂或は破損せざるを合格品とする規定あり、電氣用建築用品等は夫々特種の器械的検査を要す。

トケ 時計 (Watche and Clocks) 品 (一) 懐中

時計類、白金製は最上等品、金製にては最上は一八金側、以下は一四、一二、一〇金等、一八及一四金側には必ず刻印あるも他には之れなし、刻印が 18K、14K と單にあるは瑞西製、文字の外に極めて小さき王冠を刻せるは英國製、數字の外に製造會社名を刻し、或は 18K. U. S. Assay. 又は 14K. U. S. Assay. とあるは米國製、眞金側に非る金張又は金着せ

側と撰別するには金張り品は右の如き文字を刻せずして、製造會社の名稱及何年間保證する旨の文字或は各種獨特の符號を刻し、金着せ側は製造番號のみを記入せるを以て容易に判別し得、金張りは永く變色せざるも金着せは二、三ヶ月にして變色す、金張製は米國品最良且つ信用すべきも瑞西製は不正品多し、銀側は概して一〇〇〇分の八〇〇乃至九二五の純銀を含有し、瑞西製は二、三會社を除く外一、〇〇〇分の八〇〇の純銀を含み側の裏面に 800 と刻印あり、英國製は多くは九〇〇銀にして裏面に小なる獅子印と Sterling Silver なる文字あり、米國製も同じく單に Sterling Silver 又は Coin Silver とあり、ニツケル側

は眞正品には Nickel なる文字必ずあり、鍍金品には此文字なし、Silveroid とあるは合金側、鋼或はエボナイト側は共に中以下の品、器械は米國製優良にして Lever Movement 最良、Cylinder 及び Chronometer Movement は共に舊式、(二)掛時計類、棒は脂氣少く硬きを可、朴製就中柱目物最良、裏板は朴桂等可、被栓等は軟かき爲め鈴音悪し。

トマツ 品 白色輕軟なるを良材、微黄あり木理粗直にして堅硬ならず脂氣多く肌平滑なる故他の松と容易に鑑別し得。(モクザイ参照)

トチノキ 七葉樹、椴、枋 品 精緻にして玉

李多きを貴ぶ、漆器木地の最良品。(モクザイ参照)。

トネリコ 櫟、秦皮 品 白色緻密輕軟なるを良材、ロンテニスラケット用材として可、青森秋田産良質。(モクザイ参照)

トーマスリンピ トーマス燐肥 (Thomas Phosp. borate Powder) 品 粒の細粗は品位に大關係あり、細粒なるを良質、粒形〇・一五ミリメートル位を並品、水分極めて少なきを可、〇・一五%以上は不良品、水に溶解し不溶解物を残すは不可、手にて擦り痛みを感じるものは劣等品、燐磺粉を混するは不可、トーマス燐は比重三・三四、燐磺粉は二・七以下なれば之れによりて鑑別し得、燐磺含有量は分析法に

よりて知るべし。

ドライヤー 乾燥劑 (Driers) 品 黄丹、鉛砂黄、光明丹、皓礬等あり、硝子板に塗りて乾燥の速かなるを可とするもハイントの色彩を害するものあれば注意すべし。

トラカントゴム 品 白色雪片状を最優良品、表面に種々なる斑紋あるは普通品、扁平の板又は带状を爲すはモリアトラカントゴムにして優良、不定形の長圓形又は振れたる塊状なるは波斯又はシリアトラカントゴムにして劣等品。

ナ

ナギ 品 皮付のまゝ雅致あるを貴ぶ。(モクザイ参照)

ナタネアブラ 菜種油 (Rapeseed Oil) 品 一般に黄褐色或は少しく綠色を帯ぶるを良品とす、關東品及び西國品は黄褐色まで灼る故褐色勝ち、大阪邊にては色の着かざる程度までに灼るを以て淡色優良なり、臭氣少なきほど良質、夾雜物少なきを可、▲比重計を用ひて測り比重〇・九一五以上なれば、綿實油又は麻實油を混和せるもの、▲粘り氣濃きは良品、薄きは混物あるもの、▲比重一・三なる強硝酸

と同量の菜種油とを混合して能く振盪し若し黄褐色を呈すれば綿實油を含有するもの、伊勢四日市を本場とす。

ナタネアブラカス 菜種油粕 (Rapeseed Oil Cake) 種 白形なるは邦産、白形に精製又は再製なる文字を冠せるは支那朝鮮印度地方より輸入せる物を再び壓搾して油分を去りたるもの。大中小種々なる圓形或は平面盤状を爲し(藁を着けたるものあり着けざるものあり)たるは支那揚子江沿岸各地より輸入するものにして中にも漢口物は 大判一個約一二〇斤内外、蘇州物は小判九〇斤内外、漢口物は藁付、藁無共に袋入りなるも蘇州物は藁無のみ袋入、香氣なき粗粉末にして褐色乃至黒褐色

なるは印度産、品 燃燒して灰が純白色なれば純良品、赤乃至黄色なれば偽和物、粕の断面を肉眼又は蟲眼鏡にて檢め他の雜物を混するは下等品、粉状のものには不正品多き故農家は嫌忌する傾きあり、嚙むか又は粉末となして揉めば土砂を混する不正品は容易に鑑識し得、ログワードエキスのアルコール溶液の少量を水に溶きて粕に注ぎ紫赤色を呈せば木灰を混する不良品にして特に支那印度地方産に多し、支那朝鮮印度産は壓搾不充分にして油分夾雜物等を多量に含有するが故に特に雜植物粕とし肥料取締法施行規則第一三條以外なるを以て保證票を要せざるも左の府縣に於ては保證票の添付を命ぜり。

大阪府、神奈川縣、島根縣、山口縣、茨城縣、福島縣、

ナタネノミ 菜種實 (Rape seed) 品 次の條

件に適ふもの最も油分に富む、▲濃色なるもの、▲大粒なるもの、▲形整正なるもの、▲豊富なるもの、▲一升の重量は選擇せざるものは輕重中位のもの、箕撰等を経たるものは輕きもの、芥子種よりもオクナの方垂れ口多く、前者は二〇%後者は二六%位、産地肥料氣候收穫時期の早晚等により著しき差あるも古來よりの傳説によれて、一般に西國産、江州産、伊勢産等は最良、薩摩産は下等品、辻丸工學士の研究せられたる處によれば

産地 産出年度 水分% 油量%

北海洋種	三六年	六・五二	四一・九一
江州高島郡	同	六・七五	四二・五一
同 蒲生郡	同	五・九五	四〇・六四
伊勢四日市	同	六・三三	四〇・一二
同 三重郡	同	六・〇三	四四・三〇
越 前	同	五・八九	四四・〇二
北海洋種	三七年	六・六二	四〇・四一
同 和 種	同	六・九八	三八・六五
攝津	同	六・二三	三八・六四
河内	同	六・四四	四〇・五六
播磨	同	六・三一	三九・九一
豊後	同	七・二〇	三六・五〇
筑前赤種	同	六・五五	三八・九八
同 黒種	同	六・三六	三八・九六

壹 岐 同	六・九六	四〇・一二
平 戸 同	五・八三	三八・七九
薩 摩 同	七・八〇	四〇・〇〇
ナナコ 斜子、七々子織 品 目方によりて定め一疋三七〇匁乃至三八〇匁を普通品、(オカリモノ、キヌオカリモノ参照)		
ナマリ 鉛 (Lead) 品 帶青灰白色にして光輝あるは可、光輝なきは濕りたる大氣中において酸化物の薄層を蒙りたるもの、展延性大にして薄片となすも容易に破れざるは良品、比重は一・四。		
ナラ 檜 品 淡黄色乃至褐黄色なるは健全なるも褐赤色乃至暗褐色なるは腐敗せるもの、建築材料には髓線太く光澤強きを可、指物用		

には腐朽せるを蜂ナラと呼び珍重す、白味を帯びたるは質硬く靱はく塗上り光澤に富み木理明瞭、赤味を有するはミツナラにして軟く塗り榮なく狂ひ多し、斑を有するを貴ぶ、材質軟きものは斑長く現らばる、又年輪細かきものも斑可なるも收縮大なる缺點あり。

ナラ 繩類 (Ropes) 品 ツナに同じ。

ニカハ 膠 (Gum) 品 透明なるは概して良質、質硬く且つ強靱、破面が稜角不規則形を爲すは良品、破壊し易く、碎面平滑なるは下等品、惡臭あるは劣等品、乾燥したる天候に軟かきは不可、捲き縮みたるは良質、水に浸たして數時間放置し、水に溶解せずして唯膨脹するのみなるは良質、熱して引延ばし細き線状となるは粘力强きもの、舐めて鹽味又は酸味あるは接合用として不可、本邦産も高價なる外國産も價格ほど差異なし、明治四十一年三月末東京高等工業學校に於て發表せられたる處に

Answer

よれば本邦品の方却て優良なりと、キツスリシグ氏の研究によれば單に粘力にのみ付き言へば廉價なる骨製膠も高價なる皮製膠も成績に相異なし、唯香氣良好なると酸性を有せざるとの要件ある場合には優良品を可とするのみなりと。

ニシシガス 鮮粕 品 イワシシメガスと略ぼ

同じ。(ギョヒ参照)

ニツケル 白銅 (Nickel) 品 丸形なるは普

通品、品位約九八度、粒状品は上等にして品位約九九度以上、五錢白銅貨は百分中七五分の銅を二五分のニツケルより成る。

ニシシ 人参 (Ginseng) 品 形状は品位判定第一要件、形大きく、能く具備し人體に似

たるは佳良、兩脚を並べて眞直なるを貴び脚の曲りたるは最も不可、細小なるもの、肉折れ又は毛の如きは共に最劣等品、朝鮮産一三乃至一四本にて重量一斤なるを最上、二四乃至二五本にて一斤なるを下等品、本邦産にては三〇本前後にて一斤なるを上として下等品は三〇〇乃至三〇〇本位あり、香氣高く、赤色透明にして恰も最上等の鱈節の赤身の如く鼈甲様赤味に似たるを良品、黄色、不透明なるか又は根肉中に暗黒色の病的斑點あるは不可、斑點あるものは餘り急に生育せしめんが爲めに肥料を過度に施したるか或は排水不完全なる地に栽培したるもの、乾燥充分ならざれば梅雨の候に腐敗し虫害に罹るべし、神

戸港に於ける出雲産等級表

名稱	一斤中の根數	名稱	一斤中の根數
旭記	二五本	花記 <small>(前、劣リたる品)</small>	三五本
字記	三〇同	春記同	五〇同
宙記	四〇同	月記同	七〇同
天記	五〇同	夏記同	八〇同
鳳記	六五同	中夏記同	一〇〇乃至
仁記	八五同	秋記 <small>(コロ)</small>	一〇〇同
義記	一一〇同	雪記同	一四〇同
禮記	一四〇同	冬記同	一八〇同
智記	一八〇同	巧記 <small>(腐リ)</small>	七五同
信記	二三〇同	商記同	一四〇乃至
順記	三六〇同	玉記 <small>(コロ)</small>	二八〇同

此外細小にして數ふべからざるものを。

虎記(之れは一九〇本位)、次虎記、大髭、小髭とに區別す。

横濱港には、此格付記號なく信濃産一〇〇本一斤のものを標準とし一〇〇本一斤に満たざるものを保印、其以上を無數と呼ぶ、朝鮮産最良、米國品之れに亞ぎ、本邦内地品は下等内地品にては出雲産最良、信濃、岩代産之れに亞ぐ。



ヌキイトサイク 拔絲細工物 (DRAWN WORKS)

品 撚絲細きほど優等品、縫込淺く絲足整正なるを貴ぶ、耐久力強く、意匠結構優美なるは上等品。



ノミグチ 呑口類 種 直径五乃至七分なるは

焼耐瓶及び九升詰醬油樽用、直径八分乃至一寸なるは清酒四斗樽用、直径一寸二分乃至一寸五分なるは醬油三尺、四尺、五尺桶用、品類は桐製最良ウツヤ、サソラ製次品、エゴ製は劣等、桐製は真好なるも價高く、ウツヤ製は汚れ目着かず清酒用に最可、エゴ製は汚れ易き故醬油用、捻りはサソラ製最良、杉製は使用するに従つて磨損し木屑を酒に混ざる缺點あり。

ノリ 海苔 アサクサノリを見よ。



パイプ 管類 (Pipes) 品 小口を押し擴げて割裂せざるは良否。

ハクウンボク 品 木肌の緻密なるを良材。(モクザイ参照)

ハガネ コーテツに同じ。

ハク 箔類 (Leafs) 品 (一)金箔 王水を加へて全然溶解せざるは不純物あるものにして、白色の沈澱を生ずれば銀を含む、鹽酸硝酸を注加し溶解するは不可、(二)銀箔 稀硝酸に全然溶解せざるは不可、銅の量八分の一を超過せざれば白色、之れを超過すれば赤味を帶ぶ

(三)錫箔 銀白色にして比重七・三、之れを焼き灰が白色なれば優良品、黒色なれば下等品、支那産紹興物は錫六〇%と燐光四〇%、寧波物は錫八〇%と燐光二〇%、日本品は鉛六〇%錫四〇%位、歐米品は殆んど純錫。

ハケ 刷毛類 (Brushes) 品 (一)背板、紫檀、黒檀、花欄、黄楊製は最良品、アラ、ギ、モミヂ、柳、椿、ムク等に着色し又はワニス、ラツク塗を爲したるは上等品、モチソヨゴ、カツラ、フクラ等は二等品、ブナ、イス、栗、櫻、ミヅメ、タマガス製は多くは下等品、背板は用途によりて適不適あり、靴刷毛等普通品は桂製可、同一の毛を用ふるときは櫻は毛堅く觸るも桂は柔かに感ずる相異あり、馬具刷毛

は櫻製を最良、鑛目拂用にはタマガス製最可紡績用及び紺屋洗用にはブナ製可、(二)毛及び纖維、叢なく密植したるを可、白粉用には鹿毛又は羊毛、障子刷毛には熊毛を最良とす、障子刷毛に鹿の冬毛又は馬の胴毛を用ひたるは並物、洗濯刷毛には豚毛に猪毛を交へたるを最良、馬毛に棕櫚を混じたるを並物、(三)穴、縦穴あるは上物、縦穴なく打貫きて單に毛を植ゆべき穴を穿ち膠付となして毛を挿み込みたるは並物、(四)締め方、弛みなく整然たるを可、上物及び並物は銅線、安物は馬の毛繩及び亞鉛線を用ふ。

ハシ 箸類 品 ミヅキ製は杉よりも折れ難く良品、杉も亦特有の木香ありて上等品、サワ

ガルミ、ドロ等は軟く折れ易く劣等、ツガ、モミ共に臭氣と脂氣あり良品に非ず。

ハゼノキ 品 材色の艶美なるを好む。(モクザイ参照)

バタ 牛酪 (Butter) 品 溶解して瀘過し得たる液を華氏一五五度まで熱したる後フヒーノル數滴を加へて能く混和し更らに湯煎を爲して透明となるまで熱し數日間放置するとき透明なる液體となれば純粹品、試験管に入れ華氏三〇〇乃至三二〇度に熱し小泡を生ずれば純粹品、飛沫を起して試験管外に泡を流出するものは混和物を有するもの。

ハチミツ 蜂蜜 (Honey) 品 透明にして微に黄味を帶び舍利別様の液状を爲すは純良品の

新鮮なるもの、帯黄色の塊にして爽快なる香氣と甘味とを有するは純良品の時日を経たるもの、暗色を帯ふるは劣等品、酸味酸臭あるは不良品、同量の水に溶解し五倍量の純酒精を注ぎデキストリン及石膏等の不溶解物を析出し舍利別状の沈澱を生ずるは人工葡萄糖又は飴等にて擬造したる不正品、水五と蜂蜜一の溶液を作り硝酸銀又は硝酸拔留液を注ぎ沈澱を生ずるものは糖蜜にて擬造せる不正品。

ハツカアブラ 薄荷油 (Mint Oil) 品 無色乃至淡黄色、比重〇・九〇乃至〇・九一なるを良品、乾燥したる草より採取せしものは少しく褐色あり、生草のまま採取せしものは褐色稍々深し、含有脂肪多く、油分少なきを良品

普通油脂肪分離器なるものありて食塩と水塊とを混合し起寒せしめて脂肪を測定するを法とするも簡易なる方法は試験管又は鐵葉罐中に一定量の油を入れ氷一貫目に食鹽一〇〇分の割合にて混合したるもの、中に挿入し置くときは容易に脂肪は結晶すべし、餘り急劇に行ふときは油分に小結晶が喰入りて分離困難となるべし、脂肪は六二%を普通上等品とす、苦味多く香氣に乏しきは劣等品、本邦品は多く之れに屬すれども價廉なると脂肪多量なるを以て歡迎せらる、海外輸入品にして芳香を失ひ、味辛烈にして快軟ならざるものあり、之等は松香油を加へたる不正品、英國産特に白種は最良品なるも黒種は劣れり、獨逸品は

精良なるものも多少黄色又は綠色ありて英國品よりも劣れり、佛國品は獨逸品と大同小異。

ハツキン 白金 (Platinum) 品 灰白色にして強き鑽輝あり砒化水素及砒化アンモニアに由て變化せざるを良品、白金化合物なるときは炭火上に熱灼して殘留する灰色海綿狀の白金量を秤りて含有量を知るべし、白金製坩堝は鹽酸と共に煮沸し溶解物を少しも生ぜず、且つ坩堝の重量を減ぜざるを佳、又硝酸にて同様の試験を行ふべし。

パテ (Putty) 品 白色なるは亞麻仁油製にして佳良、茶褐色なるは劣等品、魚油臭を有するものは最劣等品、緻密にして柔軟なるは良質、外國品よりも邦産優れり、外國品には硫

化バリウムを混在するもの多し。

ハナムシロ 花莖 (Tatting for floor) 品 蘭の長短、良否(イ参照)織方の精粗(縁を認め粗なるは劣等)、模様趣好、染色の趣否(首尾の色に不同あるは劣等)、光澤の有無等によりて判定す、明治三八年五月一三日勅令一六一號に検査規則、同年同月一五日に農商務省令一六號にて施行細則を發布せり之による時は輸出品は必ず其規定に従はざるべからず、(内地用には此規定なし) (一)花莖検査規則(摘要)

第一條 花莖検査所に於て検査を受けたる花莖にあらざれば輸出することを得ず、但し主務大臣の指定したる種類の花莖は此限りに非ず、第二條以下略す、

(二)花蓮検査規則施行細則(摘要)

第一條 左の花蓮は花蓮検査所の検査を受くるを要せず、
 一八平方尺(英尺)なるときは二平方碼)以下の花蓮、
 第八條 花蓮検査所に於ては左の項目に付き花蓮を検査す、
 (一)原料、(二)染色、(三)模様、(四)地合、(五)耳組、(六)長幅、(七)量目、
 廣幅花蓮、短尺花蓮及七島蘭製各種花蓮に付きては前項量目の検査を行はず、
 第九條 花蓮を検査したるときは其種類に應じ第一〇條乃至一六條の規定に従ひ合格、不合格に區別し合格品は更に之れを一等二等に分つ、
 第十條 花蓮検査の標準左の如し、(摘要)

(一)原料	一等品、原料菌齊一なるもの、枯葉なきもの、
	二等品、甚しく不齊ならざるもの、枯葉の少しく現はるもの、
(二)染色	一等品、着色鮮明なるもの、濃淡齊一なるもの、飛形のものにして着色區畫の判明せるもの、
	二等品、一等品より劣るも甚しき劣點なきもの、
(三)模様	一等品、錯誤なきもの、形状配正なるもの、
	二等品、缺點の甚しからざるもの、
不合格品、原料菌甚しく不齊なるもの、枯葉其他の不齊の原料を用ひたるもの、	
不合格品、全然缺點を有するもの、又は甚しきもの、	
不合格品、缺點の著しきもの、	

(四)地合	一等品、厚薄齊一なるもの、織込み厚きもの、經絲の弛張なきもの、	種 類	岡山縣	廣島縣	石川縣	福岡縣
	二等品、稍々劣るもの、		同	同	同	同
(五)耳組	一等品、敷延ばして彎曲状をなさないもの、耳組完全にて原料菌直線状を爲すもの、組菌の數齊一なるもの、	綾地織	五、九〇〇以上六、〇〇〇以上	同	同	同
	二等品、稍不完全なるもの、	平地織	五、二〇〇同五、三〇〇同	同	同	同
(六)長幅	一等品、普通花蓮に於て幅員二尺九寸五分以上三尺五分未満廣狭なきもの、	機械織	五、〇〇〇同五、一〇〇同	同	同	同
	二等品、少しく廣狭あるもの、	目道一八〇以上	同	同	同	同
(七)重量	一等品、普通花蓮に於て幅員二尺九寸五分以上三尺五分未満廣狭なきもの、	〇徑以上	同	同	同	同
	二等品、二尺五分以上廣狭甚しきは三尺五分以上廣狭甚しきもの、	同	同	同	同	同
左記の目方を有するものは一及		特徑八分目立	同	同	同	同
		平地飛込	五、五〇〇同	五、六〇〇同	五、三〇〇同	同
		機械	同	同	同	同

び二等品にして左記量目未滿のものは不合格品なり、

目迫	同	五、〇〇〇	同	五、二〇〇	同	四、八〇〇	同
諸目二四〇徑	同	五、一〇〇	同	五、二〇〇	同	五、〇〇〇	同
一二〇徑	同						
引通	同						
袋	織	五、八〇〇	同	六、〇〇〇	同		
絞花	同						
及錦	同						
莞	同						
三〇徑	同						
以上	同						
同上	以下	四、七〇〇	同				

第十一條 花筵製造地外に生産したる原料を以て製造したる花筵は其原料生産地に於て製造したる花筵の量目を其原料を混交して製造したる花筵は主たる原料の生

産地に於て製造したる花筵の量目を斟酌して花筵検査所適宜其量目を定む、
第十二條 長さ十二丈一尺（英尺なるときは四〇碼）に過不足ある花筵の量目を検査する場合に於ては現品の長さを以て其量目を除して得たる商に十二丈一尺（英尺なるときは四〇碼）を乗じたるものを其の花筵の量目とす、
第十三條 第十條に列記したる種別外の普通花筵の量目、同條に列記したる製造地外に於て製造したる花筵の量目又は第十條に依り難き花筵の量目は其の最も類似したる花筵に準じて花筵検査所之れを定む、

第十四條 普通花筵は其の長十二丈一尺未満のものとし雖も検査の標準に依り合格に相當するときは之れを合格品とし不足の尺度を表明すべし但し不足に屬する三尺（英尺なるときは一碼）未満の端數は之れを三尺に繰上ぐべし、
第十五條 腐敗、汚損、色違、又は品質の異なりたるものを糺合せたるもの其他瑕疵ある花筵は其の品質及瑕疵の程度を斟酌して検査の成績を決定すべし、
第十六條 普通花筵は先づ長幅及量目を検査し其の標準により合格に相當せざるときは其の他の項目を検査せずして之を不合格とす、

第十八條 花筵検査所は第九條の區別に従ひ花筵に左の記號を烙印すべし、

合格一等品



合格二等品



合格品（廣幅花筵及短尺花筵に用ゐるもの）



不合格品

正

誤



尺不足

一碼不足



二碼不足



以下略す、

以下準之

ハナカエデ 品 材色紋理の美なるものを上と

す。(モクザイ参照)

ハネ 羽類 ウモーを見よ。

ハブタエ 羽二重 (Habutae) 品 輸出向は幅

一尺三寸、一尺五寸、一尺八寸、二尺四寸、

三尺二寸等、長さ十二丈(五〇ヤード)、内地

向は幅一尺長さ三丈を一反として目方にて價

を定む、内地向は一疋三〇〇匁前後、紋羽二重

は二五〇乃至三〇〇匁を普通品とす、輸出品

に關しては農商務省令五號にて明治三八年一

月一三日發布せられたる取締規則あり、

第一條 輸出羽二重には増量の目的を以て

水分を附着せしむることを得ず、

第二條 輸出羽二重にはマグネシウム鹽

類、糖分其他農商務大臣の指定する材料

を施用することを得ず、

第三條 前二條に違反したる物品は之れを

賣買受授又は輸出することを得ず、(第四

條以下略す)。(オリモノ、キメオリモノ

参照)

ハマグリコ 蛤粉 品 細粉白色にして夾雜物

少なきほど良質、蛤貝を原料とせるは優良品

蠣又は淺利貝を以て製せるは色彩品質共に劣

る。

ハミガキ 齒磨粉 (Tooth Powder) 品 粉末

極めて細かく、重量軽く、芳香あり、成分は

酸性物なきを良品。

ハモノ 刃物 (Cutlery) 品 頗る困難にして

價格のみにて良否を推斷すること能はざる場

合多し安價なるものにては随分切れ味の良好なるものあり、普通和鋼製を優良とすれども洋鋼製との鑑別も單に外觀何んとなく美しく悽味ありといふに過ぎず、使用して判断するの外なし。

パラフィン パラフィン蠟 (Paraffine) 品 溶

融點高きほど高價、(溶融點は度と呼び華氏に

て表はす)、細き硝子管の一端を塞きたるもの

に入れて之れに寒暖計を結び付けビーカー中

に釣るし下より徐々に熱し溶解する温度を見

るべし、又比重を測るも可、溶融して再び冷

却したる小片を無水アルコール中に入れ其小

片が液面に浮び出づる迄水を注加して其酒精

の比重を比重計にて測り其パラフィンの比重

とす、比重高きほど溶融點高し、試験管中に熱して全部揮發し去れば純良品、硫酸を注加して能く攪拌して重湯煎上に數時間熱すると褐色又は黒色に變ずるものは不正品、蠟燭原料用としては一二二度乃至一三二度物を適度とし、一二二度物は使用し得べき季節最も長く大概十月乃至翌年三、四月頃迄使用に堪へ、一二七度物之れに亞ぎ一三二度物は僅かに盛夏の候に適するのみ、燐寸製造用には一〇度物可。

パルプ 製紙原料木質纖維 (Pulp) 品 (一) 原料、白色にして脂氣少なく、柔軟にして纖維長く細きを良質、直徑三寸以下の丸太材にして盛に梢枝の繁茂せるか又は細長なる幹を有

するものを貴ぶ、老木よりも若木優れり、老木はリグニン等の非纖維素比較的多き爲め劣質、脂氣多く、死節あるは不可、傷み樹特に立枯れしたるもの或は虫害に罹れるものは仕上りに大なる缺損を來すのみならず紙料に黒點を與へ漂白に苦しむべし、褐色を有するは腐朽したるものにして製品に灰色を與ふる虞あり、組織の振れたるは不可、一般に針葉樹は眞直なる細幹あり無枝無節なるを以て賞用せられ、潤葉樹は纖維短かく太きも柔軟にて白き故可なり用ひらる、(二) 製品(パルプ) 種白色を帶ぶるは生の儘産木機にて産したる白色パルプ、褐色を有するは原料を一度煮熟又は蒸煮して産きたる褐色パルプ、黄色乃至灰

黄色を帶び色澤鮮明なるは晒らしたるもの、(然し之れは近時商品として存在せず)、濃硫酸を滴下して黒變し、又フクシン亞硫酸にて薔薇色を呈するは蕈纖維、品 雪白にして艶あるは良質、然し白色と褐色パルプとの優劣は俄かに斷じ難きものあり、白色なるは均一なるも纖維短かく缺點あり、褐色なるは色合良しからざるも纖維長き特長ありて、之れを原料としたる板紙又は褐色包紙は白色パルプ製よりも強く、擬革板紙等に製したるものは強靱にして優良なりといふ、手觸り柔軟にして厚薄の叢なきを佳、一部分を摘み破りて

検め纖維長く、緻密綿の如きは良質。
ハンダ 白鐵 (Soldier) 品 鉛の分量少なき程

溶融點低く仕事容易なるも弱し、用途によりて混合を異にす、鉛の接合用には鉛の量多く眞鍮、銅、錫、亞鉛等の接合用には錫の量大なるを要す。

ハンノキ 榛木 品 精緻にして奇雅に富むを貴ぶ。(モクザイ参照)

ハンブ 帆布 (Ducks and Canvas) 木綿製 (Ducks) も麻製 (Canvas) も共に用絲良質、柔軟にして彈力あり、織目細かく肉厚きを良質、木綿製は亞米利加製最良なり、近時尾ノ道附近にて出するものも亦之れに匹敵す、麻製は邦産亦優良。



ヒカク 皮革 カハを見よ。

ヒキモノ 挽物 品 無節無病、木理通直、質硬く靱性あるを可、櫻製最良、(大嶋サクラは光澤なし)、樗も良品にして軟かきもの及び年輪細かきは共に不可、建築用には樗を最良とし、センは折る、虞あり、エゴは最も賞用せらる、ミネバリは木口に強く横に脆し、アズマ、ウシコロシ、モチシバ等は龜裂を生ずべく劣等品、算盤の玉は堅重にして本黒檀製を最良、縞黒紫檀、梅、黄楊及びボツクウッド製共に上等品、並の上物は白色なるを貴ぶ、珠

數等は唐木製上等、梅、桑、櫻等は並物、シキミ製は劣等、宗旨によりても異なり、法華宗は紫檀、梅、眞言宗は樗、白檀、浄土眞宗は梅を賞用す。

ピツチ 瀝青 (Pitch) 品 華氏一七〇度にて軟化することなく、氷點に於ても脆弱とならざるは礦物性瀝青にして良品、暗黒色を帯び華氏一五度に於て軟化し、氷點に至れば脆弱となるはコールタル瀝青にして劣質、之れを用ゐたるアスファルトは冬期に罅を生じ夏は溶解する虞あり。

ヒノキ 檜 品 丸太としては杉よりも劣れり柱用には節の優雅なるを貴ぶ、梢頭にて作りたる出節柱は價貴し、角板物は淡白にして微

紅を帯び鮮麗なること恰も薄絹を蔽ひたるが如きを可、サワラと誤らるゝ事あり、サワラは檜に似て白色微紅あるも輕軟木理稍粗、又ヒバは稍々白く淡黄色を帯ぶる相違あり、木曾及び飛驒は本場にして材に脂氣なく光澤材實共に優良、尾張材之れに亞ぎ紀伊高野山、土佐、武藏秩父材は尾張材に亞ぎ丹波材は劣等。(モクザイ参照)

ヒバ アスナロに同じ。

ヒフクセン 被覆線 デンメンを見よ。

ヒマシユ 蓖麻子油 (Castor Oil) 品 少しく黄色を帯びて粘着力強く臭氣少なく外觀美しきは優良品、暗黒色にして臭氣高きは不純物と水分とを除去せざる下等品にして減摩用。

ヒメコマツ 姫小松 品 木理直通緻密なるは良材、床柱用としては皮付のま、磨きて雅致光澤あるを貴ぶ、樹脂様の香氣あるが故に他の松と區別し得。(モクザイ参照)

ビヤクシン 品 緻密、香氣に富み角物の肌理美なるは良質。(モクザイ参照)

ビヤクタン 白檀 品 精緻、芳香あるを佳。(モクザイ参照)

ヒリヨー 肥料 (Manures, Fertilizers) 品 農家が價格の低廉にのみ腐心するが故に不正品頗る多し、購買者は常に信用ある販賣者より購入し且つ肥料取締法施行規則に依るべきものは保證票を檢めたる上更に鑑定法を行ふべし、(各種説明あり)、肥料取締法施行規則第

十三條 左記の肥料を製造輸入若しくは移入して販賣する營業者は肥料の主成分量を保證する爲め其製造輸入若しくは移入後遲滞なく保證票を肥料の各容器の内部及び外部に、容器を使用せざるものありては各個の外部に添付すべし、

- (一) 過磷酸石灰 重過磷酸石灰、トーマス燐肥、沈澱燐酸石灰、硝酸鹽類(智利硝石、硝酸石灰等)、アンモニヤ鹽類(硫酸アンモニヤ等)加里鹽類(カイニット、カルナリット等)其他化學的方法によりて製造したる肥料、
- (二) 骨粉、骨炭末、肉粉、骨灰、タンケーツ乾血、グアノ及び特に粉末にしたる肥料(魚肥又は大豆粕等の粉末となしたるもの)、

- (三) 菜種油粕、棉實油粕、荳油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、

(四) 二種以上の調合肥料(單に完全肥料の如きものみならず、成分に大差ある日本産種粕と印度産種粕とを混和したるもの、如きに該當す、樺實と椿實とを混合したる油粕は原料の混合にして肥料の混合に非ず)

此外地方によりて地方長官が必要と認めたるものは特に保證票を貼付せしめらるゝものあり。(各種油粕、魚粕、硫酸アンモニヤ、智利硝石、過磷酸石灰、乾血、骨粉、タンケーツ、グアノ、トーマス燐肥等参照)

ビール 麥酒 (Beer) 品 清淨透明にして爽

快なる味を充分感ぜしむる様炭酸瓦斯を含有するを良品、味は嗜好者によつて優劣判定を異にするも餘り苦味に過ぎたるは胃腸を害する恐あり、酒精の量三乃至五%を適當とす、エリステキストリンの少量なるほど優良品。
ビロード 天鵝絨 (Velvet) 品 用絲、手觸、織面によりて判定す。(オリモノ、キメオリモノ参照)
ピワ 琵琶 ガツキを見よ。
ピンロージュ 檳榔子 品 木理美にして光澤強きを可。



フイゴ 吹子、鞴 (Bellows) 種 長さ一尺五寸は鑄掛屋用、二尺は飾屋、小鍛冶屋用、二尺五寸は鍛冶屋用、三尺乃至四尺及び四尺五寸は大物鍛冶屋用、五尺は鑄物溶解用、六尺はタ、ラと呼び鑄物屋用、陸軍用は長さ八四ミリメートル、高さ五四〇ミリメートル、板の厚さ二二ミリメートル、蓋底二五ミリメートル、廻り納留、皮製は腹板幅四寸乃至一尺まで一寸宛延びにして七寸以下は飾屋用、品押棒を動かして空氣洩れず進退同一の氣流を生ずるを可、槍製はしなやかにして火に強く

羽には桐製可、風溜りの工合は最も必要なる検査要件。

フカヒレ 鱈 (Shark's Fin) 種 羽長からす、内白く、外灰味を帯びたる白鱈、ヤジ、ツマゲロ、ヒラカシラ、カセ、マブカ、メジロ等より製したるもの、外鼠灰色内稍々赤味あるはネヅミ鱈より製したるもの、羽長く外黒味あり内白きはアオ、ヨシキリ、ネコ等より製したるもの、貿易市場にては外皮を剥脱し膠分を除去して筋絲のみとなしたるを堆翔外皮を剥脱せざるを魚翅、魚翅の中にて黄色又は白色なるを白翅、黒色又は灰色なるを黒翅と呼ぶ、品・光澤あり透明にして白色又は帯黄白色なるを優良、鼠色之れに亞ぎ、青

及び黒色なるを劣等、乾燥完全鹽味少なきほど良質、光澤美ならざるは鹽味多し、筋絲多量整正なるを佳、之れ品位判定の最要件なり、肉骨を附着せるものは、重量を大ならしむるも腐敗し易く下等品、函詰品は多くは優等品、二重蓮包は下等品、房州産は截切の後鹽水に浸して乾燥するが故に鹽味強く光澤劣り下等、石川縣産は最優良。

フタノケ 豚毛 シューモーを見よ。

フデ 筆 品 (一)軸、皮張り堅く肌細かにして白く、艶ありて肉薄く、正圓にして孔大なるを良品、矢竹製(節に近く凹溝あり)は最良、篠竹製は正圓ならず汚點あり並物、(二)毛、先き、咽、咽下、腰、上毛等より成り最も注意す

べきは先き及び咽なり、毛の價

種	類	一匁の價
狸の飛毛	白	八〇錢位
同	一番	四〇同
同	二番	二五同
同	支那産	六同
鹿新毛		二〇同
羊毛	極上	二〇同
馬毛	白尾脇	三〇同
同	黒尾脇	一錢五厘
同	胴毛	六錢五厘乃至七錢五厘

ブトーシユ 葡萄酒 (Wine) 品 ヨツプに入れ之れに炭酸曹達の溶液を加へて黒色に變ずれば眞正品、變なきは色素にて染めたるもの、

赤葡萄酒に沃度を加へ脱色すれば天然品然らざるは人工品。

ブナ 山毛櫨 (Beeh) 品 緻密にして重く疵汚染少なきを良材、輸入品は材質良好狂ひ少なく、本邦産にては山陰材之れに類し、伊豫産は次品、北海道及び東北産は軽くして質上等ならず、静岡縣産は軟くして狂ひ多し、概して沃地産は軽く乾燥して收縮甚しく、瘠地産は汚染、疵多きも質緻密堅重。

ブノリ 布海苔 品 ツノマタと略ぼ同様、南部産は極めて細かく、仙臺産は朝鮮物に比して稍粗大、五島産は南部産と大同小異にして之等は何れも良質。
ブラッシ ハケを見よ。

ブランケット 毛布類 (Blankets) 品 目付き

によりて判定す、但し用毛及綿交りなきや否やに従ひて斟酌す、(オリモノ、ケオリモノ参照)、色合は普通白を優等品とす、ラグダ毛布と稱するは最良品にして茶褐色を帯び。

ブランデー (Brandy) ウキスキーの要領に同じ。

フランネル (Flannel) 品 地合密にして薄

く、手觸り軟かくして弾力あるは佳良、(ケオリモノ、オリモノ、ヨモモ参照)。英國品は平織にして地合極めて薄く總て良質、獨逸品は縞物多く地合厚く少しく劣り、伊太利品は平織にして輸入品中の劣等品、内地製は伊太利品に比して遜色なし、柄は一般に白綾を最

上、綾織を次品、色綾を下等とす。

ブリキイタ 鐵葉板 (Tin Plate) 種 色少し

鈍り錫の膚を現はし質柔軟にして粘り強くしなやかに曲りて折るゝことなきはチャーコイルチン、蒼色にして質脆く折れ易きはコーラスチン、品 チャーコイルチンは上等、コーラスチンは並物、I.C.なる符號を有するは上等品、I.C.W.とあるは次品。



ペイント、ペンキ (Paints) 種 硫化アンモニ

ヤの一滴を注ぎ黒色に變すれば白鉛ペイント變化なきは亞鉛華ペイント、一般に白鉛製は亞鉛華製よりも容積小なり但し亞鉛華に硫酸バリウムを混じたるものなるときは白鉛に硫酸カルシウムを混じたるものに比して容積小武力板又は硝子板に塗りにて恰も漆の如き美麗なる光澤を有しワニフと同じ臭氣あればエナメルにして然らざれば調製ペイント (Ready made paints) 品 色彩鮮明着色力強きを可塗るに餘り手数を要せずして粘着力充分なる

を佳、特に金屬に能く、附着するを要す、被覆力(ノビ)の大なるを優良品、即ち可成稀薄にして完全に塗布せらるゝを可、大見淺川兩氏の實驗によれば

- 上等白亞ペイント 松材 第一回目 一二五坪五合
- 同 第二回目 一四八坪五合
- 鉛丹ペイシト 鐵板 第一回目 一一五坪
- 最上白鉛ペイント 同 第一回目 一二七坪
- 同 第二回目 一四七坪

黄色ペイント

木材

第一回目 一六二坪

緑色ペイント

同

褐色ペイント

同

一四八坪

黒色ペイント

同

二三二坪

同 一七〇坪

但し供試品は最良品を撰び木材は試験前に木
カタメを爲せりと、乾燥速かなるを良質、武
力板又は硝子板に塗りにて乾燥せしむべし、指
頭にて軽く壓して指に附着せざるを初期、指
にて壓すも破壊に耐ふべき弾力ある皮膜を作
るを終期とす、此間十二時間以内なるを良品

とし如何に遅きも二四時間以内ならざるべ
からず、又彼の菜種油又は礦油を以て練りたる
ものをボイル油にて溶きたるペイント又は多
量の不乾燥油を偽和したる不真ボイルド油に
て練りたる着色ペイントの如き不良品は塗れ
ば直に皮膜を作るも指にて壓する時は容易に
破れて中より肉を出し長時間を経るも容易に
破壊に耐ふる弾力ある皮膜を作りて乾燥し終
らざるが故に不良品は容易に鑑識し得べし、
塗布面は凹凸なく平滑に乾燥し且つ乾燥後光
澤ありて永く保有するを良質、塗りたる面が
容易に剝落せず且つ諸種の障害に耐ふるを良
品とす、其主なる障害に對する力の検査法は
(イ)酸に對する力、大なる時計皿に少量のペイ

ントを入れ其傍に強硫酸を數滴落下し置き大
なる硝子蓋を蔽ひ、ペイントに變化なければ
可、更に硫酸に代ふるに稀硫酸の數滴と硫化
鐵又は硫化鉛或はリソボンを加へたるものか
或は強アンモニヤ水の數滴と互代して試むべ
し、(ロ)光線に對する力、硝子板又は武力板に
塗布して日光に曝らし更に暗所に一週間乃至
一ヶ月放置して時々取り出して検査し、一週
間位にて少しく褪色の兆あるは全く劣等品、
六ヶ月間を経て少しく褪色の兆なきは先づ光
線に對する力完全なりと見て可、(ハ)水に對す
る力、之れは着色ペイントに施すべき試験
にして、水と共に能く振盪して瀝し又更に水
を加へて能く振盪し始めの如く瀝し、水が全

く清澄になるまで幾回も繰返して行ふとき若
し水に着色せざれば可、(ニ)熱に對する力、煙
突、汽罐等常に高熱を受くべき所に用ふるも
のは塗布したるものを其使用すべき所が受く
べき熱と略ぼ同熱迄熱し變化なければ可、(ホ)
アルカリに對する力、試験管二本を取り、
一方にはペイントと水、一方にはペイントと
苛性曹達の溶液を入れ數分間放置して検め苛
性曹達と混じたるものが水を入れたるもの、
如く變化なければ良質、色漆喰又はセメント
面に塗るものには特に此力強き必要あり、成
分より判定すれば、(イ)炭酸鉛を基礎とするも
のは鉛製ペイント (White Lead Paint) にし
て良品、着色ペイントとなすもカドミアムエ

トロー、アルトラマイン其他硫黄を含有するものを除くの外何色と雖も唯顔料を加ふれば可なり、▲酸化亜鉛を基礎とするものは亞鉛華ペイント (Zinc white paint) と呼び前者よりも効力劣り、塗布費用多くして塗り難く且つ酸に對する力弱き缺點あるも一方には亞鉛製の如く有害ならず、又如何なる顔料とも調合し得べく、且つ亞鉛を塗り得る特長あり、▲亞鉛製ペイントとペンゾリン油四との割合にて混じ能く振盪したる上濾過して油分を除去し之れを壘に入れて約四倍の酢を加へて再び能く振盪し若し白鉛が全く溶解して殘留せざれば良品、酢にて再三繰り返せば一層判明すべし、▲グリップスペイント (Griff's pa

int) は無害にして効力大なる良品なるも高價にして鉛及び銅を含む顔料を加ふべからざる缺點あり、(ロ) 煤薬として亞麻仁油を使用したるは良品、荏油又は落花生油を用ひたるは時日を経れば暗黒となるべく乾燥も遅し、生亞麻仁油を加へたるものは鮮明なる色彩を有するも耐久力はポイルド油を加へたるものに如かず、ポイルド油を加へたるものは少しく暗黒色を呈す、(ハ) テレメン油を加へたるものは乾燥速かにして伸びも好く稀薄にして塗り易く、亞麻仁油を加へたるものは後に黄色に變するもテレメン油を加ふれば、此變色を防ぐを得べし、然し光澤を減じペイントの質を弱くする缺點あり、(ニ) 着色ペイントにありては

粉状のものを混するは不可、顔料の良否は専門家の鑑定に俟たざるべからず。

ヘゴ 品 肌の奇雅なるを貴ぶ。(モクザイ參照)

ヘチマ 絲瓜 (Toofah) 品 白色なるは良品、鼠色なるは不可、半面白く半面多少黒味を帯びたるは乾燥を過りたる不良品、形狀長く太きを可、畸形なるは不可、品位は主として形狀の大小、長短によりて判定す、貿易上凡そ一尺六寸以上を飛切上等品、一尺四寸以上一尺六寸までを一等品、一尺二寸乃至一尺四寸を二等品、一尺乃至一尺二寸を三等品、一尺以下を四等品、四等以下は輸出不合格として内地向、編み目が細く厚く、手觸り柔軟なる

を良品、纖維の薄きものと太くして手觸り悪しきは共に輸出品として不合格、達磨種は最良品にして輸出は之に限る。

ベツコー 鼈甲 (Tortoise shells) 種 互に重

なりて背部を蓋ふ十三板は背甲 (Head) 背甲の周圍の縁甲十四枚は爪又は蹄 (Horn) 薄く、黄白色にして斑紋なきは腹部甲にして肚甲と稱す、斑紋は鼈甲狀なるも薄くして透明ならず且つ斑紋が黒色を帯びたるは和甲にして別種の海鼈より採りたるもの、支那にては眞正品を玳瑁、和甲を玲瑯と呼ぶ、品 肉厚く透映黄色にして濃褐色の美麗なる斑紋を有するを優良品とし斑紋の模様と色澤によりて品位を定む、爪、肚甲は共に背甲より劣れり、又

和甲は品位大に下る、仕上り光澤の美なるを貴ぶ、之れは材料を舐めて艶の良否によりて判定す。

ペンキ paint なり。

ヘンノー 片腦 ショーノーの精製したるもの。



ホーセキ 寶石 (Jubils) 種 ショーリー氏比重計又は比重壘を用ひて比重を知り、試金石にて硬度を測り、色澤形状によりて判定す、比重は熟練すれば掌上にて容易に判知すべく、硬度は銅貨(大凡三)窓硝子の片(大凡五)、小刀の刃(大凡六)、水晶の片(大凡七)、爪(大凡二)によりて略ぼ知るべし、但し此際必ず鋭き稜にて傷くべし、又粒状のものは一個々々の硬度よりも軟かきに欺かることあり注意すべし、(イ)金剛石、多くは無色透明等軸晶形硬度最も堅く一〇(コンゴローセキを見よ)、(ロ)鋼玉

(Corundum) 硬度九、玻璃狀樹脂様の光澤あり淡赤、緑、灰白等種々の六方晶形、比重四、其深紅透明なるはルビー (Ruby) と呼び金剛石に亞ぐ寶石、錫蘭島産最も名あり、(ハ)黄玉、斜方晶形硬度八、玻璃狀に絹様の光澤あり無色、黄、淡緑、淡褐等ありトパーズ (Topaz) と呼ぶ、(ニ)綠玉 (Beryl)、六方晶形、硬度七、五乃至八・比重二・七、玻璃様の光澤あり、(ホ)ヒスイ (翡翠)、硬度五・六比重三・三、綠青色を有し濃色にして斑の少なきを貴ぶ、(ヘ)水晶 (Quartz)、六方晶形硬度七、透明なるを上とし、他の礦物を含むは草入と呼び價貴し、(ト)瑪瑙 (Agate) 石英の一種深紅にして斑少なきは優良、(チ)玉髓、石英の一種、(リ)柘榴石、

色種々あり等軸晶形、硬度七餘、(マ)電氣石、(Townaline) 六寶晶形、黒青等種々あり、(ル)琥珀 (Amber) 蠟様の黄白褐等あり透明にして硬度二乃至二・五比重一、(コ)ハクを見よ、要するに外觀美にして晶形完全、形大なるほど價貴し。

ボックウッド 品 脂分多く堅緻なるを良材。

(モクザイ参照)

ホツ (Hops) 品 新鮮なるを佳、一年以上を経過したるものは使用すべからず、收穫後一年以内なるものは黄粉充滿し芳香馥郁たり、二年に亘るものは粉末黄金色となり微かに不快の臭氣あり、三年四年に亘るものは粉末黄褐色若しくは褐紅色となり、四年以上のもの

は香氣全くなし、硫黄の臭氣あるは古き品を
瞞着する爲めに硫黄を燃して亞硝酸瓦斯を通
じたる不正品。

ホーノキ 朴 品 青、鼠、白の三種あり、青
色を最上、鼠之れに亞ぎ白色は劣等、北海道
産は多くは鼠色にして質輕軟木理緻密狂ひ少
なく且つ大材多し、内地産は一般に硬く木理
粗なるも會津産は肌美にして狂ひ少く良材、
秩父材は最も狂ひ少なきも質ぼやけて美なら
ず、色は鼠なり。



マクラーギ 枕木 (Sleepers for Railway) 品

濕氣に耐ふる力強く且つ低廉にして多數に得
らるゝものを可、尺不足反張、割裂等あるは
不合格品、栗を最良としブナ、ナラ等之れに
亞ぐ。(モクザイ参照)

マス 鱒 (Salt Trout) 種 擇捉産は比較的大き
く樺太産之れに亞ぎカムチャツカ産及び尼古
來産最も小形、其比例は一石に付き擇捉産は
一二〇〇〇尾、樺太産一四〇〇〇尾、尼古來産
及カムチャツカ産は一六〇〇〇尾位、肉鮮紅
色なるは紅鱒 品 鑑定標準は鮭と略ぼ同じ。

マゼオリモノ 混織物 品 織物の耳に接する

部分を切り取り解ぐして混糸の種類品質番手
等を鑑定し(イトを見よ)て混交歩合を知りて
判定すべし、然し熟練すれば外觀と手觸りに
よりて容易に鑑定し得。(カリモノ、キヌオリ
モノ、アサカリモノ参照)

マツ 松 (Pine) 種 樹皮黒く材白色微赤な

るは黒松、外皮赤色材白色微黄淡紅を帯び木
理堅密にして弾力あるは赤松、微黄あり木理
粗直にして堅硬ならず、脂多肌平滑なるはト
ド松、邊材白く心材淡黄赤にして樹脂様の臭
氣あるは姫子松(五鬚松)、品 (アカマツ、ク
ロマツ、トマツ、ヒメコマツ参照)

マッチ 燐寸 (Matches) 一頭藥 擦りて發火が

容易なるを良品、濕氣を帶ぶるは不可、然し多
少濕りたる場合にも發火するを優良品とす、
唾を着けて擦るか又は蒸氣を通じたる箱の
中に入れて擦るも可、擦るとき薬の剝落する
は不可、火が軸木に容易に燃え移り且つ軸木
が燃焼して灰となるも薬品は分離して落ちざ
るを良品とす、即ち二重安全の方法を講じて
特別の薬品を塗りたるものならざるべからず
(二)軸木、能く燃焼して燃焼後容積の減縮と形
状の鈎曲すること少なきを良品、質軟かくし
て點火して火を上に向け直立に保ち其全部が
燃え盡すまで消えざるは良質、太きは細太に
過ぎず中庸なるを可、一般よりいへば太きを
貴ぶも輸出物は印度向のみ太物にして他は細

軸なり、靱はくして擦るも折れず、純白にして光澤あるを貴ぶ、此點が品位を定むる主要點、材料よりいへば松、ワタドロは劣等品、ミツドロは中等品、檜は優等品、輸出安全マツチ用にはヤマナラシ・ワタドロ、ミツドロ、ボス用にはシナノキ、間軸には檜を可、折れたるもの又は二本付のものを混すべからず、数の多きほど喜ばる、支那向は特に然り、(三)小箱、薬均等に充分塗られざるべからず、箱の材料は白色なるを上とし、輸向としては北海道赤松を最とし、却て檜よりも優良、(四)ハンノキ製は白色ならざる故内地向は可なるも輸出用には不可、貼付紙に皺を生ずる虞あり、(五)商標、地方人に嫌忌せらるゝものあり

注意すべし。

マニラアサ 馬尼刺麻 (Manila Hemp) 品

純白柔軟にして光澤に富み汚點赤斑のなきを良品、繊維強くして長く且つ細きほど良質、餘り細過ぐるは却て不可、長きは上等品にて二乃至三間、劣等品にて三尺位、マニラロープ用には下等品にても強力大なれば可なるも眞田用には純良品に限る。

マニラロープ ツナナツを見よ。

マホガニー (Mahogany) 品 材色木理華美

なるを貴ぶ。(モクザイ参照)

マメ 豆類 (Beans and Peas) 品 形状整正豊

富、子實堅く、外皮薄く、各種固有の色彩と光澤あり、乾燥完全にして、異種類の混濁物

雑物の存在なきを優良品。(アツキ、ダイズ等参照)

マメガキ 豆柿 クロガキに同じ。

マユ 繭 (Cocoons) 種 殻内に二兒を有する

は玉繭、一兒を有して損所汚點なきを普通繭、穴の開きたるを出殻繭、汚れ繭を屑繭と呼ぶ品 (一)肉眼鑑定、色合は種類によりて或は青色或は赤色を帯ぶるものあるが故に一概に言ひ難きも各其特有の色澤を有して鮮美なるを可とす、汚繭、着色繭或は色澤不良なるものを混するは品位劣る、形状も大小各種あり各特有の形状を完全に備へ不同なきを良しとす普通本邦にては長さ一寸幅五分位、一升の粒數二七乃至二八〇位を製絲上最も適當とせ

り、手觸快く兩端及び中央に於ける厚薄硬軟に不均一なきを良品、一升の粒數を檢め、其中十個を採り切開して中の蛹體を除き其重量を秤り之れを一升の繭の總重量に換算して其七掛けを以て繭一升の絲量と定む、春蠶一升到對し一〇匁以下を最劣等とし、夏秋蠶は九匁以下を最劣等とす、總じて七匁以下は劣等品、指にて壓擦して乾燥の如何を檢むべし、又乾繭殺蛹の如何は切斷して其形状及び色相によりて判定し得、繭の全部に濕氣を含み固有の臭氣なく、黴を外部又は蛹に附着せるは貯藏法を過りたる不良品、形状の大なるものは絲太く、小なるものは短くして細く細絲に適す、(二)器械鑑定、五個を採り煮繭の程度、

纒湯の温度等を一定し同一方法により緒絲を
索め、一粒毎に検査器によりて絲長を檢め其
平均長四〇〇回以下を最下等品、上の試験に
於ける絲を其重量にて除し四〇〇回の平均纖
度を算出し、春蠶は二・五乃至三・〇デニール
位、夏蠶は二・三乃至二・八デニールを佳良と
し之れより過不及あるを下等とす、繭五個を
採り檢尺器にて初め二〇〇回中に於ける節類
を檢め其平均數少なきほど可、檢尺器にて繰
絲し各個の平均切斷數を檢め之れを四百回に
換算して其數の少なきほど可。

マルハチ 品 幹肌の奇雅あるを貴ぶ。(モクザ
イ参照)
マワタ 眞綿 (Floss Silk) 品 光澤強く、固

他の酸化滿俺鐵、軟鋼製造用は磷酸、硅酸等
總て鋼の性質を損傷する物質を含むべからず
硝子用としては優良品を要す。

く汚物等なく、引き強く、輕きほど良品、着
色せるものよりも白きもの常に稍々良質。

マンガン 滿俺 (Manganese) 品 含有過酸化
滿俺の分量によりて定む、七〇%以上なるを
上等品、八五%以上を最優良品とし薬用とし
ては六〇%以上を可とす、極めて細末となし
たる者五瓦に蒸留水一五立方センチメートル
と純硫酸亞酸化鐵一九瓦を混和し更に鹽酸一
五立方センチメートルを加へ蒸發する水を補
ひつゝ約二〇分間煮沸して瀘過し新に製した
る赤色血滴鹽溶液を注加して藍色を呈するか
或は藍色の沈澱を生ずれば過酸化滿俺の含有
量六〇%以上なるもの、粉碎して黒鉛様灰黒
色となるは眞正品なるも褐色の粉末となるは



ミカゲイシ 御影石、花崗岩 (Granite) 種

品 桃紅色なるは最良、灰白色にして黒き斑
點少なきは上等材、即ち石英(固有の玻璃光
澤と介殼狀の斷口とあり、淡灰色なるを常と
す)を多量に含むものは耐久力も耐壓力も共
に強大、長石(不透明なる白色眞珠光を有し
或は白色の外縁白色なるもあり)を含むもの
も亦堅硬にして強壓力に耐へ、分解徐々なる
も、黒雲母を含む即ち黒き斑點多きものは錆
を生じ分解を起し遂に裂罅を來すべし、又白
色なるは堅硬、黒味勝ちたるは脆きも石灰の

量多きときは硬くして脆く工作し難く、長石多量なれば工作は容易なり、色彩一様なるを可とす、黒雲母が一所に集合したるが如きは不可、黒雲母の周圍に黄褐色の錆あるもの或は長石が黄綠色を帯びたるもの或は其他俗に所謂錆孔あるものは皆不可、桃紅色を有するを木場物と稱し、兵庫縣住吉村附近の産、稍々赤味勝ちて質粗なるは場違物、石理に叢なく均一なるを良質、粒子大にして粗状なるを粗又は大ミカゲ、或は大目、中粒なるを中ミカゲ又は中目、細粒なるを小ミカゲ或は小目と呼び粗大なるものは劣等にして耐火力弱きも耐壓力は却て大なる故敷石、橋梁、船渠、堤防、燈臺、築港、砲臺等粗大なる工事に適

し、又其肌美なるものは家屋内部の柱、階段石礎等には可、粒子細小なるは品位優良、各産地に付き略述すれば、(イ)兵庫縣、住吉村産は本御影と稱し、中粒、肉紅色の長石を多量に含くみ桃紅色を呈し石質優良、男鹿島産は稍々赤味強く粗質穴隙多く脆弱、(ロ)岡山縣、大島産は中粒なるも變色の憂あり、西片岡産は少しく紅色を帯び前者よりも優良にして變色せざるも黒ボタあり餘り上材に非ず、大安寺産は最も鮮明なる肉紅色を帯びて本ミカゲに似たるも粗質、大目島産は良質なるも黒ボタあり、野谷村産は鼠色を帯び外觀佳ならざるも質緻密堅硬、北木島産は良質、石肌美、工作亦容易にして常陸産に比すれば鼠色を帯

び黒雲母の量多し、(ハ)広島縣 向島産は大なる肉紅色の長石を含み中粒にして細工し易きも往々山疵と黒斑あり赤錆を生ずる虞あり、白島産は變色せざるも質硬く施工困難なり、河内村産は色彩石質共に劣等、倉橋島産は變色甚しく外部用には到底使用せられず、東能美島産は前者よりも緻密且變色の虞なし、(ニ)山口縣、黒髮島及大津島産は徳山石と稱し一種獨特の斑紋即ち稍々大なる長石が斑晶的に存在し他の花崗岩と容易に區別せらる、石質佳良變色せず、中の關秋徳村産は餘り佳良ならず、(ホ)香川縣、牟禮村産は小粒にして良質小豆島産は何れも肉紅色の長石を多量に含み雲母の量多く、申乃至細粒、石質優良、中に

て土庄村産は色彩殆んど本ミカゲ、石質は岡山大安寺産よりも佳良、鳴瀧及荒神産は良質大部福田産は稍々劣る、興島産は山疵黒ボタ白筋多く不佳、廣島産は小ミカゲ、直島産は中ミカゲ、(ヘ)愛媛縣、大島産は稍々粗き中ミカゲと濃灰色の小ミカゲとあり石質佳良、(ト)九州一圓、何れも石質劣等、風化甚しく、白筋黒ボタ多し、(チ)京都府、白川村産は緻密佳良、丹波八木村産は小ミカゲ、栗目半島産は廣島縣下倉島産に酷似して少しく硬く且つ同じく變化す、(リ)滋賀縣、三雲村産は餘り上質に非ず、小松村産は肉紅色の長石多く質頗る粗劣、(ヌ)三重縣、千種村産は粗なるも硬く古來より石白材として有名、島ヶ原産は少しく

淡紅色なるも質粗にして脆弱、(ル)愛知縣、幡豆村産は幡豆石と呼び有名なり、石質粗粒、石理不均一、色彩青黒なれば建築用には劣等土木用間地^ニは捨石として最も可、常盤村産は三州ミカゲ又は岡崎ミカゲと稱し質最細粒灰色乃至銀白色の美しき鱗片を現はし佳良材(ナ)長野縣、諏訪郡産は上質ならず、黒ホタ、白筋多し、有明村産は中粒の少しく粗なるもの、石質大同小異、(ワ)山梨縣、神金村産は甲州ミカゲと呼び稍々粗にして常陸産より劣る(カ)茨城縣、稻田澤附近産は中粒と稍粗なるとあり石質佳良、楸柄附近産は斑紋稍濃なると往々少量の黄鐵礦を含有する缺點あり、加波山附近産は中粒の稍々緻密なるものと小ミカ

ゲとあり概して良質、中にて大塚丁場産は錆を生ぜざるも時々黒ホタ白筋のものあり、難峯山附近は山口徳山石に似たるもの磨きて色彩美ならず、(ヨ)栃木縣、足尾澤入村附近産は常陸産に比して黒雲母多く石質柔かく稍々劣れり、(タ)福島縣、福島市附近産は石質不佳、焼けば美しき黒色となる故黒ミカゲの稱あり多くは墓石用、晝曾根村附近産は肉紅色なるも質劣り多くは土木用、其他概して良質ならず、(レ)宮城縣、石質普通品、(ソ)岩手縣、桃色綠色等の斑紋あり中粒にして裝飾材に可、(ツ)石川縣、愛發村産は肉紅色の長石を含み頗る美なり、各地産平均耐壓力比較、
 茨城産小ミカゲ 三二〇六

岡山大島産同	二五〇五	
廣島福田村産同	三八七一	
同 中山村産同	一七〇九	
同 庵治産中ミカゲ	二五〇五	
山口大津島産同	三五七四	
同 黒津島産同	三六一三	
兵庫本ミカゲ粗粒	九一一	
同 同小ミカゲ	二七〇九	
滋賀羽栗村産同	三四一八	
攝津下田原村産同	四二一四	
同 上田原村産同	二九六〇	
ミソ 味噌 (Miso) 品 東京衛生試験所の分析表		
白味噌	赤味噌	田舎味噌

水分	五、七	四八、四	五一、五〇
蛋白質	一一、三	一五、三	一〇、七
脂肪	四、六	五、四	六、四
無窒素有機物	一四、三	一一、三	一九、五
粗纖維	三、八	四、七	四、五
灰分	一〇、四	一四、〇	八、一〇
ミツナラ ナラを見よ。			
ミツメ 品 堅緻にして重きを可。(モクザイ參照)			
ミツロー 蜜蠟、黄蠟 (Bee's Wax or Yellow Wax) 品 純白なるは精製品、淡黄乃至黄色半透明なるは新鮮品、蜂蜜様の佳快なる臭氣あるは可、夾雜物頗る多きものなれば必ず比重及び溶解度を檢すべし、比重〇・九五乃至			

○九七、溶融度六三度乃至六四度、アンモニヤ水を加へて熱し溷濁を生ぜざれば良品、然らざるは牛脂を混有するもの、一瓦を採り苛性曹達液及水の同容よりなる液五〇立方センチメートルを加へて煮沸し泡沫を生ずれば木蠟を含有するものにして泡沫甚しきほど其量大、五瓦に硝酸(比重一・三二乃至一・三三)四乃至五倍量を加へて一分間煮沸したる後同容の冷水を加へて振盪しつゝアンモニヤ水を加へて蠟分を分離し黄色を呈すれば純良品、褐赤色なれば樹脂類を混在するもの(シユミツト氏法)、溶融せずして沈降物を生ずるものは無機物を含有するもの、五瓦に純強硫酸二五立方センチメートルを加へ攝氏一六〇度にて

三〇分間熱し黒色の膠状となれば純良品、パラフェンを混在せるものはパラフェンを浮遊するに至る。

ミネバリ 品 堅緻にして光澤あり、肌理滑かなるを良材。(モクザイ参照)

ミリン 味味(Mirin) 品 透明にして醇香高く酒精分多く甘味強きを良品、流山、龍野等の産有名なり。



ムギワラ 麥稈 (Wheat Straw) 種 細きは

大麥稈就中最も細長にして稍々硬きはオラク麥稈、細短なるはアオムギ麥稈、太きは裸麥稈、中にて長く、柔軟、彈力强く、光澤美なるはコピンカタギ稈、最も柔軟にして稍々短かきはシツケシラズ稈、麥の穂首より下第一節迄の間にて採りたるものは先節又は先稈、第一節と第二節との間にて採りたるは二節又は二節稈、第二節と第三節との間にて採りたるは三節稈、第二節と先節と續きたるは二節續きと稱す、太さにより次の如く撰別す、

一號(普通番外といふ)

五・五五ミリメートルの太さを有するもの

二號(同番一同)

五・〇〇同

三號(同番二同)

四・五五同

四號(同番三同)

四・一五同

五號(同大一同)

三・七〇同

六號(普通小一といふ)

三・三〇同

七號(同 二號同)

二・八〇同

八號(同 三號同)

二・四〇同

九號(同 四號同)

二・〇五同

十號(同 五號同)

一・七五同

品 純白にて光澤ある部分長さ程優等品、良き部分三寸以上なれば二回又は三回折り返し得るも三寸以下なれば一回の外折返し得ず、

形圓く、破碎屈曲、腰折等なく弾力強きは優良、節固まりて容易に折れざるは乾燥完全なる品。麥稈を一握り採りて根の方即ち白き方を上にして暗き方より明るき方に透かし視て斑点なく光澤鮮明にして形圓きを一等品、斑点なきも光澤割合に鮮明ならざるを二等品、其他を三等品、甚しきものを刳稈として除外す、染稈は染色鮮明にして稈の強きと光澤とを傷めざるを良品、コピンカタギ稈は最良、中にも早刈(俗に青刈)は最優等、遅刈は光澤少なく斑点多し、シツケシラズ稈は次品、アオムギ及びオラク稈は共に劣等、アオムギは五平の如き細物に用ひらるのみ、オラク稈は長き爲め他稈より三倍に使用せらるべきも

細く硬き故五平、七平等を編むに用ひらるのみ、要するに裸麥は上物、大麥稈は劣れり先節を最優等品、二節稈之れに亞ぎ二節續更に之れに亞ぎ三節稈は劣等。

ムギワラサナダ 麥稈眞田 (Straw braids) 種

稈を割らずして編みたるは丸物、割りたるは割り、稈の片側を割り二つ割りよりも幅を廣くにして編みたるは展割物、丸物と割物とを混用せるは混合又は混成物、幅一四ミリメートル以下は細物、以上は太物又は幅廣物、平打、角打、菱打、助等單純なる編方にて着色せざるは普通物、色彩を施し、編方複雑せるは變り物と稱す、品 原料ムギワラの品質によりて上下す、鮮麗にして光澤あり斑点

なきを優等品、編み方の巧拙は品位に大關係あり、幅の大小不同なく所謂メートル違ひなく、眞田の耳に出入なく、編み方丁寧にして繼手間違ひ等なく締め込み充分にして編目に隙なく且つ裂目等なきを優良、菱物は菱先能く尖り、横縮りよりも縦縮り充分にして、稈の繼き所に力を入れて能く締めたるを可、角物は縮りに不同なく角の大小高低一様にして耳の方より見通せば三角の形狀を爲したるを可、平打物は耳に出入なく横縮りに力を入れて縦縮りを爲さざるを可、組繼、挿替等少なきは佳、劔即ち縦み残りの稈を除去せざるは不可、除去せるも表にあるものは必ず指頭にて摘み取り、裏にあるは缺切りたるを可とし、

表面を缺切りたるは不可、一反の中に種々なる品質の麥稈を用ひたるは不可、棒掛の外には良品を捲き内部に劣等品を捲き込みたる所謂鉛入なる不正品あり注意すべし、假繼のま、棒掛を爲したるもの即ち絲又は他のものにて繼ぎたる所謂西洋繼ぎを爲したるま、棒掛を施したるもの或は切繼ありて束を解けば直に一反が二本の眞田となるもの等は不良品、肉質は薄く、軽く、柔軟にして屈曲自在なるを貴ぶ、輸出品は一反の長さ六〇ヤードを缺かざるを要し、且つ流行向の變りものありては特に流行に遅れざるを注意すべし、外國商館にては以上の諸點を斟酌して五乃至六等に、賣込問屋は三等位に撰別す。

ムク、ムクエノキ 品 床柱用にして皮付のまま、磨きて表面に網状の皺あり雅致に富むを貴ぶ。(モクザイ参照)

ムシロ 苴 (Straw-mat) 品 織目緻密外観美なるを良品、良品ほど仕上げ丁寧にして手を籠めたるが故に一見判別し得。

ムメ 梅 品 一般用には堅緻なるを可、床柱用には皮を除きて雅致あるを貴ぶ。(モクザイ参照)



メクラジマ 盲縞 品 外観毛羽立ちて見ゆるは良質、染色は一種の赤味を帯びたるは不可紅柄と煤烟とを加へ糊を多量に用ひ藍色を淡くしたるものなり、良品と不良品とは此赤味によりて先づ判定し得、縹絲又は經絲を四、五本抜き取りて點火し其燻先を白色の陶器又は銀烟管の如きものに當て、檢るに藍色鮮かに印せらるゝものは正藍染にして良品、印色不鮮明なるは劣等、絲に點火して末端迄全部燃え盡すは正藍染にして燃え進まず直に消ゆるは他の藥品染、絲を炭火上に置き鮮明なる青

藍色の燻を擧げて燃るは藍染なるも、燃えずして炭となるは藥品染、埼玉縣より出づるものは青縞と稱し良質、おほくは縹絲に特十二番を用ひ、三河または遠州邊より出づるものは普通の十二番を用ひたれば容易に判別し得べし。

メーコツ 明骨 品 透明白色乾燥完全なるを良品。

メーセン 銘仙 品 外觀手觸によりて判定し一疋の目方一五〇乃至一六〇外を通り品とす伊勢崎同業組合規定によれば一疋物長さ六丈以上、幅耳内九寸二分以上、一反物長さ三丈以上幅耳内九寸二分以上、(羽織地又は特別の注文は此限りに非ず)を條件とせるも實際は

一反二丈九尺五寸位を普通とせり、又伊勢崎銘仙の兩端に純白なる白絲一寸以上織り込み各自製造印を押捺したるは真正なる絹絲ものなるも耳に赤絲を織り込みたるは絹絲紡績絲の交織物なり直に撰別し得べし。(オリモノ、キヌオリモノ参照)

メツキモノ 鍍金品 品 稀薄なる硫化アンモニヤ溶液を一乃至二滴注き極めて少しく熱して黒色に變ずれば銀鍍せるもの、變化せざればニツケル鍍せるもの、溶解すれば錫鍍せるもの、真正なる鍍銀なりやを知らんには鍍銀品を稀薄なる鹽化銅の溶液に浸して直に黒色に變ぜば偽鍍銀品、變化なきは真正品、又重クロム酸加里と硝酸との等分溶液に浸し變

化なきは偽鍍銀品、赤色に變ずれば眞正品、ニツケル鍍金の表面を能く磨拭して燦然たらしめ、其上に氣息を吐きかけ濕氣が凝結して表面に留ること長きほど良品、電線用鍍錫線銅覆鋼線、亞鉛鍍線等の検査はアンセンを見るべし、鍍錫品を白紙に擦り付け黒くなるは鉛を含めるものにして食器としては不可、鍍肌に濃なく厚きほど優等品。(キン、デンセン参照)

メーホー 明鮑 アハビを見よ。

メリケンコ 米利堅粉、小麥粉 (Flour) 品

二枚の硝子板又は厚板の間に少量を挟みて同じ厚さになし色相純白又は黄白色にして光澤あり、叢及び斑點なきを優良品、色黒きもの

には味佳なるものあれども品位劣る、小麥固有の臭氣あるを佳、手觸り緻細にして塊りなく、恰も天鷲絨に接するが如き感あるを佳良又握りてサラ／＼とするは劣等品、又指の跡を残して固まるが如きは良質、麥角、他種穀類の粉礦物の粒末等特に麥角を混するは不良品、小麥粉を水にて攪き混ぜたる後エーテルにて浸出し其液を濾過して蓆酸を加へ温め若し赤色を呈すれば麥角を存在するもの、又苛性加里と共に温めて青魚汁の如き臭あるものも亦麥角存在するもの、圓筒形の硝子筒に小麥粉を詰め固め一晝夜放置して檢め筒の内壁に小溝を發見すれば蟲を發生せる不良品、硝子板の上に小麥粉を置き一晝夜を経て硝子板

の裏より覗けば蟲發生せるものは容易に鑑識し得、水に溶解して試験紙に中性反應を呈するは良品、酸性反應あるは不良品、水にて練り泥状となすに水を多く吸収するほど良品、普通六〇%以上吸収するを良品とす、(麩素) Gluten or Kleber の量多きは Baking Capacity 大なる良品、實際麵麩を焼きて其力を試むるを可とす、尙ほ具體的に知るには一定量の小麥粉を水にて硬き泥状に練り、之れを目の極く細かき布片にて包み水を掛け流しつゝ洗滌し、溶解し去るべき物質を悉く洗ひ流し水が全く清澄になる迄に至れば其布片中に残留せるものが即ち Kleber なるが故に之れを秤量すべし、而して其量は二四乃至二五

なるを良品とし色合は帶黄色にして彈力あるを良品とす。

メリケンマツ オレゴンパインに同じ。

メリヤス 莫大小 (Knit works) 品 目方を主とし織面を斟酌して定む。

メンカ 棉花ヲタを見よ。

メンシ 綿絲 (Cotton Yarn) 種 一本の絲にして左に撚りて纖維となりて解くるは左片撚

絲、右に撚りて解くれば右片撚絲にして此兩者を紡績絲ともいふ、片撚絲を二本撚り合せたるものは諸絲又は双子絲、毛を焼き去り光澤著しく細きものは瓦斯絲、片撚絲を三本撚り合せたるは三つ子、四本なるは四つ子絲、一摺の目方を秤量し之れを以て一二〇分を除

せば其線の番手を知るべし、例へば一線の目方七匁五分ありとせば120×75=15000目となるが如し、若し一線に足らざるものなれば経験によるか又は番手計なる器械によるべし、長さ線の場合にはミクロメトリックヤーパンランス (Micrometric Yarn Balance) 又はスタウブシヤーパンランス (Staubche Yarn Balance) を用ふべし、後者は英國式と佛國式との兩式番手を知るとを得、即ちBEは英國式(我國も同じ)MEは佛國式番手なり、商品に20/1とあるは二〇番の片擦線、40/2は四〇番双子線、60/2は六〇番瓦斯線なることを示す、品 白色にして光澤高く、太さ均一にして整なきを佳良、毛茨即ちホソケの少なきは

ど良質、擦の強弱は用途によりて撰を異にす、精密なることを識らんとせば捻擦品によるべし、弾力及び強力大なるほど可、乾燥充分にして手觸りシト／＼するは不可、糊及び澱粉の附着するは不可、目方を秤り、番手と一線の目方と一致せざるは不可、大阪三品取引所検査規則によれば、一〇個迄は二個、一〇個以上毎に一個宛を抜き之れを檢定用に充て荷造量目線数を調査したる上見本と比較し左の標準に基き鑑別し且つ左の各項に該當するものを以て二〇手標準とす。

(一)、玉は量目一貫二四〇匁以上とす、(二)、一線の線数は平均凡そ八〇節を以て相當とす、但し甚しき不同あるものは不合格とす、(三)、

総一周の長きは五四吋とす、(四)、整調は之れを上中下の三等に區別し中等以上を以て合格とす、(五)、滓及び光澤は一〇〇點を以て最高點とし八〇點以上を以て合格とす、(六)、水氣は天然水氣の外四〇匁以上たるべからず、但し天然水氣は五%と見做す、(七)、燃度の強力を相對照して之れを査定し、燃度一時に付き一七以上二〇以下とし強力は燃度に對し四五封度(燃度一九なれば強力四二封度七五)以上の比例を有するものを以て合格とす、但し燃度一八以下の物に對しては強力四〇封度以上を有するを要す、燃度強力等の試験は水氣の含有の総を十分に乾燥したる上空氣中に二四時間放置したる後試験するものとす、(八)、牽

伸力は一時十分の一以上とす、(九)、計算上番手に甚しき相違あるものは不合格とす、(十)、中括は總て共線とす、以上。

メンブ 綿布 (Cotton cloth) 種 モメンは無地平織綿布、サラシモメンは生モメンを煮て水にて洗ひ晒らしたるもの、アリマツシボリは尾張有松鳴海附近産にして晒木綿を縮染したるもの、カスリモメンは染絲を用ひて飛白を織りたる平織もの、シマモメンは染絲にて縞を織り出したる平織もの、アオシマモメンは紺絲にて織りたる無地平織(メクラジマ)コクラオリは地質博多に似、二本合せの擦絲を用ひたる平織物、フタコオリは二本の絲を合せて經としたる縞織もの、モンパオリは細絲

を經とし太絲を緯として織り起毛せしめたるもの、カナキンは細絲平織の粗布、サラサは形付カナキン、キヤラコは金巾よりも光澤あり上等の平織物、テンジクモメンは厚地の輸入平織物、カンレーシヤは布目荒く糊を引きたる細絲平織物、ウンサイオリ(ウンサイオリを見よ) 品 オリモノに略ぼ盡せり、要は細口の絲を用ひ地合能く詰まり、正味目方重きを優良とし、綿物は織面を主として判定す。



モクザイ 木材 (Woods or Timbers) 品 伐

採の季節によりて品質に大差異あり、我國にありては中夏及び中冬を最上とし春期に伐りたるものは滋液多き爲め弱く蟲に犯され易し表面に沃度丁幾を注ぎ紫色に變ずれば四乃至十月の間、黄色を呈し黒き筋を表はせば十月より四月の間に伐採したるものと略ぼ判定して可、木材を横断して現はるゝ年輪を數ふれば其數が即ち其木材の年輪なり、壯年に伐採したるは最良、材質強く、幼年及び老年のものは弱し、松杉樅の類は七〇乃至一〇〇年に壯

年に達し、樫は一〇〇年にて始めて壯年に達す、一般に平均一〇〇年前後を壯年とす、腐蝕あるものは不可、外觀に現れざるものは、木材の一端の中央に耳を着け他端を敲かしむべし、若し質堅牢なるものなれば音響明晰に耳に達すべきも、腐蝕せる個所あれば音響耳に達せず、又たとへ達するとも濁音なり、但し此試験は長さ一五尺位迄行ふことを得べし又鑽にて孔を穿ち木屑を嗅ぎても略ぼ判知すべし、香氣高く乾燥充分なるを佳、新たに鉋にて削りて其面が美麗にして絹の如き光澤あるは佳、又光澤濃淡一様なるを貴び有色材にありては濃き方耐久性に富み強力大なり、同種の材にありては重量大なるほど強し、年輪の

形正しくして薄く密なるは可、未熟の部分が年輪の間に存在するは不可、又年輪の一部が割れて離れたる所謂割裂を生じたるもの及び割裂を癒す爲めに脂が喰ひ込みたるもの、及び縦れて一年輪が他の年輪中に喰ひ込める等は皆不可、木心に平行して木理が整しく通直し、正逆混淆なきを良質、曲廻を有するは建築材料としては不可なるも強弱を論ぜざる裝飾用には却て貴ばる、例へば樺の如雲奎、玉奎等の如し、木理は板目よりは柱目を貴しとす、就中柱目の細微なるを絲柱目と稱し最優等品、粗柱目は下等、ヒツレ、裂口等なきを要す、乾燥不充分的物は後日に至り此處れあり、一部凝りたるもの、皮が中に喰ひ込みた

るもの(皮入又はサルバミ)、瘤あるもの等は共に不可、節無きを最上とす、死節(腐蝕して生氣なきもの)、生節(生色あるもの)、拔節(抜け落ちたるもの)とあり、特に拔節死節を忌む、死節は遠州材に多く紀州材には少なしといふ、市場にては無節(最上品)小節(少しくあるものにして次品)大節(多数あるものにして下等品)に撰別す、但し扁柏の如きは節あるを却て貴しとするものあり、赤味多きは良品、白肌多きは後日縮みを生ずべし、市場にては赤味の程度により赤、次赤(二赤)並に撰別す、板物の両端整正なるを極摺、少しく劣れるを耳摺、側面に削痕あるを斧傍とせり、鋸屑の細微なるほど良材、鹽分を含むも

のは用途によりて金物を腐蝕せしむることあり、硝酸銀の溶液中に木片を暫く放置して其表面に白き沈澱物を生ずれば鹽分を含有するものなり。(各種木材参照)

モクザイボーフザイ 木材防腐劑 品

イクレオソート油(クレオソート油を見よ)、(ロ昇赤は白色の結晶性の粉末にして水又は沸騰水に全く溶解し熱すれば全部溶解して揮散するを良質、丹礬は藍色の大結晶にしてアンモニヤ水に入れば藍色を呈し硝酸バリウムを添加すれば白色の沈澱を生ずるを純良品、鹽化亞鉛は白色にして水に容易に溶解するを可、昇赤と鹽化亞鉛とは乾蝕に効あるも一般用としてはクレオソート油を最良、丹礬を次とす、

英國に於て經驗せられたる所によれば電柱に施したるに平均丹礬注入柱は二〇年、クレオソート油注入柱は三二年保存せりといふクレオソート油の特長は乾燥せる木材に注入し得ること、器具にあらば如何なる場所にも注入し得ること、如何なる季節にても注入し得ること、注入材は強度弾性等を少しも失はざること、及び保存年限他に比して比較的永きこと等にして、缺點とする所は生木に注入し難きと高價なる器具を要することにあ

モクサク 木醋 品

褐色にして焦臭あるは粗製品、焦臭弱きは精製品、色は粗製品も大差なし。

モクタン 木炭 (Charcoal) 種 品

質堅く色

黒く熱の持續最も永きはカシ、クメギ、ブナ、ナラ、イタヤカヘテ等より製したる堅炭、質最も柔かく燃焼速かなるは松炭、中間なるは土釜炭、佐倉炭とは茨城縣霞ヶ浦及び千葉縣佐倉附近にてクメギを原料として焼きたるもの、堅硬細長なるはピンチョー(備長)炭にして紀伊伊勢にて樫を原料として焼きたる優良炭、池田炭は攝津池田地方にてクメギを原料とせる良炭、質固くして壓するも容易に碎けず、互に打てば金屬に類する響を發し、色は眞黒にして破砕面光澤あるは最良品、樫製を最上、クメギを上等、ナラを次品とす、ナラにも等級ありて大なるほど劣る、丸物にて六

分乃至一寸二分を最上、二ツ乃至四ツ割を次品、數個に割りたるを劣等、クマガは厚き皮を附着するを常とするもナラは之れなし、炭は總じて目の詰みたるほど劣る、即ち年數若きものほど優良、東京附近にありてはナラの堅炭は會津産を最良、ドガマは野州産佳、クマガは常陸産良質。

モクロー 木蠟 (Japan Wax) 品 (一)原料、

暗褐色にして少しく軟かきは新質と稱し、秋季收穫後一回も入梅期を経過せざるものにして品位最下等、淡褐黄色(産地により淡緑黄色)なるは古質と呼び收穫後二回入梅期を経たるものにして最良品、前兩者の中間にあるは直りと呼び入梅期を一回越したる二等品、

ハセウルシ、ハセノキ、ヤマウルシ等の種實の中ハセウルシ就中九州産松山種を最良、(二)製品蠟、原料及び新古によりて異なり、普通褐色を帯ぶるは新質蠟、帯緑黄色乃至褐黄色なるは古質蠟、豊後日田町は本場にして其特色は古質蠟著しく緑彩あることなり、場違物は普通褐色なるも本場に擬する爲めに藍靛にて着色せるものあり、之れは別に害なきも不正品に相違なく且つ鑑定頗る困難にして多年の経験を以てするも容易に判別し難しといふ暗色なるは二番蠟(淺田蠟)、淡色なるは一番蠟(生蠟)、純白なるは晒蠟、溶融點の高きほど良品、晒蠟は純白にして光澤高く形状正しく内部に固塊等なく、質均一にして汚點を有

せざるは良品、晒蠟に油を入れたるものは後日著しく黄色を帯ぶるに至る。

モスリン メリンス (Mousseline de Laine)

品 地合詰まり手觸柔軟外觀美なるを優良品 獨逸品は輸入品中最劣等、佛國品と瑞西品とは共に良質、此兩者の鑑別は殆んど不可能なり、内地産は品質外觀更に遜色なし。(ケオリモノ、イト、カリモノ参照)

モーフ 毛布 プランケットに同じ。

モーヒ 毛皮 ケガハを見よ。

モミ 樞 (T.M.) 品 白色にして臭氣脂氣共に少なきほど良質、參河、磐城相馬産良質。(モクザイ参照)

モメンオリモノ 木綿織物 メンプを見よ。



ヤクスギ 屋久杉 スギを見よ。

ヤコーガヒ 夜光貝 品 形大きく内面銀白色を帯びて美麗なる光澤を呈するは佳、周縁黄色又は黒色となれるは劣等品。

ヤシヤブシ 品 皮を剥ぎ磨きて奇雅あるを貴ぶ。(モクザイ参照)

ヤシユ 椰子油 (Butter of cocon) 品 純粋なるものは白色柔軟なるも普通商品は暗黄色なり、新鮮なるものは香味共に佳快なるも強臭あるは腐敗せるものにして總じて腐敗し易し 錫崙産は印度南部海岸産即ちコーチン物より

も優良、帶黄淡赤色柔軟の塊を爲し一種の爽快なる香氣あるはパルム油にして眞正の椰子油に非ず。

ヤスリ 鱧 (File) 品 目の幅及び深さ均一にして平行し縦に透かし見れば平行せる無數の線を見るが如きを良品、質柔軟なるは不可。

ヤチダモ 品 シホヤに同じ。

ヤナギゴリー 柳行李類 (Willow Trunks) 品 純白にして細く、編み方密なる程佳、芽の跡黒點となりて存在するもの及び折りたる角が折れたるものは不可、竹は孟宗竹を可、苦竹は乾燥して脆し、但馬木崎及豊岡産を最優良とす。

ヤマゲワ クワを見よ。

ヤマザクラ サクラを見よ。



ユリノネ 百合根 (Lily Pulbs) 種 鐵砲百合

は形最大にして周圍一尺以上に至るもの少なからず、根形多少扁平にして苦味あり、白鹿の子は球根黄色を帯び鱗形稍々長く、又之れに似て紫赤色なるは紅鹿の子、普通百合根は山百合根にして苦味少なし、品 色澤鮮美にして大なるを可、鱗片相重疊し堅く締りたるは可、一根より唯一個の芽を生ずるものならざるべからず、然らずして二芽を有するものは俗に二ツ球と稱し輸送中破損多く且つ一芽のもの、如く大花を得ること難きが故に二

等品又は不合格品となる、白鹿の子を最上、紅鹿の子之れに亞ぎ、鐵砲百合は並品、鐵砲百合にして鱗片の抱合堅實ならざるは早生鐵砲にして品質劣等、根部締れるは中生にして優良輸出向として歓迎せらる。



ヨセキザイクルイ 寄木細工類

- (一) 寄木細工物、(イ)一定の直線形状をなす材片を適宜に規則正しく配列せるは小寄木、(ロ)小寄木を更に適宜に規則正しく配列せるは種寄木、(ハ)各片一定の形状を爲さざる小寄木を亂寄木と云ひ、品位は細工組織の精粗簡雑によりて定め一般に通ずるところは年を経るも變色せざることを、反張せざることを、膠着強くして剝離せざることを要するにあり而して寄木細工には特に此缺點多し、
- (二) 木象嵌細工物、(イ)彫り込みたるは保存最も

宜しき上等品、(ロ)地板の上に嵌め込むべき材料を重ねて膠付となし其上に圖を貼り細き錐にて絲鋸を通すべき孔を開けて之れに絲鋸を通じて挽き廻し挽き取りたるものを嵌入したるものは挽込物と稱し並物なり、(ハ)挽木物に經木を用ひたるものあり最劣等品にして水滴掛れば膨れ狂ひ且つ之れを修繕することを得ず、尙ほ木象嵌物の通有せる缺點は反張すること、變色速かなること等なれば此點に留意すべし。

ヨ一モ一 羊毛 (Wool) 品 毛根より尖端に至るまで太き一様にして叢なきを佳、纖維の長きほど可、兩端を摘みて引き延ばせば能く延び、再び放せば原形に復すれば彈力強き良

品引きて強きを可、死毛スキンウールは強力なし、死毛スキンウール (Kempy Fibre and Skin wool) は毛根卵形を爲す、手觸り柔軟なるほど強力大、色は種類によりて異なれり、唯各種特色を充分發揮するを可、棒狀を爲すは劣等品、縮れ方充分なるほど良品、曲ぐるも折れざるは可、不純物混在少なく脂肪分適度なるべし、洗滌して目減り少なきを良品、紡績してノイルを生ぜざるを佳、新毛は舊毛よりも優良、古毛は太き一様ならず且つ顕微鏡によれば鱗狀なし、但し新毛にても劣等品は此鱗狀を缺く(古毛の長きは Saddy 短きは Mungo)、幼毛は劣等、普通毛と幼毛と異なる點は幼毛は尖端に至るに従ひ細くなるも

普通毛は一様なり、又苛性曹達にて幼毛を煮れば溶解し之れに醋酸を加ふれば一種の沈澱物を生ずべし、體の兩側の毛は最良質、背部之れに亞ぎ、腰部之れに亞ぎ下腹部胸部足部等の毛は下等、羊毛と他の毛と異なるところは▲羊毛は縮れ且つ表面鱗狀を爲す、▲羊毛は横斷すれば斷面圓形管狀を爲し中に一種の髓あるも他の動物毛は斷面扁平、▲羊毛は其根より尖端まで一様の太さを有す。



ラクヨーシヨ― 落葉松 ト、マツを見よ。

ラシヤ 羅紗 (Woollen cloth) 品 純毛品と混綿物とあり、經絲が綿密に非れば純毛品、緯絲に梳毛絲又は紡毛絲を織りたるものは經に綿を入れたる虞あり、毛質の如何によりて判定すべきも普通は目方を主とし毛の深淺彈力の有無強弱によりて鑑識す、梳毛絲にて斜文厚地に織り粗剛なるはスコッチ。

ラツカセー 落花生 (Peanuts) 種 (一)内地産、外殻厚く形大きく色淡紅色、一殻中に三乃至四個の子粒あるは大落花生、外殻薄く形

小さく、圓くして長からず、一殻内に二個以上の子粒あること殆んど稀れにして且つ子粒は濃赤色の皮を以て蔽はれ其子實は概して甚だ狭き殻内に充實して存在するが故に相密壓せる結果其一端は多くは扁平なるは赤落花生又は豆落花生、(二)臺灣産、淡桃色にして一寸五・六分、子粒一乃至二粒なるは大粒種(二花豆)、形狀性質共に略ぼ同上、唯實が莢の内面に密着せるは温州種(大花豆)、小形濃綠色莢の外観皺多く不恰好にして細長く一寸三分あり、内に一乃至三粒の淡桃色の子粒あり味美なるは長形小粒種(鴛鴦豆)、粒長七・八分、短楕圓形を爲し、外観美しく、肉は薄くして莢は指頭にて容易に離裂し得べく、子粒淡黄

色なるは短形小粒種(老公豆)、品 種皮光澤あり、豆肉充實して肥大なるは佳良、赤落花生は大落花生よりも油分に富み、大落花生は概して味に於て優り、且つ輸出向は大落花生可、千葉縣産は最良品、就中本場物と稱するは千湯地方産にして褐色の斑紋あるを特色とす、静岡縣及び三河産も亦良質、相模、武藏、豊後、備中及び鹿兒島邊産は色澤形狀ともに輸出品としては下位、産地より買ひ集めたるまゝのもの原物と稱し、之れより屑物を撰り除きたるを一粒撰品と呼び、其屑を撰り下と唱へ、更に一粒撰より外觀の悪しきものを除きたるを再撰品、其屑を再撰下といふ。

ラツカセーユ 落花生油 (Peanut Oil) 品

淡黄色透明なるは良油、市價高きものなるが故に他の廉價なる油を混じたるもの少なからず、之れを鑑識せんには化學試験に俟たざるべからず、即ち菜種油を混じたるものは鹼化價の低きこと及び脂肪酸の融點低きことによりて、綿實油を混じたるものは脂肪酸の融點高きことによりて、胡麻油を混じたるものはフーフュロールの反應によりて、罌粟油を混じたるものは比重の高きと沃度吸收價の大なることによりて何れも判明すべし。

ラツク (Lac) 種 品 無數の小瘡狀樹脂層にて被はれたるはステック、ラツク (Stick Lac) にして最粗品、前者を水にて處理する際残りたる粒狀を爲すものは、シードラツク (Seed

Laoc)にして劣等品、淡黄色にして美しき光澤あるは普通オレンヂセルラツク(Orange She Laoc)と呼び、碁石形を爲し厚き二分位暗褐色乃至暗紅色なるはバツツンラツク(Button Laoc)前者に酷似し少しく紅色あり厚き平滑なる塊片を爲すはサートネットラツク(Sarnet Laoc)品 透明にして紅色を帯ぶるは佳、比重一・一三乃至一・二二四、暗色となるほど重し、ワニス用にはオレンヂラツク、バツツンラツク等可にして最も多くはオレンヂを用ふ、夾雜物の有無を知るにはアルコールに溶解せしめ更に別にアセトンを加へて夾雜物を溶解せしめて判定すべし。



リグナムバイター ホツクウートに同じ。
 リノリヤム、オイルクロス 品 質緻密にして折り曲ぐるも表面に龜裂を生ずることなきは良質、リノリヤムは耐久力強きもオイルクロスは弱し、英國品は常に優良なるも獨逸品は多くは下等品。
 リボン (Ribbons) 品 地合薄くして能く縮り底光りありて手觸り滑かなるは佳、皺になるは劣等、水に侵すも褪色せず全部絹製を最良擬物として緯絲に柞蠶絲を用ゐたるものあり劣等品は木綿絲を混用す、端を少しく解きて

點火すれば判然す。(イト、オリモノ、キヌオリモノ参照)

リユーサン 硫酸(Sulphuric Acid) 種 無色
 澄明或は微かに黄色を帯び、比重一・八三乃至一・八三三は粗製品、無色澄明比重約一・八四二なるは精製品、褐色を少しく帯びて濃厚、比重一・八五乃至一・九〇なるは發烟硫酸、品色と比重を以て判定す、ホーマー氏メートルを用ふ、藥用純硫酸鑑定法は藥局法規定あり、輸出用は六六度前後に限り、支那向には雜物を含有せる弱度物も需要せらる。

リユーサンアンモニヤ 硫酸アンモニヤ (Ammonia Sulphate) 品 色澤鮮美透明なるを良質、色相は種々あるも要するに鐵とアニリ

ン色素とによるものにして少しも含有窒素量に關係する理由なきものなるも、多くの場合に於て黄色及び紫色を帯ぶるものは平均〇・五%内外の窒素量多きが故に純白のものに比し一〇〇斤に付き二乃至五圓方高價、又純白なるは灰色及び淺黄色よりも一・二圓方高價なるを常とす、濃なく齊一なる結晶狀を爲さざるべからず、特有の結晶狀を爲さざるものは他の有害なる夾雜物を含む劣等品、手にて觸れ濕氣を感ずること少なきほど良質、粉粒が分離狀態を爲して微かにアンモニヤ臭を發するものは水分少なき良品、鐵板上に載せて徐々に熱し殘留物なく悉く發散するものは良質、殘留物が二〇%を超過すれば並品以下、

水と加熱して殘留物を殘すものも亦同じ、少量を試験管に入れ苛性曹達の溶液を注加しア
ンモニヤ瓦斯を發生し赤色試験紙を青變すれば純正品、水に入れ白濁を生ずるものは石灰
又は石膏を混するもの、舐めて鹹味あるか、炭
火上に爆聲を聞くものは食鹽を含む不良品。
リユーサンカリ 硫酸加里 (Sulphate of Potash) 品 水と共に煮沸して全部溶解すれば
良品、但し泥炭、焼土、木炭末等を二・五%位
含有するものは差支なし、之等は凝結を防止
する爲めに加へられたるものなり、稀鹽酸又
は酢にて發泡するものは木灰、石灰等を混す
るもの、五瓦に一〇〇立方センチメートルの
水を加へ三〇分間煮沸して濾過したる液を蒸

發皿に採り徐々に蒸發せしめ無色の菱形錐體
結晶となれば純正品。
リユーノー 龍腦 ショーノーを見よ。
リヨープ 品 床柱用として皮付のまゝ雅致に
富むを貴ぶ。(モクザイ参照)
リン 燐 (Phosphorus) 種 蠟狀にして柔軟、
小刀にて容易に切断せらるゝものは黄燐、暗
赤色無味無臭無晶形の粉末又は赤褐色の塊片
なるは赤燐 品 赤燐中に黄燐を含有するは
不可、硫化炭素中に振盪すれば赤燐は溶解せ
ず、黄燐は溶解するが故に此液の上に鉛糖紙
を置き黒變すれば黄燐存在する不良品。
リンコーセキ 燐礦石 (Phosphorites) 品 成
分中燐酸量多きほど良品、(専門家に依頼すべ

し) 上質のものは燐酸三七乃至三八% (クリ
スマス燐礦石及びオーシヨシヨシ燐礦石)、中等品
は三〇%内外 (フロリダ及びアルゼリア燐礦
石) 下等品は二五%内外 (ガフサ燐礦石)、最
下等品は二〇%以下 (西澤島即ちプラタス燐
礦石、能登産等)、鐵及び礬土の化合物量多き
は劣等品、オーシヨシ燐礦石は〇・〇五%、ク
リスマス燐礦石は〇・七六%位下等品は一三・
九八%に達するものあり、宮崎、三重、岐阜、
秋田等の産は何れも劣等。



ルツボ 坩堝 (Crucible) 品 白金製は秤量し
たる後鹽酸と共に煮沸し少しも溶解物を生ぜ
ず、且つ取り出して秤量し毫も減量せざれば
良質、銀製は苛性加里、硝石等を和して熱し
少しも侵蝕せられざるを可、石墨製は石墨良
質なるを要す。(コクエンを見よ)
ルーフキング 屋根葺材料 (Roofings) 品 瓦
(カハラを見よ)、石綿瓦 (アスマストタイル
を見よ) 石板 (スレートを見よ) 等普通にして
各優劣あり又用途によりても差異あり、マル
ソイド、ラバロイドの如きは質緻密にし厚く

弾力ありて折るも龜裂を生ぜざるを良品。

レ

レ

三〇四

レンガ 煉瓦 (Bricks) 種 藥掛又は化粧煉瓦は小口、長手又は其他必要なる側に釉薬を施し表面を珪瑯質となしたるもの、耐火煉瓦は耐火粘土を加へて白色に焼きたるもの、色煉瓦は原土に色彩を含める粘土を混和して焼きたるもの、普通煉瓦は長方形にして赤味を帯び釉薬色彩等を施さざるもの、異形煉瓦とは普通煉瓦の種々異形を爲せるもの、東京形は長さ七寸五分幅三寸六分、厚さ二寸、重量五七〇乃至五八〇匁(稀れには七五〇匁平均六三〇匁前後)、大阪形は厚さ一寸八分、其他は



東京形と略ぼ同じ、山陽形は長さ七寸三分幅三寸五分厚さ二寸三分なり、四圍平滑にして光澤あり、兩面粗糙なるは機械詰製、總面平かなるも光澤なくザラ／＼せるは手詰製、普通煉瓦は焼き方によりて凡そ次の如く撰別す、イ) 淡朱又は黄色を帯び質堅牢ならざるを並焼(口濃褐色なるを焼過、ハ) 表面濃紫黑色にして玻璃狀の光澤あるを黒焼過又は單に黒、就中小口の黒きを鼻黒、長手の黒きを妻黒又は横黒、以上各種を次に述ぶる鑑定標準により更に上中下に撰別す、品 色彩は焼の如何を示すものにして窯中の位置によりて異なるも總じて赤味勝ちなるよりも黒味勝ちたるを優良、又焼けに疵なく破砕面も中まで充分に

レ

レ

三〇五

焼け通りたるを最上、内部が薄茶色なるは生焼品、又詳細に論ずれば原料によりて焼け色を異にす、即ち鐵氣を含まざる粘土又は白堊を混合せる粘土製は白色、鐵氣を含む粘土製は赤、橙乃至淺黄色、酸化鐵の多量なるものは光澤ある赤色又之れを高熱にて焼きたるは暗紫色、多量の酸化鐵と少量の滿俺とを含むものは黑色、鐵と苦土とを含むものは黄色、アルカリを含むものは青綠色なるが如し、邊は互に平行して歪なく、隅角は尖りて缺損なく面平滑にして緻密互に敲けて金屬的音響を發するは良品、重量は東京形即ち普通物にて一本六〇〇匁以上なるを可、手拔製よりも器械製は焼充分なると四圍平滑にして光澤あ

レン
るが故に優等とす、黒焼過は重要な工事の表面又は水の作用を受くる所に最も可なるもモルタルの附着悪しきが故に内部積には混用すべからず、並焼は工費節約の爲め煉瓦壁の後部又は基礎の中央部等には使用し得、煉瓦を充分乾燥したる上秤量し次に之れを水に浸し二四時間の後取り出して秤量し水を吸収したる量を知るべし、此吸水量は十分の一以上なれば不良品、十五分の一以内なれば良品、平均六分の一を可、乾燥したる煉瓦を秤量したる上細き針金にて縛り秤挺の一端に釣り約一五度の水中に懸垂して秤量し其重量を先きに秤りたる重量より減じ其差にて乾燥煉瓦の重量を除すれば其煉瓦の比重にして少くとも

レン
三〇六
二・〇より大なるべく、最良品は二・四、中等品は一・六乃至二・〇、下等品は一・四位、充分吸水せしめたる煉瓦を一晝夜零下十〇度の寒冷所に放置して凍結せしめ更に一〇度乃至一五度の水中に浸して凍結水分を溶解せしめ、此の如く數回反覆して毎回レンズを以て外面を檢め龜裂を生ぜざれば寒氣に耐ふる力強きもの、中央より切断し二個となし相重れて其間にセメントを薄く塗りて接合し、又上下兩面をも薄く塗りて平面となし十二日乃至十四日間空氣中に放置して重量を加へて耐壓力を檢むべし、上等品は一寸平方に付き一五〇貫乃至二〇〇貫目に耐ふべきも中等以下は其半重にて破壊すべし、然し何れも龜裂は破壊力

の二分の一乃至三分の二を受けたるときに生ずべきが故に誤認すべからず。(タイカレンガ参照)

レンズ 鏡玉(Photographic Lens) 種 品 ア

ナスチグマツト鏡玉は優良にして他は舊式鏡玉と稱し劣れり、但しアボクロマツト鏡玉は圖寫用、天然色寫影用として最良品、アナスチグマツト鏡玉なりやを鑑定するには焦點板の中心に於て直交する任意の二直線を畫きて焦點板を貫通せしめ、別に二細線を直交せしめたる試験圖を作りて便宜の位置に置き、圖の線の交點が焦點板上に畫きたる線の極端部に來り且つ圖上の線の一方が焦點板上の線と一致する如くになし、かくて少しづつ鏡玉と

焦點板との間隔を伸縮して畫像を檢すべし、畫像の縦線と横線とが同時に繊銳なればアナスチグマツト鏡玉なり、若し一方が朦朧なれば他の鏡玉なり、鏡玉は總て次の條件に合するを良品とす、(イ)畫像の周邊に至るに従て朦朧とすることなきこと、(即ちアナスチグマツトなること)、(ロ)焦點板上にて精密にピントを合せたる後何等故障なく撮影して成畫が朦朧となることなきこと、(即ち色收差なきこと)、氣泡のある玉は多くは新式鏡玉なり、氣泡の有無は品質に何等關係なし、鏡玉の明さ即ち速度は玉に明記せるも、誇大して示せる不正品多し、其他口径直徑の測定、包括の角度、直線性の試験等を完全に施さざれば充分なる

判定を下し難し之等は寧ろ専門家に依頼するに如かず(東京市日本橋區本町二丁目寫眞月報社に研究部あり殆んど大家を集めたれば同社に紹介するを便とす)、最も信用あるものを舉ぐれば、Carl Zeiss, C. P. Goerz, Voigtlander, Rodenstock (以上獨逸) Dallmeyer, Ross, R. & J. Beck, Taylor-Hobson, Emil Bush, Butcher & Sons, (以上英國) Bausch & Lomb (米國)等にして本邦製は極めて劣等品。



ロー品 目方によりて定む一疋二七〇乃至三三〇匆位。(オリモノ、キメオリモノ参照)
ロー蠟 モクロー、ミツロー、シロー等を見るべし。
ロスキヤ 絹透綾 品 外觀手觸を主として定む。(オリモノ、キメオリモノ参照)
ローソク 蠟燭 (Candles) 品 溶融度高き即ち燭時永き光力強きを良品、點火して判すべし、質柔軟に過ぐるは不可、日本蠟燭は劣等芯の燃焼飛散するを可、媒烟を發し又は溶蠟の上部に滯溜するは不可、品位を定むる要點

は芯にあり。

ロチリメン 絹縮緬 品 重量と外觀による、

一反一二〇匆前後。(オリモノ、キメオリモノ参照)

ロートユ 品 アンモニア水に全く溶解するは

良品、試験油一〇立方センチメートルをフラスコに採り強硫酸と水の等分液を加へ次に黄血鹽を少しく加へて能く振盪したる上更にエーテル五〇立方センチメートル加へて再び振盪したる上靜置するとき若し二液の接觸面に青色の輪を生ずるときは、鐵分を含有する劣等品。



ワタ 綿 棉花 (Cotton) 種 品 純白に近く光澤強く、手觸り柔軟弾力あるは良品、粗剛なるは不可、繊維の組織均一にして細大なく長短混淆せざるを良品、長きほど優良、引きて見るに伸張力大なるほど可、多少の水分は寧ろ必要とするも故意に吸収せしめたるは不正品、夾雜物、未熟纖維等なく純粹綿なるは良品、埃及棉は纖維長く質均一にして強く少しく赤色又は褐色を帯びて平均最優良品、米國棉は埃及棉に亞ぐ良品にして其海上棉 (Island Cotton) は世界最優良品、陸上棉

ウタ
ワタ
(Upland Cotton) も良質にして就中ミシ
シッピー及びセイア州産は乳白色を帯
び紡績用として最佳、印度棉は外觀支那綿に
似て美ならず、色淡赤を帯び纖維粗、細太一
ならず且つ不純物を含むこと頗る多し、中に
て少しく鼠色を呈するは中央州の高地より出
づるヒンガンカットにして最良、褐色勝ちな
るはホンベイ産アローチ棉にして次の上質、
少しく白く纖維長きも不純物の混在多きはホ
ンベイ産ドレラ棉にして少しく劣り、クリー
ム色を帯び比較的純粋なるはマドラスの南方
産チンネベリー棉にして更に少しく劣等、チ
ンネベリー棉に似て不純物を混在するはホン
ベイ産ダワー棉、クリーム色にして不純物頗

ワタ
三二〇
る多きは中央州産ウーラムラウド棉、暗色にし
て纖維弱く不純物多きはマドラス棉、最も粗
剛なるはベンガル棉にして最劣等、支那綿は
白色美麗なるも纖維太く且つ日本棉の如く剛
し、中にて白實白色にして光澤乏しきは寧波
産、黒實白色なるは天津及び漢口附近産、純
白にして美なるは上海綿、黄味を帯びたるは
白色物の汚れたるものにして通州産最良、上
海物之れに亞ぎ寧波物最劣等、又黒實綿花は
白實綿花に比して纖維強く繰綿の量多きも油
分少なし、本邦産は良質なるも纖維太くして
短かく、産地に付き比較すれば攝津川邊武庫、
豊島、島上、島下、西成の各郡産を阪上綿と
稱し最優等品とし全國之れを標準とす、就中

武庫、豊島産は最優良にして實綿より平均三
七乃至四三%の繰綿を得るといふ、山城、河
内、常陸、丹波、三邊、尾濃産等は上等品、
上野、下野、武蔵、信濃、近江、伯耆、出雲、
下總、常陸筑波、三備、安藝、和泉、紀伊、
伊豫、讃岐、淡路、播磨、大和産は多くは中
等品、印度棉は米棉又は埃及棉に混用すれば
細絲に可なるも多くは太絲紡績用、埃及棉は
細絲殊に瓦斯紡績に可、埃及及米棉は纖維長
き故紡績用には可なるも綿屋の弓には掛り惡
し、支那綿は衣服用に可、細絲紡績には不
可、本邦産は中入綿、太絲紡績に可。
ワタニ 綿實 (Cotton Seed) 品 外皮薄く肉
豊富充實せるを良質、寧波及抗州物は皮殻厚

ワタ
三二一
く含有油分少なく劣等、印度産は形小さく重
量少なく、埃及物は綿毛なく良質。
ワタニアブラ 綿實油 (Cotton Seed Oil) 品
淡黄色にして清澄なるは優良品。
ワタミアブラカス 綿實油粕 (Cotton Seed Oil
Cake) 種 ナマコ板形なるは上海又は通州
品、粉狀なるは印度及び米國品、白形なるは
日本品、品 綿實の皮の細毛(セリ)の混入
する程度によりて品位を定む、粕を粉末とな
して乳鉢内にて能く潰し、徑一ミリメートル
の目を有する篩にて篩分けるときはセリと黄
色なる粉末即ち純粹なる粕とは容易に分別せ
らるべし、此セリを一〇%以上含むものは劣
等品にして優等品は全く混在せざるものあり

通州物は純粹品多きも上海物はセリ多し、厚さ六乃至七分の長方形又は圓形にして黃褐色を帶ぶるは多くは良品、厚さ一寸乃至一寸五分の橢圓形又は圓形の黃褐色乃至赤褐色なるは概して不良品、黃褐色を有すれば良品と認むるも可、破碎し易きは不可、少量の水に溶解したるものに鹽酸を加へ次に苛性曹達を加へて煮沸し全部溶解すれば良品、眞實なるものは含有窒素量六・〇・燐酸二・〇加里一・五位、下等品は窒素量三・〇・燐酸一・〇加里一・〇前後。

眞實、此乾燥時間は種類によりて異なるも八乃至一〇時間にて乾燥し、二四乃至三六時間を經過すれば輕石にて磨研し得るを良品、乾燥時間速なるを可とするも特別なる用途に供するものには餘り速きは却て不可なるものもあり、例へばコールトサイズは一乃至二時間に乾燥を終らざるべからず仕上ワニスは十二時間以上なるも差支なきが如し、乾燥したる面を錐の頭にて掻き剥落せず細線を劃くのみなるは眞實、又乾燥面に龜甲紋を現はすは不可、指頭にて武力板に塗擴けて濃厚なるほど眞實、色は淡きほど普通優等、武力板に塗りにて乾燥したるものを折り曲げ龜裂を生ぜざるは眞實、コーパルワニスは最優良、カウリ

ワニス之れに亞ぎ、松脂ワニスは劣等品。
ワビヤクタン(ネツミサシ) 品 指物用材に可
風蝕又は蟲蝕ありて雅致に富むを貴ぶ。(モク
ザイ参照)

商品鑑定辭典終

索引

ア

アイ、一
 アイジングラス、二
 アエン、三
 アエンカーフン、三
 アエンカ、四
 アエンパン、四
 アエンピキセン、四、二二七
 アエンメツキセン、四
 アオシマ、二八三
 アオシマモメン、二八七

アカガシ、五
 アカサカイシ、一九四
 アカシデ、五
 アカマツ、五
 アカメガシワ、六
 アキマイシ、二二二
 アサ、六
 アサイト、七、八、二七
 アサガリモノ、八
 アサクサノリ、九
 アササナダ、九
 アサダロー、二九二

アサブクロ、一〇
 アザミ、一〇
 アザラシ、一一七
 アズキ、一〇
 アスナロ、一一
 アスファルト、一一
 アスファルトフェルト、一三
 アスベスト、一三
 アスベスト、カワラ、一三
 アスベスト、ルーフィング、一三
 アセンヤク、一四

索引

アテ、一四
 アテマルタ、一四
 アニミ、一五三
 アハビ、一四
 アブラガス、一五
 アマ、七、一六
 アマノミ、一七
 アマニユ、一七
 アメ、一九
 アラガス、一九、一〇〇
 アラド、一九
 アラビヤゴム、二〇
 アラモノ、一九
 アリマツシホリ、二八七

アルコール、二〇
 アンカ、二〇
 アンザンガン、二〇
 アンゼント、二三
 アンソクコ、二三
 アンチモニ、二四
 アンモニヤゴム、二四

イ井

イ、二五
 イカリ、二五
 イカリヅナ、二六
 イシ、二六
 イシバイ、二六

イシワタ、二六
 イス、二六
 イズイシ、九七
 イタイシ、二二
 イタヤカヘテ、二六
 イチイ、二六
 イチイガシ、二六
 イチヒ、二六
 イテウ、二六
 イト、二六
 イトガリ、二九
 イモノ、二九
 イモノキガタ、三一
 イリコ、三一

イルカアブラ、一〇一
 イワシシメカス、三三
 インキ、三三
 インザイ、三四
 インデイゴビユーアー、一
 インドウルシ、三九
 インナイイシ、九七

ウ

ウアイオリン、六四
 ウキスキ、三五
 ウキローカーフ、七二
 ウサギノケ、一一六
 ウシシノカワ、三五

ウシノチ、三五
 ウシノニク、三五
 ウス、キネ、三五
 ウチワ、四六
 ウテギ、三五
 ウニ、三六
 ウバメガシ、三六
 ウマノケ、三六、一五四、
 二五九、
 ウメ、三六
 ウモ、三七
 ウリツイシ、九七
 ウルシ、三七
 ウルシノキ、三八

エ

ウーロンチャ、四〇、一二七
 ウンサイガリ、四〇
 ウンドーキダ、四一
 ウンボ、四二

エギマ、四三
 エゴ、四三
 エゴマノミ、四三
 エゾマメ、四三
 エナメル、四三
 エノアブラ、四四
 エノキ、四四
 エノガ、四四

エビ、四四
 エボナイト、四五
 エムライシ、九八
 エレミー、一五三
 エンカアエン、二九〇
 エンジュ、四五
 エンパク、四五
 エンピセン、二二七
 エンピツ、四五
 エンブ、四六

オヲ

オイルクロス、三〇〇
 オガタマノキ、四六

オーギ、四六
 オーギヨク、二六七
 オケ、四七
 オケギ、四七
 オーサ、ブイシ、九八
 オジカイシ、二二
 オーシカノカハ、一一六
 オシロイ、四七
 オータニイシ、九八
 オツトセイノカハ、一一七
 オーナラ、四九
 オニグルミ、四八
 オーマ、四九
 オーム、七

オームギ、四九
 オメシオリ、五〇
 オリコンブ、五一
 オリブユ、五一
 オリモノ、五一
 オリモノヨイセンイ、二六
 ガルガン、五四、六三
 ガレゴンバイン、五四
 ガーロー、五五

カ

カイキ、五五
 ガイシ、五六
 カイニツト、五六

カイホー、一四
 カイメン、五六
 カミ、五六
 カキ、五六
 カキ、八四
 カキザイリヨ、五六
 カキバイ、五七
 カクメイシ、二三
 カゴ、五七
 カサ、五七
 カザンイシ、二三
 カザンバイ、五七
 カシ、五八
 ガスイトオリ、五九

カスリモメン、二七八
 カタイシ、二〇、五九
 カツオブシ、五九
 ガツキ、六一
 カツシヤ、六四
 ガツタパーチャ、六四
 カツラ、六五
 カナキン、六五、二八八
 カナボイシ、二三
 カヌマイシ、九八
 カネヒライシ、二二
 カハ、六五
 カーバイト、七三
 カハラ、七三

カヒバシラ、七四
 カヒバイ、七四
 カマ、七四
 ガマズミ、七五
 カミ、七五
 カモイガハ、一一七
 カヤ、七六
 カヤヂ、七六
 カヤアブラ、七六
 カラキザイク、七六
 ガラス、七七
 ガラスザイリヨ、七七
 カラマツ、七八
 カラムシ、七、七九

カリン、八〇、一四九
 カリンサンセツカイ、七九
 カワウソカツ、一一八
 カンケツ、八〇
 カンシヨ、八〇
 カンスイセキ、一九三
 カンゼンヒリヨ、一九三
 カンゾー、八一
 カンチク、八二
 カンヅメ、八二
 カンテン、八七
 カントンウルシ、三九
 カンナンイシ、二三
 カンパン、八七

キ

カンビヨ、八八
 カンブーセキ、二二
 カンユ、八八
 カンレーシヤ、八八、二八八
 キイト、八九
 キカイアブラ、九一
 キカン、九二
 キマヌ、九二
 キツドカハ、七二
 キツネガハ、一一七
 キヌイト、二七、九三
 キヌオリモノ、九三

キヌチツミ、九三、二二四
 キビソ、九三
 キビラ、九三
 キヤラコ、二八八
 ギユニコツ、九三
 ギユーニユ、九四
 ギユーニク、九四
 ギョーカイガン、九六
 キョーギサナダ、九八
 ギョクズイ、二六七
 ギヨニク、一〇〇
 ギヨヒ、一〇〇
 ギヨファンガス、一〇〇
 ギヨユ、一〇一

キリ、一〇一
 キリアブラ、一〇二
 ギルビーガハ、七一
 キハダ、一〇三
 キン、一〇三
 キンキ、一〇三
 ギン、一〇四
 ギンキ、一〇四
 ケアノ、一〇五
 クサリ、一〇五
 クシ、一〇六
 クス、一〇七

ク

クツ、一〇七
 クツクリーム、一〇八
 クツズミ、一〇八
 クノミネイシ、二三
 クマガハ、一一七
 クリ、一〇八
 クリワタ、一〇八
 クルミ、一〇八
 クルミアブラ、一〇九
 クレオソトユ、一〇九
 クロガキ、一一〇
 クロスイシ、二三
 クロベスギ、一一〇、一六三
 クロマツ、一一〇

ケ

クロームガハ、七〇
 クロームサンカリ、一一〇
 クワ、一一〇
 クワリン、一一一
 グワヤック、一一一
 ケイト、二七、一一二
 ケイトクヅ、一一二
 ケイユ、一一二
 ケイラン、一一二
 ケオリモノ、一一四
 ケガハ、一一五
 ケーシヤ、七七

ゲタ、一一八
 ゲッケンドーグ、八〇、
 一一八
 ケツブン、八〇、一一九
 ケヤキ、一一九
 ゲンナイシ、九七
 ケンポーナシ、一二〇
 ゲンマユ、九一
 ゲンマリヨ、一一九
 ケンメンマゼオリ、一一九

コ

コーキ、一二〇
 コーギヨク、二六六

コトキン、一二〇
 コクエン、一二〇
 コルクス、一二三
 コクタン、一二四
 コクラオリ、二八七
 ゴシヨীগキグ、一二五
 コースイ、一二六
 コーチヤ、一二六
 コツタン、一二七
 コツブン、一二七
 コーテツ、一二八
 コト、六一、一二九
 コハク、一三〇、二六七
 コハクオリ、一三〇

コーヒ、一三一
 コブシ、一三一
 ゴマ、一三一
 ゴマアブラ、一三一
 コマイガス、一三二
 コマツイシ、二一
 ゴム、一三二
 ゴムガワ、七二
 コムギ、一三四
 コムギコ、一三四
 ゴムヒフクセン、一三四
 コメ、一三四
 コメカ、一三八
 コーモリガサ、五七、一三九

コーヤマキ、一三九
 コーユ、一三九
 コーユ、一三九
 コルク、一四〇
 コールター、一四〇
 コロツケーヨーグ、四一
 コロフォニー、一四〇
 コング、一四一
 コンゴトセキ、一四一
 二六六、
 コンデンスミルク、一四一
 コンニヤク、一四二
 コンブ、一四二

サ

サイカク、一四四
 ザイス、一四四
 ザイモクイシ、二二
 サオイシ、二三
 サクサン、一四四
 サクサンシ、一四四
 サクラ、一四五
 ザクロイシ、二六七
 サケ、一四五
 サト、一四六
 サトトヅケ、八七
 サトミイシ、二二

サナギアブラ、一四七
 サハラ、一四七、二五五
 サメヒレ、一四七
 サラサ、二八八
 サラシモメン、一四七、
 二八七
 サラシロー、二九二
 ザル、五七
 サルタ、一四七
 サワダイシ、九七
 サンカドー、七八
 サンカクローム、七八
 サンゴ、一四七

シ

シウリ、一四八
 シオダイシ、二三
 シカガワ、一一六
 シカノケ、二五九
 シクギ、二六九
 シシガワ、一一七
 シータケ、一四八
 シタン、一四九
 シツキ、一四九
 シナウルシ、三九
 シーノキ、一五〇
 シノダケ、二〇〇

シノブイシ、九八
 シブ、一五〇
 シホ、一五〇
 シホサケ、一五〇
 シホヂ、一五〇
 シヤガタライモ、一五〇
 シヤガン、一五一
 シヤキン、一〇四
 シヤクシ、二〇
 シヤクドー、一二〇、一五二
 シヤクハチ、六三、一五二
 シヤシンキカイ、一五二
 シヤミセン、一五二
 シヤンペンサイダー、一五二

シユーコツ、一五三
 シユシ、一五三
 シユズ、二五四
 シユセキ、七八
 シユモト、一五三
 シユロカハ、一五四
 シユロナハ、一五四
 シヨイガ、一五四
 シヨイギ、一二五
 シヨキキカン、一五五
 シヨクエン、一五五
 シヨコ、二九〇
 シヨサン、一五六
 シヨサンゾダ、一五六

シヨセキコ、一五六
 シヨノ、一五七
 シヨノ、一五七
 シヨフ、九
 シヨベル、一五七
 シヨユ、一五八
 シラカハイシ、九八
 シラベカハ、一五九
 シロー、一五九
 シロチク、五七
 シンダイスギ、一六〇
 シンジュ、一六〇
 シンチユ、一二〇、一六一
 シンリキシヤ、一六一

ス

スイギン、一六二
 スイシヨ、二六七
 スカガハイシ、九八
 スギ、一六二
 スケト、二〇三
 スコップ、一六四
 スサ、一六四
 スズ、一六四
 スズケモノ、八七
 スズハク、一六五
 スナ、一六五

スルメ、一六五
 スレート、一六七

セ

セイゾヨキグ、一八八
 セイド、一六八、一二〇
 セキエ、七七
 セキザイ、一六八
 セキタン、一七三
 セキタンサン、一七七
 セキバン、一七七
 セキメン、一七七
 セキボク、一七七
 セキユ、一七七

セツカイ、一七八
 セツケン、一八〇
 セメント、一八〇
 セルシ、一八六
 セルロイド、一八六
 セン、一八六
 センセキ、一八六
 センス、一八六
 センダイヒラ、一八七
 センダン、一八六
 センテイトリヨ、一八七
 センテツ、一八七
 センリヨ、一八八

リ

ソクリヨイセイヅヨキグ、
 一八八
 ソーゲ、一八九
 ソーヒ、一八九
 ソーメン、一八九
 ソヨゴ、一八九
 ソロバン、二五四

タ

タイカレンガ、一九〇
 タイコ、六三、一九一
 タイソヨヨグ、四一

ダイヅ、一九一
 ダイヅガス、一九二
 タイマ、七
 タイマイ、二六五
 ダイリセキ、一九三
 タガヤサン、一九六
 タキギ、一九六
 タケ、一九九
 タケオカイシ、九七
 タシカハ、七一
 タタミオモテ、二〇一
 タヌキノケ、二五九
 タネイタ、八七
 タネガミ、二〇一

タバコ、二〇一
 ターベンチンユ、二〇二
 タマガス、二〇二
 タマツキドグ、二〇二
 タモ、二〇三
 タラ、二〇三
 タル、四七、二〇四
 タール、二〇三
 タルマル、四八、二〇四
 タンケーシ、二〇四
 タンサンカリ、七八
 タンサンソーダ、七八
 タンス、二〇四
 タンチャ、二〇四

チ

ダンツ、二〇五
 ダンテツ、二〇五
 タンニンザイ、二〇九
 タンパン、二一〇、二九〇
 ダンマー、一五三、二〇二

チーク、二一一
 チコリー、一三一
 チクザイ、二一一
 チチブシマ、二一一
 チチブギヌ、二一一
 チヤ、二一一
 チヤリガハ、七一

ツ

チヤン、二一三
 チエーン、二一四
 チョーゴーヒリヨ、二二四
 チョータイ、二一四
 チリシヨセキ、二二四
 チョーモ、二一四
 チリメン、二一四
 チンコー、二二四

ツガ、二一五
 ツゲ、三四、二一五
 ツ、シ、二一六

ツヤミ、六三
 ツナ、二一六
 ツノマタ、二一六
 ツバキ、二一七
 ツバキアブラ、二二七
 ツリザオ、二二七

テ

テチガイシタン、一四九、
 二一八
 テツ、二一八
 テツカン、三〇
 テツパン、七八、
 テツベイセキ、二二

テレメンユ、二一九
 デンキセキ、二六七
 デンキユー、二一九
 デンキユーセン、二二一
 テンクサ、二二一
 デンセン、二二二
 テンジクモメン、二八八
 デンチ、二二七
 デンチュウ、二二八
 デンブ、二二八

ト

トー、二二九
 ドー、二二九

トイシ、二二九
 トガ、二三〇
 トーガラシ、二三〇
 ドカン、二三〇
 トクヤマイシ、二七五
 トーシキ、二三二
 トヤマツ、二三三
 トチノキ、二三三
 トネリコ、二三四
 トバーズ、二六七
 ドーフツコーセン、二二六
 ドーフン、七八
 トーマスリンピ、二三四
 トムロイシ、二三

トラノカハ、一一七
 ドライヤー、二三七
 トラカントゴム、二三七
 トリノケ、三七
 トンパカ、一六一
 トンパック、一六一

ナ

ナガモチ、二〇四
 ナギ、二三五
 ナグリ、一〇八
 ナゴネイシ、二二
 ナタネアブラ、二三五
 ナタネアブラガス、二三五

ナタネノミ、二三六
 ナ、コ、二三七
 ナマリ、二三七
 ナラ、二三七
 ナハ、二三八

ニ

ニカハ、二三八
 ニシンガス、二三九
 ニツケル、二三九
 ニンジン、二三九

ヌ

ヌキイトザイク、二四一

ネ

ヌメガハ、七一
 ネコノカハ、一一六
 ネヅミサシ、三二三
 ネブカハイシ、二二

ノ

ノウチイシ、二二
 ノミグチ、二四一
 ノリ、二四一

ハ

パイプ、二四二

ハクワンボク、二四二
 ハガネ、二四二
 ハク、二四二
 ハクロー、一二〇
 ハケ、二四二
 ハシ、二四三
 ハゼノキ、二四三
 バタ、二四三
 ハチク、二〇〇
 ハチミツ、二四三
 ハッカアブラ、二四四
 ハツキン、二四五
 パテ、二四五
 ハナムシロ、二四五

ハナカエテ、二五〇
 ハネ、二五〇
 バビ、六八、七〇、七一
 ハブタエ、二五〇
 ハマグリコ、二五一
 ハミガキ、二五一
 ハモノ、二五一
 パラフィン、二五一
 ハリ、七七
 ハリイタ、二〇
 ハリギリ、一五〇
 ハルツノイシ、九八
 バルプ、二五二
 バルムユ、二九四

ハンダ、二五三
 ハンノキ、二五三
 ハンプ、二五三
 ヒ
 ヒアノ、六四
 ヒカク、二五四
 ヒキモノ、二五四
 ヒスイ、二六七
 ヒタチイシ、二三
 ヒツジノカハ、一一六
 ビツチ、二五四
 ヒノキ、二五四
 ヒバ、二五五

ヒフクセン、二五五
 ヒマシユ、二五五
 ヒメコマツ、二五五
 ヒメジガハ、七〇、七三
 ビヤクシン、二五五
 ビヤクタン、二五五
 ヒヨクノキ、二六
 ヒラノイシ、二三
 ヒリヨイ、二五五
 ビール、二五六
 ビロード、二五七
 ビワ、二五七
 ビンボンヨーグ、四二
 ビンローシユ、二五七

フ
 フイゴ、二五七
 フエ、六三
 フカイワイシ、九八
 フカヒレ、二五八
 フタコオリ、二八七
 ブタノカハ、七三
 ブタノケ、一五三、二五八
 フテ、二五八
 ブドーシユ、二五九
 ブナ、二五九
 フナオカイシ、二三
 フノリ、二五九

ブラッシ、二五九
 ブランケット、二六〇
 ブランデー、二六〇
 フランネル、二六〇
 プリキイタ、二六〇
 ベイント、二六一
 ヘゲルイシ、二二
 ヘゴ、二六五
 ベースボールヨーグ、四二
 ヘチマ、二六五
 ベツコー、二六五
 ベーロシヤカハ、七二

ペンキ、二六五
ペンゾイン、一五三
ヘンノー、一五七、二六六

ホ

ボイルドアブラ、一七
ホシエビ、四四
ホシカ、一〇〇
ホシノリ、九
ホーシヤ、七八
ホーシユーイシ、九七
ボックウード、二六七
ボックスガハ、七〇
ボックスカーフ、七一

ホツケーヨーグ、四二
ホツプ、二六七
ホーノキ、二六八

マ

マクラギ、二六八
マシニアブラ、九一
マス、二六八
マゼオリモノ、二六九
マダケ、二〇〇
マツ、二六九
マツチ、二六九
マツヤニ、七八
マナイタ、二〇

マニラアサ、七、二七〇
マニラロープ、二七〇
マホガニー、二七〇
マメ、二七〇
マメガキ、二七一
マユ、二七一
マルハチ、二七二
マワタ、二七二
マンガン、二七二

ミ

ミガケイシ、二七三
ミン、二七七
ミヅナラ、二七七

ミヅメ、二七七
ミツロー、二七七
ミネバリ、二七八
ミリン、二七八

ム

ムギワラ、二七九
ムキワラサナダ、二八〇
ムク
ムクエノキ、二八二
ムシロ、二八二
ムメ、二八二

メ

メクラジマ、二八二
メーコツ、二八三
メーセン、二八三
メッキモノ、二八三
メノー、二六七
メーホー、一四、二八四
メマツ、五
メリケンコ、二八四
メリケンマツ、二八五
メリヤス、二八五
メンカ、二八五、三〇九
メンシ、二七、二八五
メンブ、二八七

モ

モクザイ、二八八
モクザイホーフザイ、二九〇
モクサク、二九一
モクタン、二九一
モクロー、二九二
モスリン、二九二
モノサシ、一八九
モーフ、二六〇、二九三
モーヒ、二九三
モミ、二九三
モメンイト、二七
モメンオリモノ、二九三

モリイシ、二三
モンパオリ、二八七

ヤ

ヤギノカハ、七二、一一六
ヤクスギ、一六三、一六四、
二九三
ヤコーガヒ、三九三
ヤシヤブシ、二九三
ヤシユ、二九三
ヤスリ、二九四
ヤチダモ、二九四
ヤナギゴリ、二九四
ヤマグワ、二九四

ヤマザクラ、二九四
ヤマテライシ、二二

ユ

ユス、二六
ユーゼンチリメン、二二四
ユノサキイシ、二二
ユライシ、二三
ユリノネ、二九五
ヨセキザイク、二九六
ヨツドメ、七五
ヨーヒ、七二

ヨーモ、二五九、三九六
ヨーラン、一

ラ

ラクヨーシヨ、二九八
ラシヤ、二九八
ラツカセー、二九八
ラツカセーユ、二九九
ラツク、二九九
ラツコノカハ、一一八
リグナムバイター、三〇〇
リスノカハ、一一六

リノリヤム、三〇〇
リボン、三〇〇
リユーサン、三〇一
リユーサンアンモニヤ、
三〇一
リユーサンカリ、三〇二
リユーノー、一五六、一五七
三〇二
リヨクギヨク、二六七
リヨープ、三〇二
リン、三〇二
リンコーセキ、三〇二

ル

ルツボ、三〇三
ルビー、二六七
ルーフィング、三〇三
レンガ、三〇四
レンズ、三〇七
ロ、三〇八
ロー、三〇八
ロスキヤ、三〇八
ローセキ、一九四
ローソク、三〇八

ロチリメン、二二四、三〇九
ロツカソニイシ、二二
ロートアブラ、三〇九
ローンテニスヨーク、四一
ワタ、三〇九
ワタミ、三一
ワタミアブラ、三一
ワタミアアラガス、三一
ワニス、三一
ワビヤクダン、三一
終

不許複製

定價七十錢

大正三年四月廿二日印刷

大正三年四月廿五日發行

商品鑑定辭典

著者

商學士

中川精吉

中島專之助

發行者	增田義一
印刷者	渡邊八太郎
印刷所	日清印刷株式會社
發行所	實業之日本社

東京市京橋區南紺屋町十二番地
東京市牛込區道町七番
東京市京橋區南紺屋町十二番地
電話八七四八七五・八七六・九八九
興國路金振路口三二六

大養木堂題學堂回顧錄 尾崎學堂著 定價九十八錢	新渡戶博士序十大德教育家傳 山方香峯著 定價十八錢	佐竹義綱著幕勤王烈士手翰抄 定價壹圓五十錢	直第 西鄉南洲書翰集 加治木常房編 定價九十八錢	榎本秋村著世界偉人の最期 定價壹圓五十錢	法學博士 經濟財政橫議 堀江歸一著 定價一圓廿錢	上杉博士對最近憲法論 美濃部博士對 定價壹圓廿錢	實業之日本社編岡田式靜坐法 定價五十錢	高木 男 題學理深呼吸法 小田部慈專編 定價四十二錢	在米 柿西藤一著 米國の商店 定價五十錢	土屋長吉著實踐會計整理法 定價五十錢	竹内、村瀬共著最新商業簿記 定價六十八錢	醫學士 櫻田十次郎著 體力増進法 定價四十錢	大養木堂題字 傑世凱史 關矢越山著 定價八錢	石井自露著最近成功十傑 米國 定價六十錢	山方香峯著世界偉人傳 定價壹圓廿錢	實業之日本社編奮闘立志傳 定價壹圓五十錢	森村市左衛門述獨立自營 定價壹圓拾錢	增田社長著青年と修養 定價壹圓五十錢	新渡戶博士著修養 定價八錢	原田祐三著商業學通論 定價八錢	商學士 藤田文學士 實用文字便覽 定價五十五錢
-------------------------------	---------------------------------	--------------------------	--------------------------------	-------------------------	--------------------------------	--------------------------------	------------------------	----------------------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------	---------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	--------------------	----------------------------

海嶽生著簡易安眠法 定價廿五錢	朝鮮日編渡韓成功法 新開社編 定價參拾五錢	興石千代田利廻早見表 生命社長著 定價卅五錢	松村日正改所得稅額早見表 銀行員著 定價廿五錢	新渡戶、坪内、和、田垣三博士監輯和俗語熟語故事大辭典 定價四圓五十錢	實業之日本社編用法英和新辭典 定價十二錢	渡邊小里共著實用珠算教科書 定價五十錢	實業之日本社編英語熟達ノート 定價四十錢	高島佐一郎著英語商業通信 定價八錢	下田歌子著婦人常識の養成 定價壹圓五十錢	村井弦齋著婦人及男子の參考 定價十二錢	酒井渡邊伯橫井佐々木博士校實用園藝全書 定價十八錢	品川卯一著最新賣出し法 定價廿四錢	新渡戶博士著世渡りの道 定價壹圓七十錢	謙田慶應著獨立自尊 定價壹圓七十錢	雨宮敬次郎著奮闘吐血錄 定價六十錢	秋葉女史著造花實習 定價六十錢	梅田橋草著家庭菓子製法 定價五十錢	井上民子著琴歌詳解 定價七十錢	下田次郎著胎教 定價五十五錢	藤川忠雄著應對談話法 定價廿五錢	辻多野鳥峰著逆境離脫策 定價十二錢	藤田文學士實用文字便覽 定價五十五錢
--------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	------------------------------	----------------------	------------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	--------------------	-------------------	---------------------	----------------------	-----------------------

實業之日本社編 和文英譯熟達ノート	郵價 五十錢	實業之日本社編 英文一口話	郵價 四十五錢	下田歌子著 婦人禮法	郵價 四十二錢	村井夫人著 弦齋夫人の料理談	全三冊 郵價 各八十錢	島田理鶴著 挿花の栞	郵價 四十二錢	拜石齋著 諸流盆石指南	郵價 六十錢	長谷川共著 刺繡獨習書	郵價 卅五錢	伊庭醫學士安産の栞	郵價 九十錢	西谷龍顯著 婦人の重寶	郵價 五十錢	愛子 島崎藤村……眼鏡	定價 各四十錢	德田秋聲……めぐりあひ	郵價 各六錢		
實業之日本社編 補成功座右銘	郵價 十六錢	榎本秋村著 實業經典	郵價 七十錢	榎本秋村著 各種文章寶鑑	郵價 八十五錢	藤原楚水編 自文美辭寶鑑	郵價 七十錢	森鷗外著 十人十話	郵價 八十錢	夏目漱石著 社會と自分	郵價 四十二錢	竹久夢二著 どんたたく	郵價 五十錢	水野葉舟著 妹に送る手紙	郵價 六十錢	高濱虛子著 俳句とはどんなものか	郵價 四十錢	高濱虛子著 小説朝鮮	郵價 八錢	岩下小葉著 涙の物言	郵價 卅五錢	星野水裏著 詩語瀆	郵價 廿五錢

少年 英雄の最期	定價 各二十錢	少年 赤い地獄	郵價 各四錢	少年 海國男子	定價 四十五錢	少年 増刊『少年春雄』	郵價 八錢	少年 桃割	定價 各四十錢	少年 小僧泣かせ草	定價 各四錢	少年 燈ともし頃	定價 四十五錢	少年 世界少女くらべ	定價 八十五錢	少年 増刊……美代子……	定價 八十五錢	少年 中村秋人著 家庭子	郵價 六十錢	少年 三津木春影著 孤島の姉妹	郵價 卅五錢	少年 高木學士著 大正新イソップ	郵價 八十錢	少年 渡邊白水著 少女美談	郵價 六十錢	少年 今尾掬翠攝影 富士百景寫真帖	定價 廿五錢	少年 實業之日本社編 優等學生勉強法	定價 四十錢	少年 谷本博士著 女子教育	定價 八錢	少年 板垣伯序 地方青年團の組織及事業	定價 五十錢
少年 文庫	定價 各二十錢	少年 文庫	定價 各四錢	少年 文庫	定價 四十五錢	少年 文庫	定價 八錢	少年 文庫	定價 各四十錢	少年 文庫	定價 各四錢	少年 文庫	定價 四十五錢	少年 文庫	定價 八十五錢	少年 文庫	定價 八十五錢	少年 文庫	定價 六十錢	少年 文庫	定價 卅五錢	少年 文庫	定價 八十錢	少年 文庫	定價 六十錢	少年 文庫	定價 廿五錢	少年 文庫	定價 四十錢	少年 文庫	定價 八錢	少年 文庫	定價 五十錢

實業之日發行
物行刊期定大六

■ 實業講習錄

▲每月二回發行每號二百餘頁▲一ヶ月(三期)五十錢▲三ヶ月(六期)一圓四十五錢▲六ヶ月(十二期)二圓八十錢▲一ヶ年(四十八期)五圓五十錢

■

■ 實業之日本

▲一册十一錢郵稅一錢五厘▲每月二回一日十五日發行年二回增刊▲半年分增刊郵稅共一圓六十五錢(新年號を十錢増)▲一年分三圓廿錢

■

■ 婦人世界

▲一册十五錢郵稅一錢五厘▲每月一回一日發行▲半年分增刊郵稅共壹圓五錢▲一年分同二圓五錢

■

■ 日本少年

▲一册十錢郵稅一錢▲每月一回一日發行▲秋二回增刊▲半年分增刊郵稅共七十錢▲壹年分一圓卅五

■

■ 少女の友

▲一册十錢郵稅一錢▲每月一回一日發行▲秋二回增刊▲半年分增刊郵稅共七十錢▲壹年分同一圓卅五

■

▲一册十錢郵稅五厘 ▲每月一回一日發行

37
279

終

